

函館市医師会健診検査センター 健康診断事業報告書

平成23年度

《 No. 2 》



公益社団法人 函館市医師会

平成25年3月15日発行

目 次

■ ご 挨拶	所 長 伊藤丈雄
■ 発刊にあたって	運営委員長 恩村宏樹
■ 健診の集積データについて	学 術 部 長 久保田達也

I. 特定健康診査

1. 概要・対象者	1
2. 実施体制	2
3. 特定健康診査項目	4
4. 特定健診検査項目の判定基準	5
5. 保健指導対象者の選定と階層化	5
6. 健診検査項目の各判定基準	6
7. 実施医療機関数	7
8. 実施場所・実施回数	9
9. 広報状況	10
10. 特定健康診査実績	11
11. 平成23年度 特定健診 詳細実績	
1) 保険者別・性別・年齢別 受診者数	13
2) 健診項目別 検査結果	
① 腹 囲	19
② BMI	20
③ 血圧検査	21
④ 尿検査	23
⑤ 赤血球数・血色素検査	25
⑥ 肝機能検査	26
⑦ 脂質検査	28
⑧ 糖尿病検査	30
⑨ 腎機能検査	32
⑩ 尿酸(痛風)検査	34
⑪ 心電図検査	36
⑫ メタボリックシンドローム	37
⑬ 保健指導	39
⑭ 函館市特定健診 検査項目・年齢別異常値(要精密検査)率一覧	42

II. 肝炎ウイルス検診・HIV検診・結核検診・がん検診

1. C型肝炎ウイルス検診	44
2. B型肝炎ウイルス検診	45
3. HIV検診	46
4. 結核検診	47
5. 胃がん検診	48
6. 肺がん検診	49
7. 大腸がん検診	50
8. 前立腺がん検診	51
9. ペプシノゲン検診	52

10. 骨粗しょう症検診	53
11. BNP検査	54
III. 児童・生徒・学生検診	
1. 尿検査	55
2. 心電図検査	57
3. 貧血検査	59
4. 結核検診	61
5. 園児・児童 寄生虫卵検査	63
IV. 職域健康診断（労働安全衛生規則による健康診断）	
1. 概要・受付方法	64
2. 実施方法	64
3. 健康診断の種類	
1) 一般健康診断	
① 雇入時健康診断	64
② 定期健康診断	65
③ 海外派遣労働者の健康診断	65
2) 特殊健康診断	
① 有機溶剤健康診断	66
4. 職域健康診断実績	67
5. 平成23年度 職域健診 詳細実績	
1) 年齢別・性別 受診者数	67
2) 健診項目別 検査結果	
① 総合判定	68
② 腹 囲	69
③ BMI	70
④ 血圧検査	72
⑤ 尿検査	73
⑥ 赤血球数・血色素量検査	75
⑦ 肝機能検査	76
⑧ 脂質検査	78
⑨ 糖尿病検査	79
⑩ 腎機能検査	81
⑪ 尿酸(痛風)検査	82
⑫ 心電図検査	84
⑬ メタボリックシンドローム	85
⑭ 保健指導	87
⑮ 職域健診 検査項目・年齢別異常値(要精密検査)率一覧	89
V. 特定健康診査及び職域健康診断の全受診者における 検査項目・年齢別 異常値(要精密検査)率一覧	91
VI. 診断書発行健診	93

ご 挨拶

函館市医師会は、地域の医療・保健・福祉への貢献を目的に、医師会病院をはじめ、健診検査センター、夜間急病センター、看護学校などの諸事業を行っております。その長年にわたる業績が高く評価され、平成23年4月に、公益社団法人への移行が認められたところでございます。

これら諸事業のひとつであります健診検査センターは、会員への診療支援と地域住民の健康・保持向上を目的に昭和51年に開設いたしましたが、以来、地域住民の方からは信頼される「健診センター」として親しまれ、道南地域住民の健康管理の拠点として高い評価をいただき、今日にいたっております。

健診検査センターでは、公益法人への移行を機に、データ解析を加えた『健康診断事業報告書』の発刊を始めましたが、この度、平成23年度版が発刊の運びとなりました。地域住民の方々の健康管理の一助にご活用いただければ幸いです。

これからも、道南唯一の公益社団法人として、「精度の医師会、信頼の医師会」を目指し、地域の医療・保健に積極的に取り組んでまいります。

より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
所 長 伊 藤 丈 雄

発刊にあたって

この度、平成22年度に引き続き、平成23年度健康診断事業報告書を発刊する運びとなりました。

会員の皆様もご存じのとおり、函館市医師会健診検査センター（以下センター）は、約40年の長きに渡り、道南での健診・検査事業の中心的役割を果たしてきました。そのセンターの有する膨大なデータを、地域医療の充実に利用するという目的で本書は編集されています。今回は平成23年度の各健診のデータをまとめてみましたので、ご供覧いただければ幸いに存じます。

センターは、特定健康診査をはじめとして、様々な健診業務を行っています。特に、今年度は特定健康診査が始まってから節目の5年目となります。国が目標として掲げた受診率65%には遠く及ばず、函館市国保の受診率は25%といったところです。来年度からは、特定健康診査も二期目をむかえますが、市民への啓蒙・広報に力を入れ、オプション検査の拡充など健診内容の充実に努めることにより、受診率の上昇に努めていきたいと思っています。是非、ご理解の上、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

今後とも、愛されるセンターを目標に、スタッフ一同、より一層努力していく所存でございますので、会員の皆様には、今までと変わりなく、ご指導・ご鞭撻・ご支援の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。

平成25年3月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター

運営委員長 恩村宏樹

健診の集積データについて

昨年に続きまして第二冊目となります函館市医師会健診検査センター『平成23年度健康診断事業報告書』がまとめられました。当センターが平成23年度に行った健診事業を、多くのデータを掲げて詳細に記載した上、簡単に分析しその概略を付しております。

前号でも述べましたが、健康診断という性質上、当報告書が取り扱うデータには受診者背景の偏りがある事に留意が必要と考えます。全くの健常者ばかりでもなく、医療機関を受診している明らかな病気がある人ばかりでもなく、受診年齢や性別の分布にも特異性があるためです。病気を治療して改善した方も含まれておりますし、高齢者の受診者が比較的少ないという事もあります。その上で、各データの傾向について、短くコメントを載せております。皆様のご理解の一助となる事が出来ればと思います。そして健康診断の結果を持参して受診される方を診療する上で、本報告の情報が少しでもお役に立つことができれば幸いです。また、本報告書につきましてお気づきの点やご意見、ご要望などがありましたらご連絡賜りたくお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
学術部長 久保田達也

平成23年度 健康診断事業報告

I. 特定健康診査

糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、肥満による内臓脂肪の蓄積が原因であるといわれており、肥満に加えて高血糖、高血圧といった状態が重複した場合には、脳血管発症リスクが高くなるなど、死亡原因の約6割を占めるまでとなっています。

こうした内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）は、生活習慣を起因とするため、食生活の見直しや適度な運動により生活改善すれば予防できるものであるとされています。

こうしたことから、平成20年4月から、生活習慣病の予防を図るため、医療保険者（国民保険・社会保険・組合健保等）に対し、40歳以上の被保険者または被扶養者を対象にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した「特定健康診査・特定保健指導」が義務付けられました。

函館市では、函館市医師会が実施医療機関を取りまとめ、函館市や北海道医師会と契約を締結実施し、近隣町の健診に関しましては、函館市医師会健診検査センターが集団健診を実施しています。

健診方式は、個別健診と集団健診の併用で、個別は函館市医師会が取りまとめた医療機関が実施し、集団健診は医師会健診検査センターが実施しています。

また、特定健診と併せて、「生活機能評価」、「がん検診」、「結核検診」、「骨粗しょう症検診」を同時に実施し、住民の方への利便性を図っています。

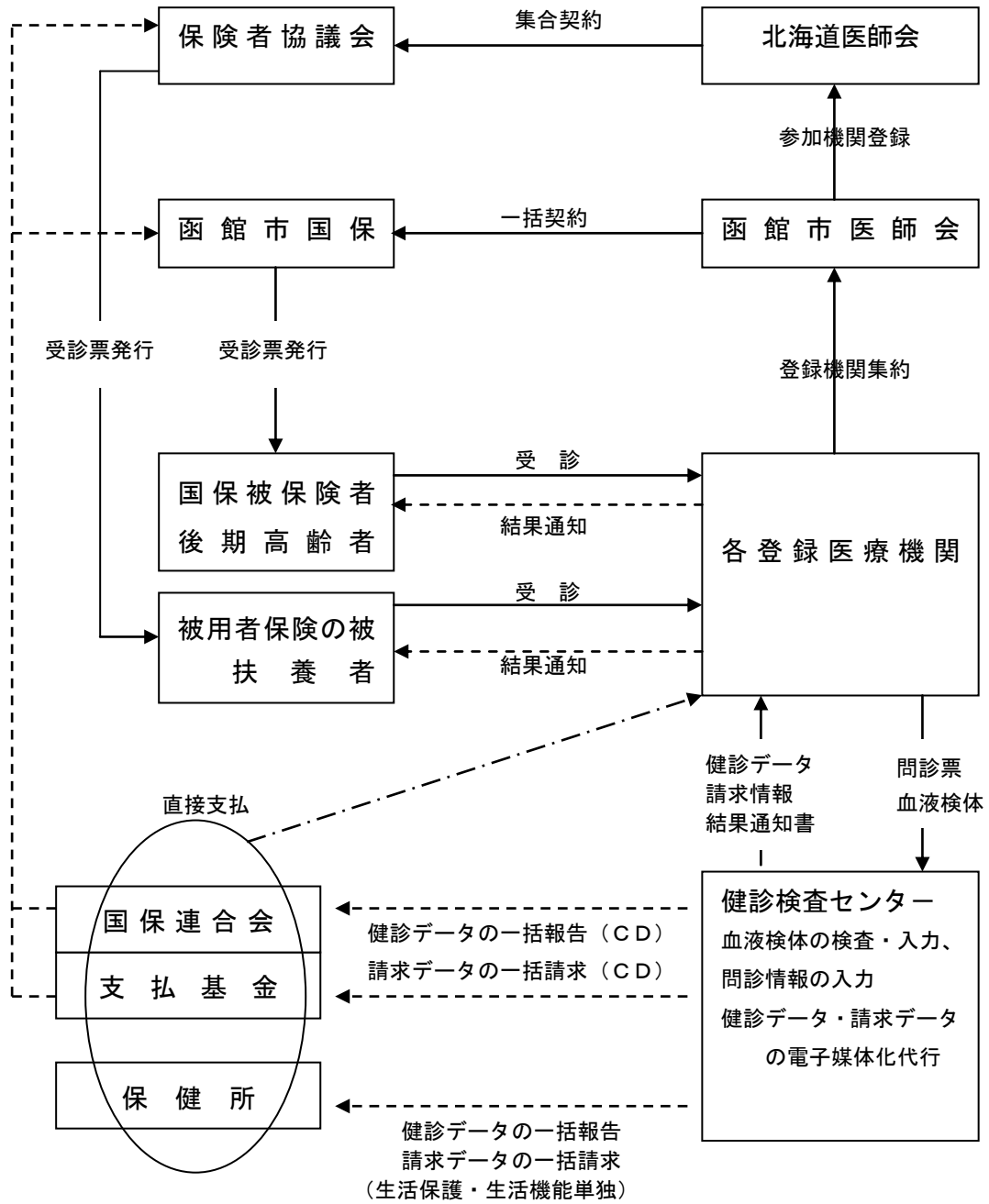
1. 対象者

- 1) 国民健康保険に加入する満40歳以上75歳未満の者
- 2) 後期高齢者医療保険被保険者で75歳以上の者
- 3) 生活保護受給者で満40歳以上の者
- 4) 生活機能評価対象者、函館市民で満65歳以上の者（要支援、要介護者を除く）
- 5) 社会保険、共済組合、組合健保等の被扶養者で満40歳以上75歳未満の者

2. 実施体制

	函館市国保 被保険者	生活保護受給者健康 診査	後期高齢者 健康診査	被用者保険等 被扶養者
契 約	函館市医師会が函館市と一括契約			北海道医師会が B集合契約
実施 医療 機関	函館市医師会が集約登録			函館市医師会が 集約、北海道医 師会に登録
健 診 種 別	個別健診（各医療機関が個別に実施） 集団健診（医師会健診検査センターが実施）			個別健診
実 施 方 法	生活機能評価、がん検診、骨粗しょう症検診、結核検診、肝炎検診等を同時実施			
実 施 項 目	基本＋クレアチニン、尿酸、貧血（21年度より全員実施） 糖尿はHbA1C選択 詳細項目（貧血、心電図、眼底） 心電図は、年齢制限なしに腹囲・血圧が異常の場合や医師が必要 とした場合に追加可能（23年度より新規要件）			基本のみ 血糖とHbA1C併用 詳細項目
他検診	生活機能評価、胃がん、大腸がん検診は、集団・個別にて同時実施 肺がん、結核、肝炎、骨粗、エキノコックス検診は、集団にて同時実施 オプション検査としてBNP・PSA検査を集団にて同時実施			
保 健 指 導	市立函館保健所が実施			登録医療機関が 実施
開 始 時 期	5月に受診券発行、6月から開始			4月受診券発行、 4月より開始
実 施 期 間	通 年			
デ-タ 報 告	医師会健診検査センターが代行入力 → 国保連合会、支払基金、保健所			
請 求	医師会健診検査センターが代行入力 → 国保連合会、支払基金、保健所			
結 果 通 知	医師会健診検査センター → 医療機関 → 受診者			
支 払	国保連合会 → 各医療機関（特定健診、後期高齢、生活機能同時実施） 支払基金 → 各医療機関（特定健診） 保健所 → 各医療機関（生活保護、生活機能単独実施）			

特定健診実施フロー



3. 特定健康診査項目

健 診 項 目		函館市国保	被用者保険	生活機能	
問 診	服薬歴、既往歴、生活習慣等		○	○	
	自覚症状等		○	○	○
	生活機能評価に関する項目		○	○	○
計 測	身長・体重・BMI・血圧・腹囲		○	○	○
診 察	理学的 所 見	身体計測	○	○	○
		視診	○	○	口腔内
		触診（関節可動域含む）			○
	反復唾液嚥下テスト				機能検査
脂 質	中性脂肪		○	○	
	HDLコレステロール		○	○	
	LDLコレステロール		○	○	
肝機能	GOT（AST）		○	○	
	GPT（ALT）		○	○	
	γ-GTP		○	○	
血 糖	空腹時血糖			空腹時○	
	HbA1c		○	空腹外○	
尿検査	尿糖		○	○	
	尿蛋白		○	○	
追 加 項 目	尿酸、クレアチン	国保：20年度より全員追加	○		
	アミラーゼ、CK	国保：23年度より全員追加	○		
血 液 一 般	血色素量	国保：21年度より全員追加	○ 追加検査	詳細検査	機能検査
	赤血球数				
	ヘマトクリット				
心機能	心電図	国保： ・21年度、65歳以上で腹囲・血圧が異常の場合、医師の判断で追加 ・22年度、65歳以上医師の判断で追加 ・23年度、年齢制限なく医師の判断で追加	詳細検査 追加検査	詳細検査	機能検査
眼 底	眼底検査		詳細検査	詳細検査	
栄 養	血清アルブミン	国保：23年度より全員追加	追加検査		機能検査

4. 特定健診検査項目の判定基準

項目名	保健指導判定値	受診勧奨判定値	単位	測定方法
血圧(収縮前)	130	140	mmHg	
血圧(収縮後)	85	90	mmHg	
中性脂肪	150	300	mg/dl	酵素法 遊離グリセロール消去
HDLコレステロール	39	34	mg/dl	直接法
LDLコレステロール	120	140	mg/dl	直接法
空腹時血糖	100	126	mg/dl	ヘキソキナーゼ法
HbA1c	5.2	6.1	%	ラテックス凝集法
AST(GOT)	31	61	U/l	JSCC 標準化対応法
ALT(GPT)	31	61	U/l	JSCC 標準化対応法
γ-GT(γ-GTP)	51	101	U/l	JSCC 標準化対応法
血色素量	男 13.0 女 12.0	男 12.0 女 11.0	g/dl	電気抵抗検出法(自動化法)

5. 保健指導対象者の選定と階層化

ステップ-1 腹囲とBMIで内臓脂肪蓄積のリスクを判定

- ・腹囲 男性 85 cm以上 女性 90 cm以上 -----> A
- ・腹囲 男性 85 cm未満 女性 90 cm未満 かつ BMI 25以上 → B

ステップ-2

- ・検査結果、質問票より追加リスクをカウント
- ・①～③はメタボリックシンドロームの判定項目、④はその他の関連リスク、④は喫煙歴について①～③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント

① 血糖	空腹時血糖 100 mg/dl 以上 又は HbA1c 5.2%以上 又は 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
② 脂質	中性脂肪 150 mg/dl 以上 又は HDL コレステロール 40 mg/dl 未満 又は 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
③ 血圧	収縮期 130mmHg 以上 又は 拡張期 85mmHg 以上 又は 薬剤治療を受けている場合(質問票より)
④ 質問票	喫煙歴あり

ステップ-3 ステップ-1, 2から保健指導レベルをグループ分け

	Aの場合	Bの場合
積極的支援	①～④リスクが2以上	①～④リスクが3以上
動機づけ支援	①～④リスクが1	①～④リスクが1又は2
情報提供	①～④リスクが0	①～④リスクが1又は0

※前期高齢者(65歳以上75歳未満)は、積極支援でも動機づけ支援にグループ分け

6. 健診検査項目の各判定基準（正常値・僅かな異常・要観察・要精検）

項目名	A:正常値	B:僅かな異常	C:要観察	D:要精検
腹 囲	男 84.9 以下 女 89.9 以下		男 85.0 以上 女 90.0 以上	
血 圧(収縮前)	90~139	140~159	160~179	180 以上
血 圧(収縮後)	89 以下	90~94	95~99	100 以上
尿蛋白	(-)	(+-)	(+)	(2+)
尿 糖	(-)	(+-)	(+)	(2+)
中性脂肪	40~150	30~39	20~29 151~300	19 以下 300 以上
HDLコレステロール	40~100	35~39 101 以上	30~34	29 以下
LDLコレステロール	70~139	—	140~169	170 以上
空腹時血糖	70~109	60~69 110~115	50~59 116~125	49 以下 126 以上
HbA1c	4.3~5.8	4.2 以下	5.9~6.0	6.1 以上
A S T (G O T)	35 以下	36~60	61~70	71 以上
A L T (G P T)	32 以下	33~60	41~100	101 以上
γ-G T (γ-G T P)	男 60 以下 女 30 以下	男 61~120 女 31~100	男 120~200 女 100~200	201 以上
赤血球数	男 410~530 女 380~480	男 385~409 531~600 女 355~379 481~555	男 300~384 601~650 女 300~354 556~650	299 以下 651 以上
血色素量	男 13.0~17.0 女 12.0~16.0	男 12.0~12.9 17.1~17.5 女 11.0~11.9 16.1~17.0	男 10.0~11.9 17.6~18.0 女 10.0~10.9 17.1~18.0	18.1 以上
尿 酸	男 3.5~7.0 女 2.5~7.0	男 3.4 以下 7.1~8.0 女 2.4 以下 6.1~8.0	8.1~9.0	9.1 以上
クレアチニン	男 0.61~1.04 女 0.47~0.79	男 1.05~1.20 女 0.80~1.00	男 1.21~1.99 女 1.01~1.99	2.00 以上
アミラーゼ	37~125	15~36 126~169	10~14 以下 170~257	9 以下 258 以上
C K	男 190 以下 女 170 以下	男 191~285 女 171~255	男 286 以上 女 256 以上	— —
アルブミン	3.9~5.1	3.6~3.8 5.2~5.4	2.9~3.5 5.5~6.4	2.8 以下 6.7 以上

7. 実施医療機関

1) 個別健診

年 度	実施登録医療機関数	
	函館市国保、後期高齢者、生活保護受給者等（函館市医師会 一括契約）	社会保険、共済組合組合健保等（北海道医師会 集合契約）
20年度	132	132
21年度	124	125
22年度	115	114
23年度	112	112

平成23年度実施医療機関一覧

SQ	医療機関名称	函館市医師会 一括契約	北海道医師会 集合契約
1	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	×	○
2	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	○	○
3	函館赤十字病院	○	○
4	社会医療法人 函館渡辺病院	○	○
5	医療法人 富田病院	○	○
6	社会福祉法人函館共愛会 共愛会病院	○	○
7	宮腰内科医院	○	○
8	医療法人尚仁会 竹田病院	○	○
9	医療法人 亀田病院	○	○
10	久保田内科胃腸科医院	○	○
11	鈴木内科医院	○	○
12	佐野内科胃腸科医院	○	○
13	仲屋内科胃腸科医院	○	○
14	川添外科・内科クリニック	○	○
15	長野内科胃腸科医院	○	○
16	盛山内科医院	○	○
17	広瀬医院	○	○
18	医療法人道南勤医協 函館稜北病院	○	○
19	陳内科クリニック	○	○
20	医療法人敬仁会 函館おしま病院	○	○
21	医療法人鴻仁会 深瀬病院	○	○
22	函館市医師会病院	○	○
23	あらし循環器科内科クリニック	○	○
24	高野内科小児科	○	○
25	医療法人社団 佐藤皮膚科・循環器内科医院	○	○
26	医療法人社団 今内科消化器科医院	○	○
27	医療法人社団 函館脳神経外科病院	○	○
28	医療法人社団 あしの内科医院	○	○
29	医療法人社団慶六会 葛西内科小児科医院	○	○
30	医療法人社団健和会 大村病院	○	○
31	山本内科小児科皮膚科泌尿器科クリニック	○	○
32	医療法人社団 宮本整形外科	○	○
33	医療法人社団 やま内科胃腸科医院	○	○
34	佐藤内科小児科医院	○	○
35	中川内科クリニック	○	○
36	柳谷内科	○	○
37	第一内科医院	○	○

SQ	医療機関名称	函館市医師会 一括契約	北海道医師会 集合契約
38	医療法人函館循環器科内科病院	○	○
39	医療法人社団 古河内科	○	○
40	医療法人社団 五十嵐内科医院	○	○
41	医療法人社団 金井内科クリニック	○	○
42	医療法人社団 ほたてクリニック	○	○
43	医療法人雄心会 函館新都市病院	○	○
44	医療法人社団 多田内科医院	○	○
45	医療法人社団 たけうち内科胃腸科医院	○	○
46	医療法人社団 協立消化器循環器病院	○	○
47	医療法人聖仁会 森内科	○	○
48	富岡町森内科クリニック	○	○
49	医療法人社団 おいた内科クリニック	○	○
50	三浦レディースクリニック	○	○
51	医療法人社団 中島孝内科・循環器科医院	○	○
52	医療法人社団 恩村内科医院	○	○
53	医療法人社団 高野外科・整形外科	○	○
54	渡部外科クリニック	○	○
55	医療法人社団 さとう内科クリニック	○	○
56	医療法人社団 本間眼科医院	○	○
57	小笹内科医院	○	○
58	医療法人社団 えんどう桔梗こどもクリニック	○	○
59	中島内科循環器科メンタルクリニック	○	○
60	医療法人社団 藤松産婦人科医院	○	○
61	医療法人神交会 鈴木内科外科クリニック	○	○
62	医療法人函館友愛会 千葉医院	○	○
63	西部大山医院	○	○
64	医療法人社団 鹿目内科医院	○	○
65	しもの循環器・内科クリニック	○	○
66	医療法人社団藤紀会 斉藤内科消化器科医院	○	○
67	医療法人社団 早坂内科クリニック	○	○
68	斉藤内科クリニック	○	○
69	柳川内科胃腸科	○	○
70	医療法人社団 アリエス循環器科内科クリニック	○	○
71	医療法人社団イースト かたやま内科消化器科	○	○
72	医療法人社団 こが整形外科クリニック	×	○
73	医療法人社団社の風 五稜郭みやざき勢内科クリニック	○	○
74	医療法人社団 山城消化器科内科クリニック	○	○
75	医療法人社団 飯田内科クリニック	○	○
76	医療法人社団誠仁会 美馬産婦人科	○	○
77	はら内科クリニック	○	○
78	みなと内科脳外科医院	○	○
79	医療法人社団 かみゆのかわ医院	○	○
80	医療法人社団函館敬愛会 好和会クリニック	○	○
81	医療法人社団 函館呼吸器内科クリニック	○	○
82	医療法人道南勤医協 稜北内科・小児科クリニック	○	○
83	市立函館南茅部病院	○	○
84	医療法人社団 杉山クリニック	○	○
85	市立函館恵山病院	○	○
86	ケアプラザ新函館・たけだクリニック	○	○
87	医療法人社団 東野内科消化器科クリニック	○	○
88	医療法人社団清邑会 楳法華クリニック	○	○
89	医療法人社団山樹会 平山医院	○	○

SQ	医療機関名称	函館市医師会 一括契約	北海道医師会 集合契約
90	函館西部脳神経クリニック	○	○
91	たかひろクリニック	○	○
92	医療法人社団 ごとう内科胃腸科	○	○
93	医療法人社団 くまくら柏木クリニック	○	○
94	医療法人社団守一会 北美原クリニック	○	○
95	ゆのかわ温泉整形外科	○	○
96	医療法人社団 やなづめ医院	○	○
97	医療法人社団 福德整形外科・外科	○	○
98	社会福祉法人北海道社会事業協会 函館病院	○	○
99	はらだ内科消化器科クリニック	○	×
100	医療法人社団大裕会 竹中内科消化器科	○	○
101	医療法人社団 榊原循環器科内科クリニック	○	○
102	医療法人社団光信会 麦倉内科クリニック	○	○
103	医療法人社団 関口内科医院	○	○
104	平野内科胃腸科	○	○
105	山の手整形外科クリニック	○	○
106	菅原内科クリニック	○	○
107	医療法人雄心会 函館おおてまちクリニック	○	○
108	弥生坂消化器内科クリニック	○	○
109	長谷川循環器内科クリニック	○	○
110	みはら内科クリニック	○	○
111	医療法人道南勤医協 函館診療所	○	○
112	医療法人社団 黒田クリニック	○	○
113	医療法人社団 秀道会 ひでしま内科クリニック	○	×
114	函館市医師会健診検査センター	○	○
	合 計	112	112

2) 集団健診 : 函館市医師会健診検査センター

8. 実施場所・実施回数

年 度	集団健診			個別健診
	総合保健センター	医師会健診検査センター	巡回健診	
20年度	6月～3月 年156回	6月～3月 年20回	市内78箇所 6月～10月 年82回	市内132箇所 6月～3月
21年度	6月～3月 年138回	6月～3月 年10回	市内71箇所 6月～10月 年73回	市内124箇所 6月～3月
22年度	6月～3月 年129回	6月～3月 年18回	市内76箇所 6月～10月 年111回	市内115箇所 6月～3月
23年度	6月～3月 年132回	6月～3月 年20回	市内76箇所 6月～10月 年97回	市内111箇所 6月～3月

9. 広報状況（函館市国保課資料より）

1) 平成20年度

- ・「特定健康診査のお知らせ」を町会へ個別配布依頼（5月）
- ・「健康診査を受けましょう！」受診勧奨チラシを町内会回覧（11月）
- ・「市政ホームページ」に掲載（継続中）
- ・「市政はこだて」に特定健康診査について毎月掲載（継続中）
- ・各支所窓口にて特定健診のパンフレット・実施日程を配布（継続中）
- ・実施医療機関にポスター配布
- ・市広報番組「市民の時間(市政パトロール)」HBCラジオで放送（継続中）
- ・市広報番組「市政ニュース」STVで放送（継続中）
- ・保健所健康まつりでパンフレット・勧奨チラシを配布（継続中）

2) 平成21年度 新規分

- ・40～44歳の未受診者へ受診勧奨案内・アンケート実施（9月～11月約3,500名）
- ・20年6～9月受診者中11月現在未受診者への受診勧奨案内（12月約2,500名）
- ・市電車内に広告（12月下旬より）（継続中）
- ・ケーブルテレビによる広報（1月）
- ・20年度受診者中未受診者への電話勧奨（3月約250件）
- ・広報課を通じ、各報道機関への報道依頼（市内報道機関20社）
- ・保健所で実施している各講座の開催時に勧奨チラシを配布（継続中）

3) 平成22年度 新規分

- ・「がん検診・特定健診カレンダー」を市内全戸に配布（5月）
- ・PRポスター作成（5月）
- ・高齢者大学講座でのPR（3大学約540名）（5～6月）
- ・がん検診同時実施会場の増設（5会場→17会場）
- ・夜間健診の時間延長（終了時間18:30→19:00）
- ・未受診者へ受診勧奨ハガキを送付（10月5万通）
- ・保険料納付確認書へ受診勧奨案内を同封（1月 3万世帯）

4) 平成23年度 新規分

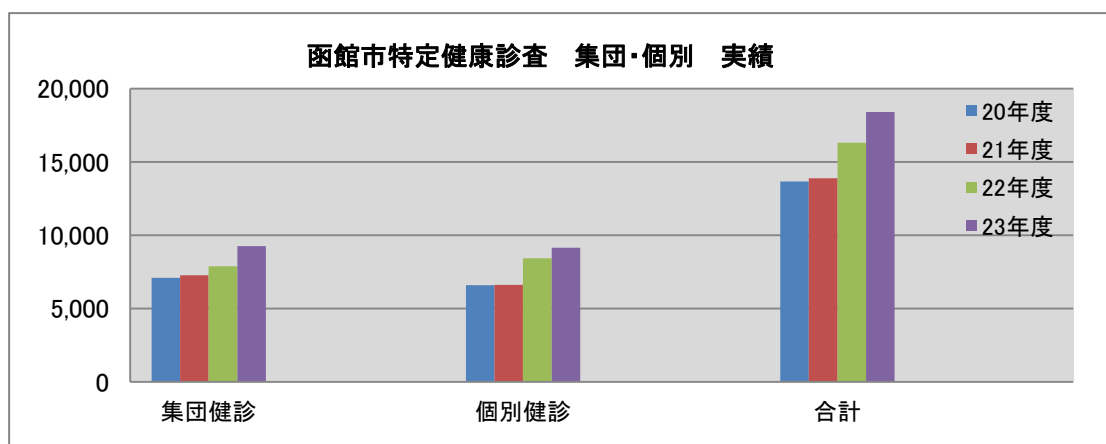
- ・40歳到達者への受診勧奨文書・パンフレットの個別郵送（5月819人）
- ・カラー電車広告（6月1日より）
- ・啓発のぼりの掲示（町会館 巡回健診会場）
- ・未受診者へ電話勧奨（8月より 約9,600件）
- ・未受診者へ受診勧奨ハガキを送付（9月5万通、1月予定）

10. 特定健康診査実績

《函館市 個別健診・集団健診》

	集団健診	個別健診	合計
20年度	7,081	6,585	13,666
21年度	7,262	6,607	13,869
22年度	7,873	8,431	16,304
23年度	9,256	9,147	18,403

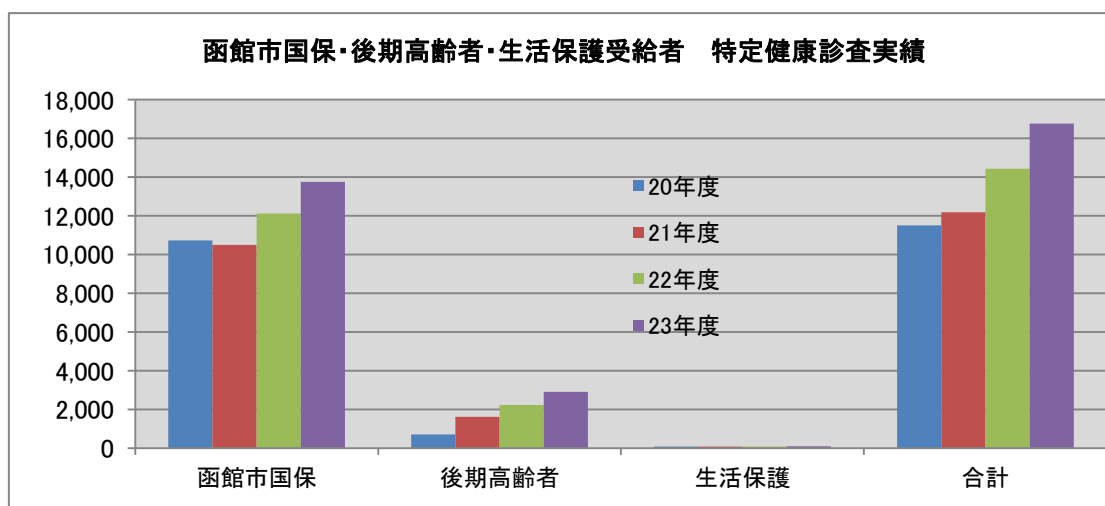
1. 個別健診・集団健診ともに毎年増加。
2. 23年度は、受診勧奨通知等の広報強化により前年比 2,099 名の増加となる。



《函館市 国保・後期高齢者・生活保護受給者》

	函館市国保	後期高齢者	生活保護	合計
20年度	10,732	707	69	11,508
21年度	10,494	1,617	67	12,178
22年度	12,117	2,230	83	14,430
23年度	13,762	2,899	98	16,759

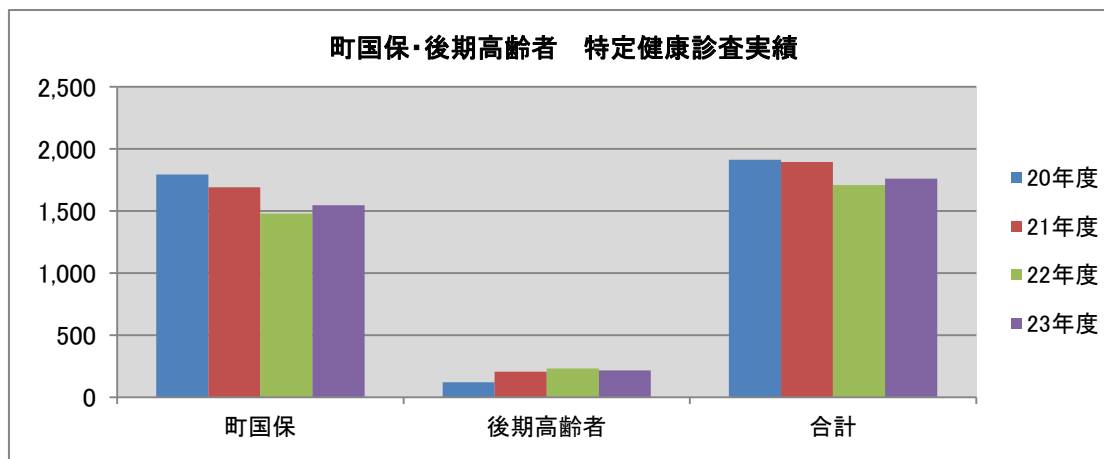
1. 函館市国保は、勧奨通知等の広報強化により前年比 1,645 名の増となる。
2. 後期高齢者は、前年比 669 名の増加、受診券配布が申請から事前配布になったことが要因。



《町国保》

	町国保	後期高齢者	合計
20年度	1,793	119	1,912
21年度	1,690	204	1,894
22年度	1,478	230	1,708
23年度	1,545	215	1,760

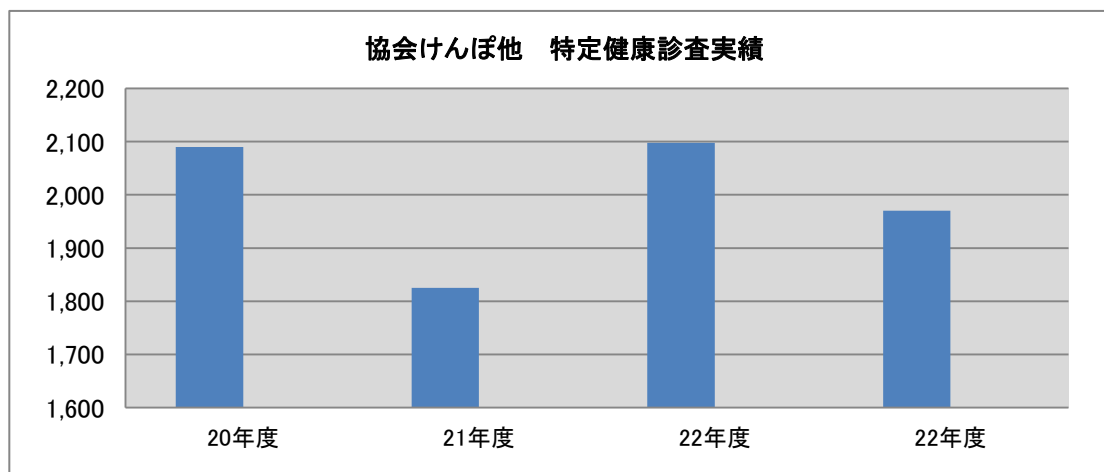
1. 町国保は、22年度まで連続前年割れとなったが、23年度は持ち直し前年比 67 名増となった。
2. 後期高齢者は、大きな変化はなく、前年比 15 名減。



《協会けんぽ他》

	協会けんぽ他
20年度	2,090
21年度	1,825
22年度	2,098
23年度	1,970

1. 22年度に実施方法等の周知、受診券の配布を申請方式から事前配布に替えたことにより回復したが、23年度は前年比 100 名減であった。今後事業所での対応が必要と思われる。



1.1. 平成23年度 特定健診 詳細実績

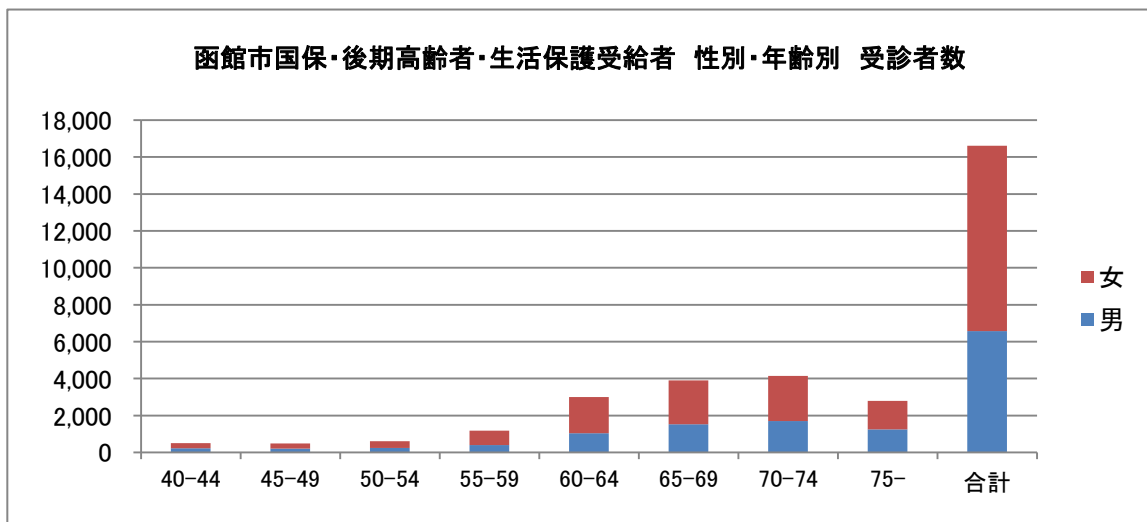
1) 保険者別・性別・年齢別 受診者数

① 函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者

《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者の性別・年齢別 受診者数》

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
		国保 後期 高齢 生保	男	221 44.4%	200 40.7%	238 39.0%	401 34.1%	1,042 34.8%	1,524 39.0%	1,691 40.8%
	女	277 55.6%	292 59.3%	373 61.0%	774 65.9%	1,956 65.2%	2,379 61.0%	2,455 59.2%	1,538 55.2%	10,044 60.5%
	計	498 3.0%	492 3.0%	611 3.7%	1,175 7.1%	2,998 18.0%	3,903 23.5%	4,146 25.0%	2,788 16.8%	16,611 100.0%

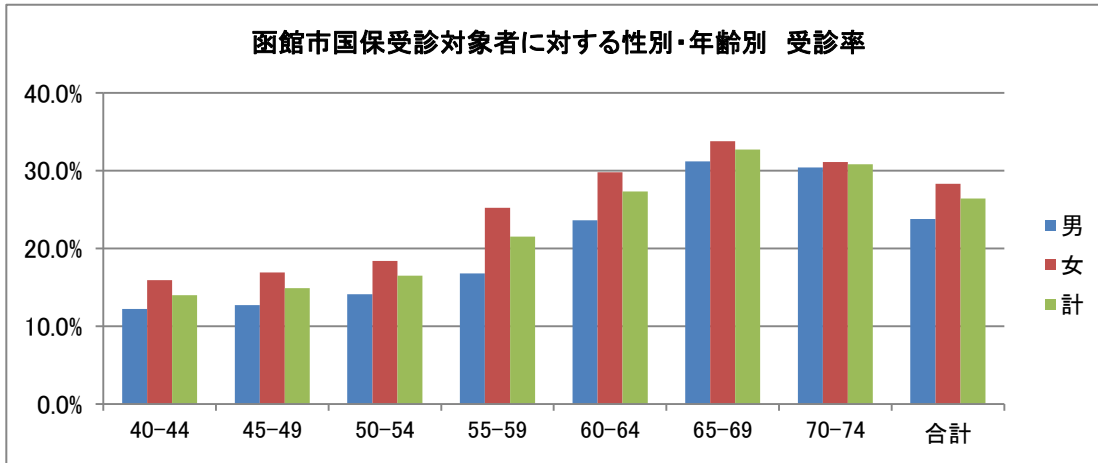
1. 受診者数の男女比率は男性 39.5%・女性 60.5%で、65歳以上は男性の比率が伸びていた。
2. 受診者の年齢分布は、40～54歳は微増、55歳から倍増となり、70～74歳で25.0%のピークを示した。
また、60～74歳が全体の66.5%を占めた。



《函館市国保の受診対象者に対する性別・年齢別 受診率》

		年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
		函館市 国保	男	対象者	1,807	1,575	1,685	2,385	4,408	4,879
受診者	221			200	238	401	1,042	1,524	1,691	5,317
受診率	12.2%			12.7%	14.1%	16.8%	23.6%	31.2%	30.4%	23.8%
函館市 国保	女	対象者	1,739	1,724	2,026	3,072	6,555	7,041	7,906	30,063
		受診者	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	8,506
		受診率	15.9%	16.9%	18.4%	25.2%	29.8%	33.8%	31.1%	28.3%
函館市 国保	計	対象者	3,546	3,299	3,711	5,457	10,963	11,920	13,463	52,359
		受診者	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	13,823
		受診率	14.0%	14.9%	16.5%	21.5%	27.3%	32.7%	30.8%	26.4%

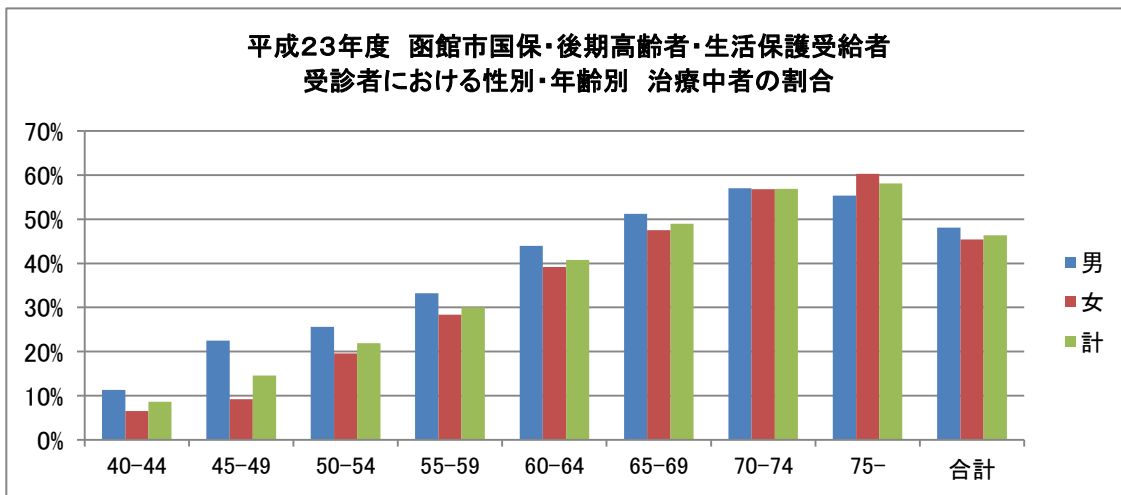
1. 年齢別受診率は、40～49歳までは14.0～14.9%と低いが、50歳から増加し、65～69歳で32.7%の受診率を示した。性別では、男性に比べて女性の方が高い受診率を示した。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者の受診者における治療中者の割合》

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男	受診者	221	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,567
	治療中	25	45	61	133	458	780	964	692	3,158
	%	11.3%	22.5%	25.6%	33.2%	44.0%	51.2%	57.0%	55.4%	48.1%
女	受診者	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044
	治療中	18	27	73	220	766	1,131	1,394	928	4,557
	%	6.5%	9.2%	19.6%	28.4%	39.2%	47.5%	56.8%	60.3%	45.4%
計	受診者	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,611
	治療中	43	72	134	353	1,224	1,911	2,358	1,620	7,715
	%	8.6%	14.6%	21.9%	30.0%	40.8%	49.0%	56.9%	58.1%	46.4%

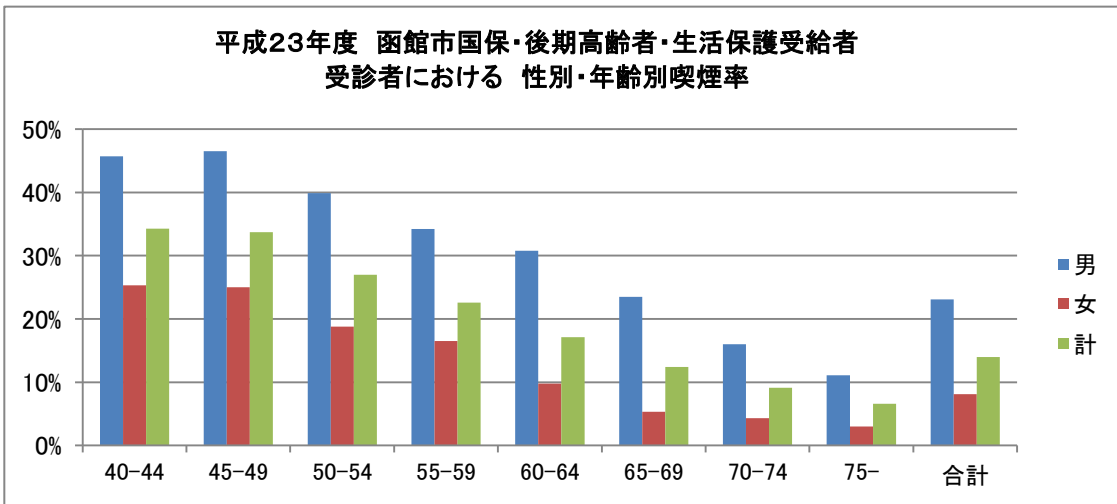
1. 受診者の治療率は、男女とも加齢とともに増加し、70歳以上で57～58%のピークを示した。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者の受診者における喫煙率》

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男	受診者	221	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,567
	喫煙者	101	93	95	137	321	358	271	139	1,515
	喫煙率	45.7%	46.5%	39.9%	34.2%	30.8%	23.5%	16.0%	11.1%	23.1%
女	受診者	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044
	喫煙者	70	73	70	128	191	126	106	46	810
	喫煙率	25.3%	25.0%	18.	16.5%	9.8%	5.3%	4.3%	3.0%	8.1%
計	受診者	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,611
	喫煙者	171	166	165	265	512	484	377	185	2,325
	喫煙率	34.3%	33.7%	27.0%	22.6%	17.1%	12.4%	9.1%	6.6%	14.0%

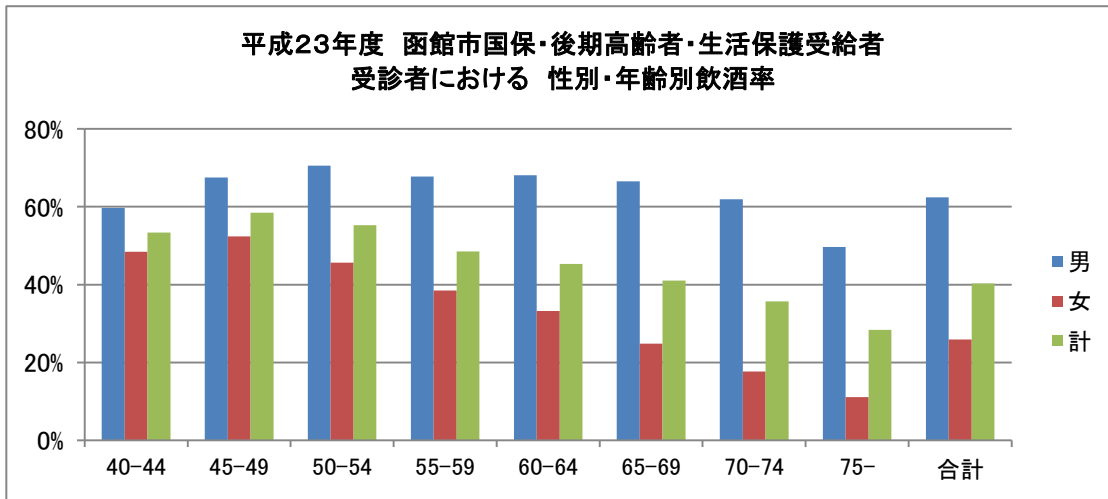
1. 喫煙率は男性の方が圧倒的に高いが、加齢とともに男女とも減少傾向を示した。



《函館国保・後期高齢者・生活保護受給者の受診者における飲酒率》

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男	受診者	221	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,567
	飲酒者	132	135	168	272	710	1,013	1,046	621	4,097
	飲酒率	59.7%	67.5%	70.6%	67.8%	68.1%	66.5%	61.9%	49.7%	62.4%
女	受診者	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044
	飲酒者	134	153	170	298	649	589	435	170	2,598
	飲酒率	48.4%	52.4%	45.6%	38.5%	33.2%	24.8%	17.7%	11.1%	25.9%
計	受診者	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,611
	飲酒者	266	288	338	570	1,359	1,602	1,481	791	6,695
	飲酒率	53.4%	58.5%	55.3%	48.5%	45.3%	41.0%	35.7%	28.4%	40.3%

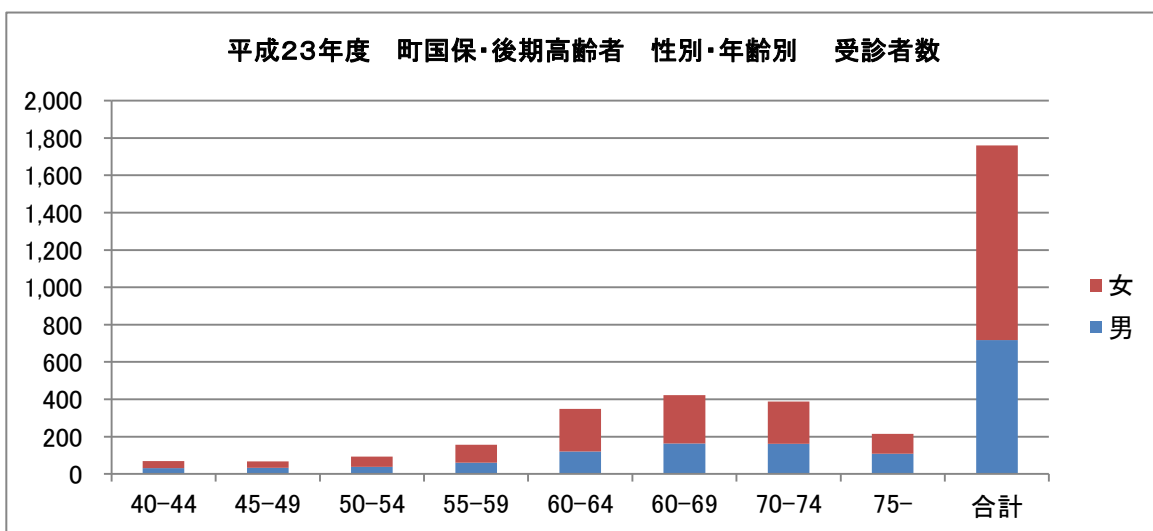
1. 飲酒率は、男性の方が60%前後と高かったが、加齢による変化はあまりみられなかった。女性は、加齢とともに減少傾向であった。



② 町国保・後期高齢者<<性別・年齢別 受診者数>>

		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
		町国保 後期高 齢者	男	31 44.3%	34 50.7%	38 40.9%	61 39.1%	120 34.4%	163 38.6%	162 41.8%
	女	39 55.7%	33 49.3%	55 59.1%	95 60.9%	229 65.6%	259 61.4%	226 58.2%	106 49.3%	1,042 59.2%
	計	70 4.0%	67 3.8%	93 5.3%	156 8.9%	349 19.8%	422 24.0%	388 22.0%	215 12.2%	1,760 100.0%

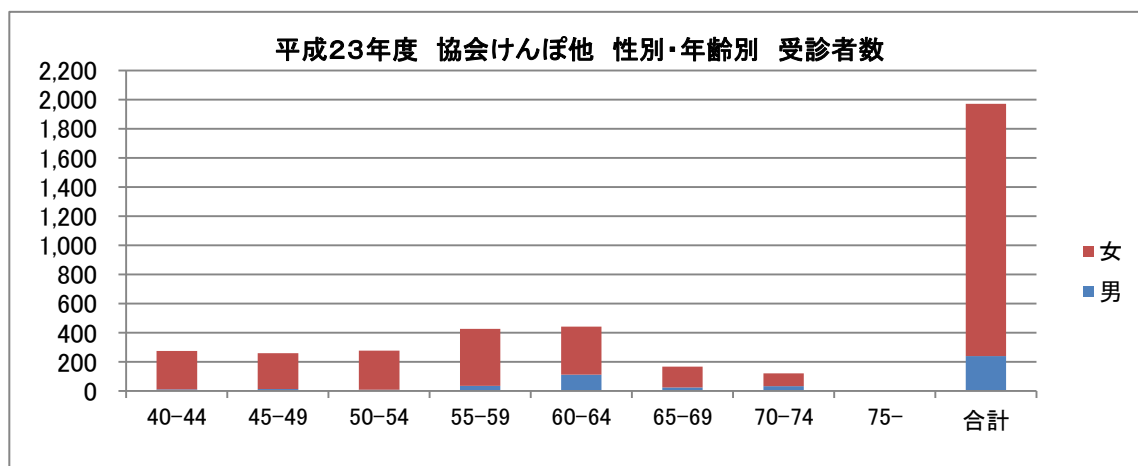
1. 受診者数の男女比率は、合計で男性 40.8%、女性 59.2%となった。年齢別比率では、45～49 歳で 50.7%を占めた男性比率が、加齢とともに減少し、60～64 歳で 34.4%となり、その後再び増加して 75 歳以上で 50.7%となった。
2. 受診者の年齢分布は、50 歳から増加傾向を示し、70 歳以降で減少する分布を示した。分布率では、60～74 歳が全体の 65.8%を占めていた。



③ 協会けんぽ他<<性別・年齢別 受診者数>>

協会けんぽ他		40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
	男	11 4.0%	14 5.4%	9 3.2%	36 8.4%	112 25.3%	25 15.0%	33 27.0%	0 0.0%	240 12.2%
	女	264 96.0%	245 94.6%	268 96.8%	391 91.6%	330 74.7%	142 85.0%	89 73.0%	1 100.0%	1,730 87.8%
計	275 14.0%	259 13.1%	277 14.1%	427 21.7%	442 22.4%	167 8.5%	122 6.2%	1 0.1%	1,970 100.0%	

1. 受診者数の男女比率は、合計で男性 12.2%、女性 87.8%となった。年齢別比率は、対象が被扶養者のため、男性は 60 歳以上で上昇し、70～74 歳でピークの 27.0%を示し、女性は、全体として高く、40～59 歳では 90%以上となった。
2. 受診者の年齢分布は、50 歳から徐々に増加し、60～64 歳で 22.4%のピークを示した後は減少し、70 歳以上で 6.2%となった。分布率では、50～64 歳が全体の 58.2%を占めた。国保と異なり、若い年齢層に分布した。



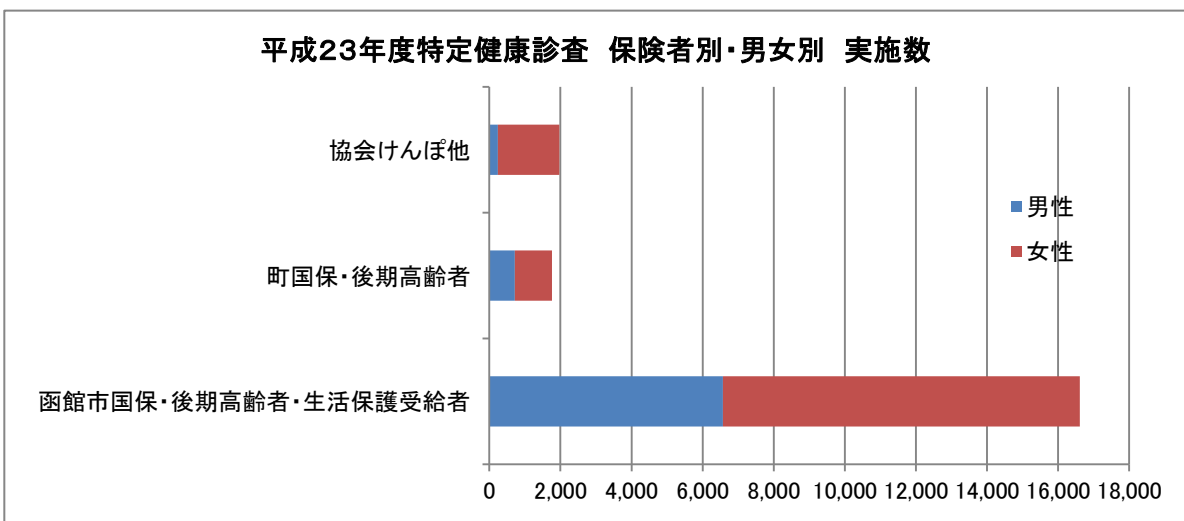
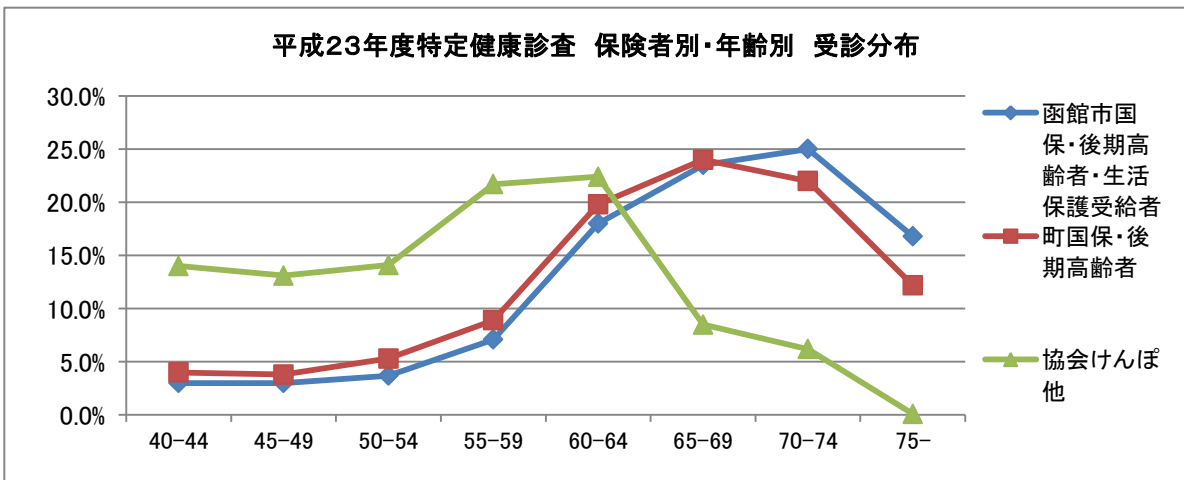
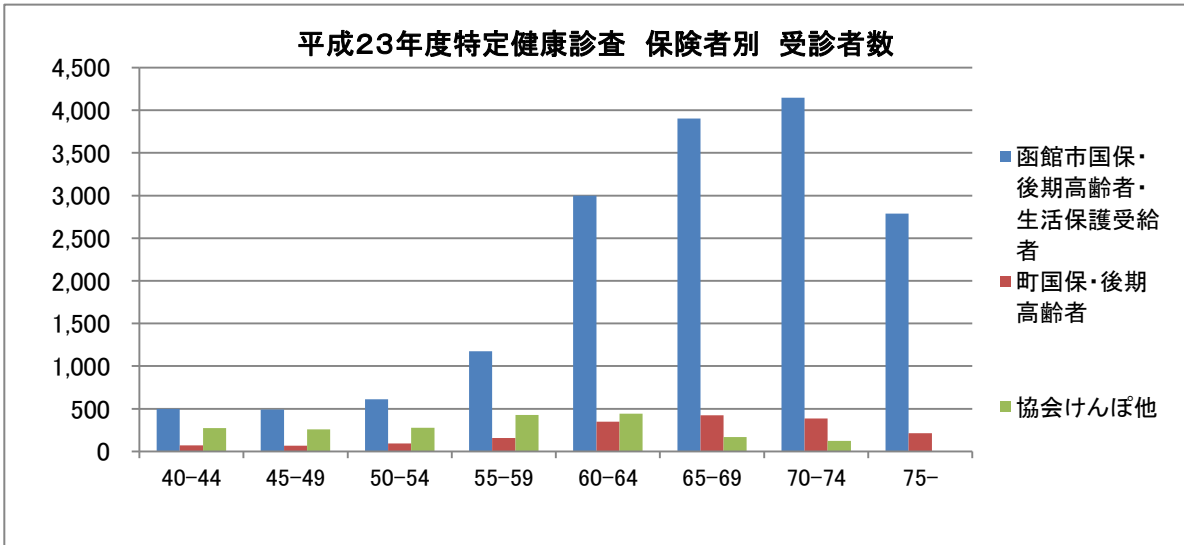
◎ 特定健康診査受診者数 <<総括>>

<<平成23年度 特定健康診査 保険者別・年齢別 受診者数>>

	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-	合計
函館市国保・後期高齢者 ・生活保護受給者	498 3.0%	492 3.0%	611 3.7%	1,175 7.1%	2,998 18.0%	3,903 23.5%	4,146 25.0%	2,788 16.8%	16,611 100.0%
町国保・後期高齢者	70 4.0%	67 3.8%	93 5.3%	156 8.9%	349 19.8%	422 24.0%	388 22.0%	215 12.2%	1,760 100.0%
協会けんぽ他	275 14.0%	259 13.1%	277 14.1%	427 21.7%	442 22.4%	167 8.5%	122 6.2%	1 0.1%	1,970 100.0%

	男性	女性	合計
函館市国保・後期高齢者 ・生活保護受給者	6,567 6.567	10,044 60.5%	16,611 100.0
町国保・後期高齢者	718 40.8%	1,042 59.2%	1,760 100.0
協会けんぽ他	240 12.2%	1,730 87.8%	1,970 100.0

1. 受診者数は、函館市及び町国保では、加齢とともに増加し、75 歳以後減少を示したが、協会けんぽ他では、60～64 歳でピークを示し、以後大きく減少した
2. 受診者の性別では、共通して女性の方が多いが、協会けんぽ他では差が 7 倍以上になった。これは、協会けんぽ他の受診者は被扶養者が対象であることが要因と考えられる。

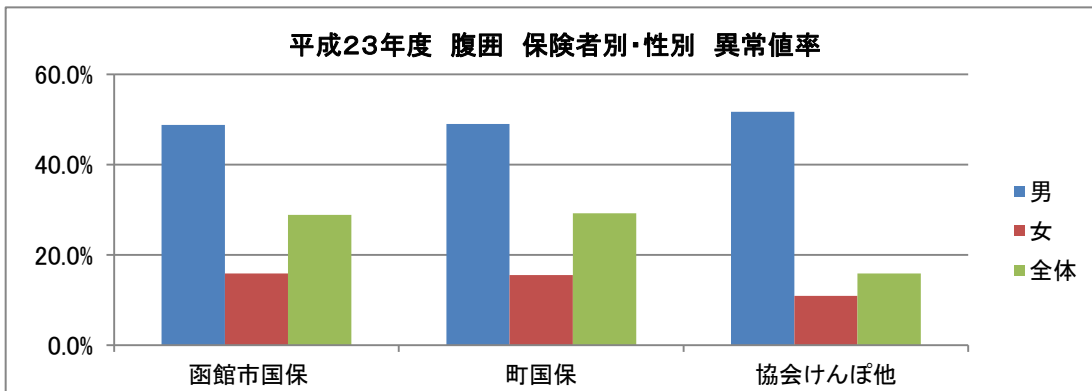


2) 健診項目別 検査結果

① 腹 囲

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
異常値率	男	48.8%	49.0%	51.7%
	女	15.9%	15.5%	10.9%
	全体	28.9%	29.2%	15.9%

1. 腹囲の異常値率は、保険者による違いはなく、男性 50%前後・女性 15%前後であった。男性の異常値率は女性に比べ、3 倍以上高い傾向を示した。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	102 46.2%	99 49.5%	119 50.0%	216 53.9%	506 48.6%	795 52.2%	830 49.1%	693 55.4%	3,360 51.2%
異常値	119 53.8%	101 50.5%	119 50.0%	185 46.1%	536 51.4%	729 47.8%	861 50.9%	557 44.6%	3,207 48.8%
計	221	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,567

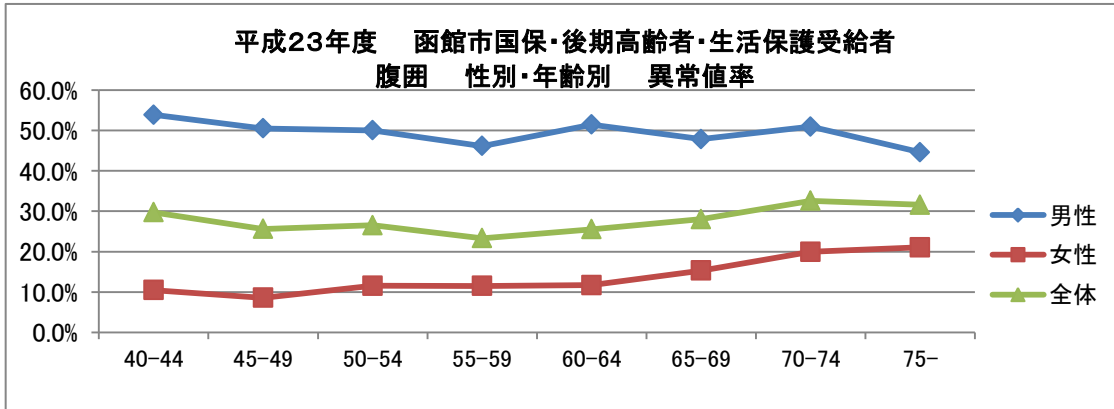
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	248 89.5%	267 91.4%	330 88.5%	685 88.5%	1,727 88.3%	2,015 84.7%	1,965 80.0%	1,214 78.9%	8,451 84.1%
異常値	29 10.5%	25 8.6%	43 11.5%	89 11.5%	229 11.7%	364 15.3%	490 20.0%	324 21.1%	1,593 15.9%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	350 70.3%	366 74.4%	449 73.5%	901 76.7%	2,233 74.5%	2,810 72.0%	2,795 67.4%	1,907 68.4%	11,811 71.1%
異常値	148 29.7%	126 25.6%	162 26.5%	274 23.3%	765 25.5%	1,093 28.0%	1,351 32.6%	881 31.6%	4,800 28.9%
計	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,611

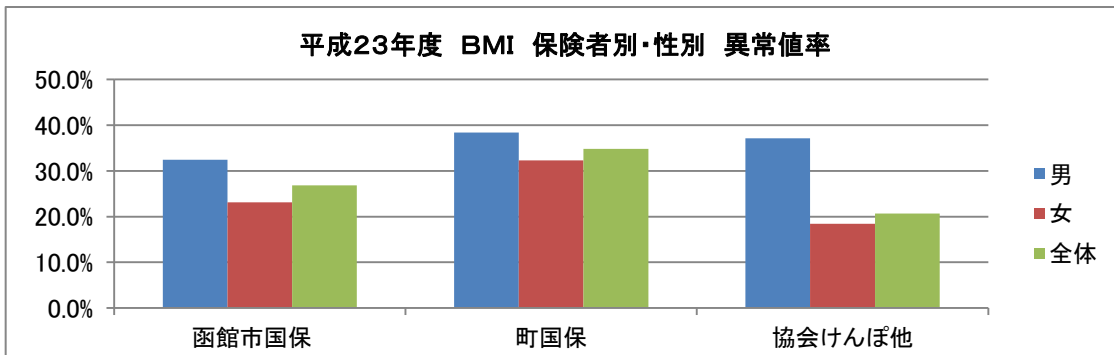
1. 腹囲の異常値率は、増減はあるが、男性は年齢とともに低下傾向が、女性は上昇傾向がみられた。



② BMI

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
異常値率	男	32.4%	38.4%	37.1%
	女	23.1%	32.3%	18.4%
	全体	26.8%	34.8%	20.7%

1. BMIの異常値率は、男性は32.4%～38.4%で保険者間での差はないが、女性は18.4%～23.1%と町国保受診者が協会けんぽ他受診者の約2倍の異常値率を示した。性別では、男性の方が高率で、腹囲と同様の傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	130	117	133	269	685	1,035	1,159	911	4,439
	58.8%	58.5%	55.9%	67.1%	65.7%	67.9%	68.5%	72.9%	67.6%
異常値	91	83	105	132	357	489	532	339	2,128
	41.2%	41.5%	44.1%	32.9%	34.3%	32.1%	31.5%	27.1%	32.4%
計	221	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,567

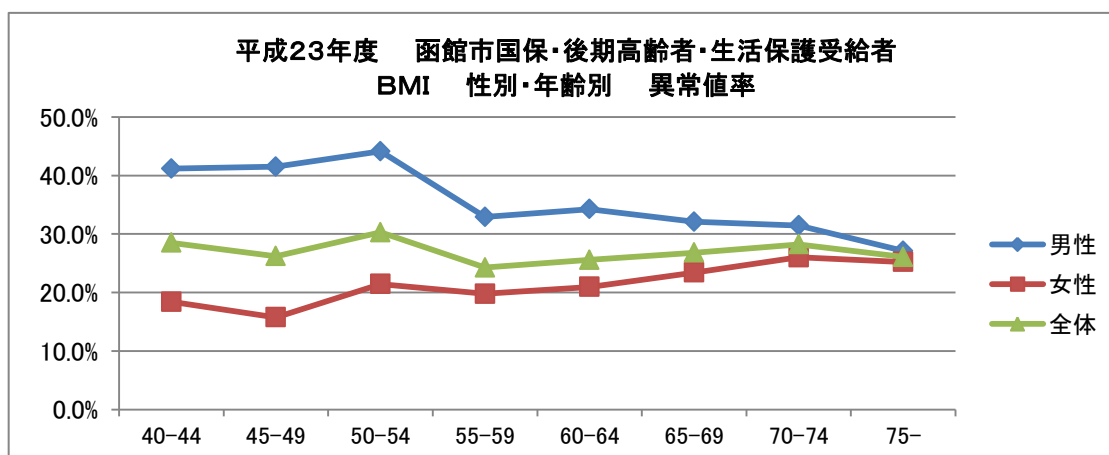
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	226	246	293	621	1,546	1,822	1,816	1,150	7,720
	81.6%	84.2%	78.6%	80.2%	79.0%	76.6%	74.0%	74.8%	76.9%
異常値	51	46	80	153	410	557	639	388	2,324
	18.4%	15.8%	21.4%	19.8%	21.0%	23.4%	26.0%	25.2%	23.1%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
基準値内	356	363	426	890	2,231	2,857	2,975	2,061	12,159
	71.5%	73.8%	69.7%	75.7%	74.4%	73.2%	71.8%	73.9%	73.2%
異常値	142	129	185	285	767	1,046	1,171	727	4,452
	28.5%	26.2%	30.3%	24.3%	25.6%	26.8%	28.2%	26.1%	26.8%
計	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,611

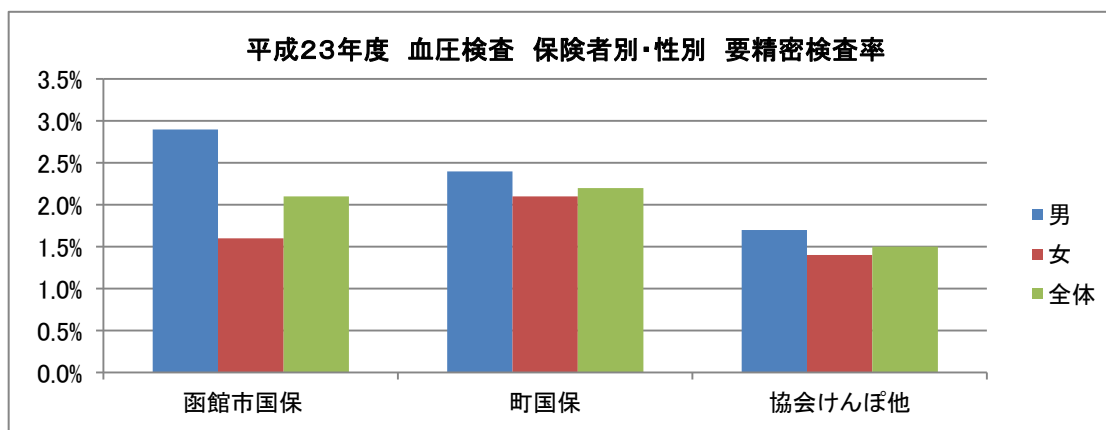
1. BMIの異常値率は、腹囲と同様、年齢とともに男性は低下傾向にあり、女性は上昇傾向にあった。



③ 血圧検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	5.2%	6.8%	7.9%
	女	4.2%	4.3%	2.7%
	全体	4.6%	5.3%	3.4%
要精密検査	男	2.9%	2.4%	1.7%
	女	1.6%	2.1%	1.4%
	全体	2.1%	2.2%	1.5%

1. 血圧検査の要精密検査率は全体では2%程度となった。
2. 性別では、町国保と協会けんぽ他ではあまり男女の差はなかったが、函館市国保では、男性が女性の2倍程度と高くなっていた。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	185 84.1%	153 76.5%	183 76.9%	272 67.8%	703 67.5%	1,002 65.7%	1,108 65.5%	849 67.9%	4,455 67.8%
ほぼ正常	22 10.0%	35 17.5%	33 13.9%	90 22.4%	235 22.6%	389 25.5%	456 27.0%	320 25.6%	1,580 24.1%
要経過観察	6 2.7%	7 3.5%	15 6.3%	21 5.2%	57 5.5%	91 6.0%	87 5.1%	55 4.4%	339 5.2%
要精密検査	7 3.2%	5 2.5%	7 2.9%	18 4.5%	47 4.5%	42 2.8%	40 2.4%	26 2.1%	192 2.9%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

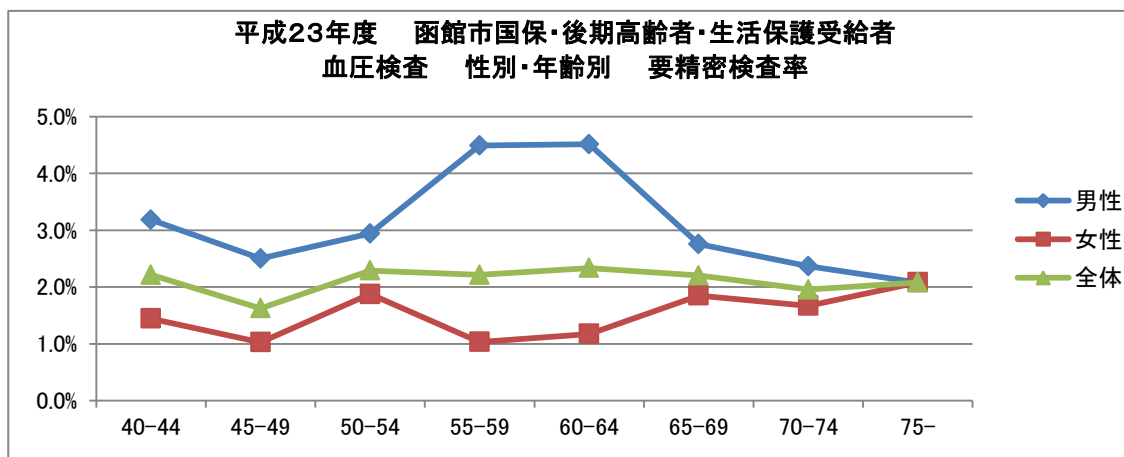
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	259 93.5%	255 87.3%	312 83.6%	599 77.4%	1,510 77.2%	1,742 73.2%	1,694 69.0%	1,012 65.8%	7,383 73.5%
ほぼ正常	10 3.6%	31 10.6%	44 11.8%	142 18.3%	351 17.9%	487 20.5%	598 24.4%	410 26.7%	2,073 20.6%
要経過観察	4 1.4%	3 1.0%	10 2.7%	25 3.2%	72 3.7%	106 4.5%	122 5.0%	84 5.5%	426 4.2%
要精密検査	4 1.4%	3 1.0%	7 1.9%	8 1.0%	23 1.2%	44 1.8%	41 1.7%	32 2.1%	162 1.6%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	444 89.3%	408 82.9%	495 81.0%	871 74.1%	2,213 73.8%	2,744 70.3%	2,802 67.6%	1,861 66.8%	11,838 71.3%
ほぼ正常	32 6.4%	66 13.4%	77 12.6%	232 19.7%	586 19.5%	876 22.4%	1,054 25.4%	730 26.2%	3,653 22.0%
要経過観察	10 2.0%	10 2.0%	25 4.1%	46 3.9%	129 4.3%	197 5.0%	209 5.0%	139 5.0%	765 4.6%
要精密検査	11 2.2%	8 1.6%	14 2.3%	26 2.2%	70 2.3%	86 2.2%	81 2.0%	58 2.1%	354 2.1%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,610

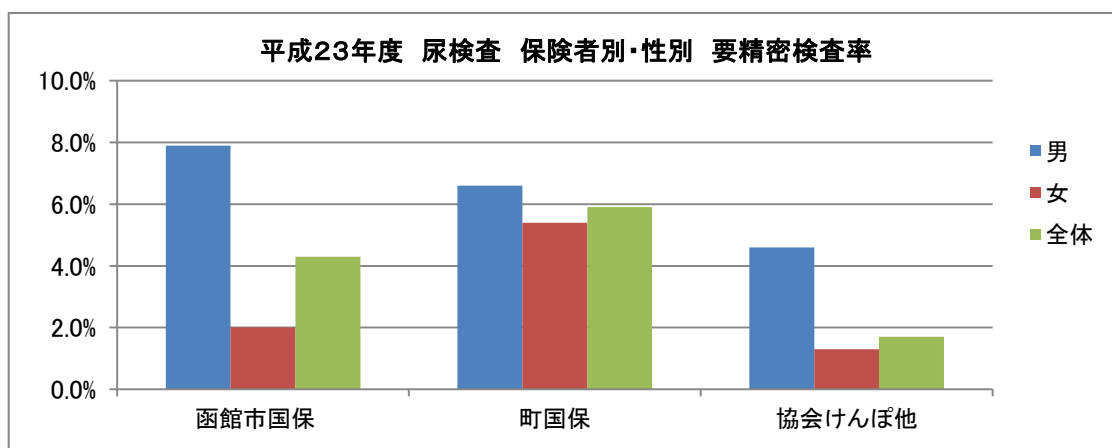
1. 血圧検査の要精密検査率は、男性は55～64歳でピークを示し、その後は加齢とともに低下した。
女性も、増減はあるが、60歳以後は加齢とともに上昇傾向にあり、腹囲と同様の傾向を示していた。



④ 尿検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	9.4%	10.7%	7.9%
	女	4.4%	15.4%	3.5%
	全体	6.4%	13.5%	4.1%
要精密検査	男	7.9%	6.6%	4.6%
	女	2.0%	5.4%	1.3%
	全体	4.3%	5.9%	1.7%

1. 尿検査の要精密検査率は、函館市及び町国保が 4.3～5.9%、協会けんぽ他が 1.7%となった。この違いは受診者の年齢分布の違いによるものと考えられる。
2. 性別では、女性に比べ男性の方が、函館市国保では 4 倍近く、協会けんぽ他では 3 倍以上高くなったが、町国保では差は僅かとなった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	201 91.0%	168 84.8%	196 82.7%	308 76.8%	793 76.3%	1,162 76.6%	1,227 73.1%	949 77.0%	5,004 76.7%
ほぼ正常	4 1.8%	8 4.0%	7 3.0%	26 6.5%	67 6.4%	98 6.5%	120 7.2%	64 5.2%	394 6.0%
要経過観察	10 4.5%	11 5.6%	18 7.6%	32 8.0%	94 9.0%	130 8.6%	173 10.3%	142 11.5%	610 9.4%
要精密検査	6 2.7%	11 5.6%	16 6.8%	35 8.7%	85 8.2%	126 8.3%	158 9.4%	78 6.3%	515 7.9%
計	221	198	237	401	1,039	1,516	1,678	1,233	6,523

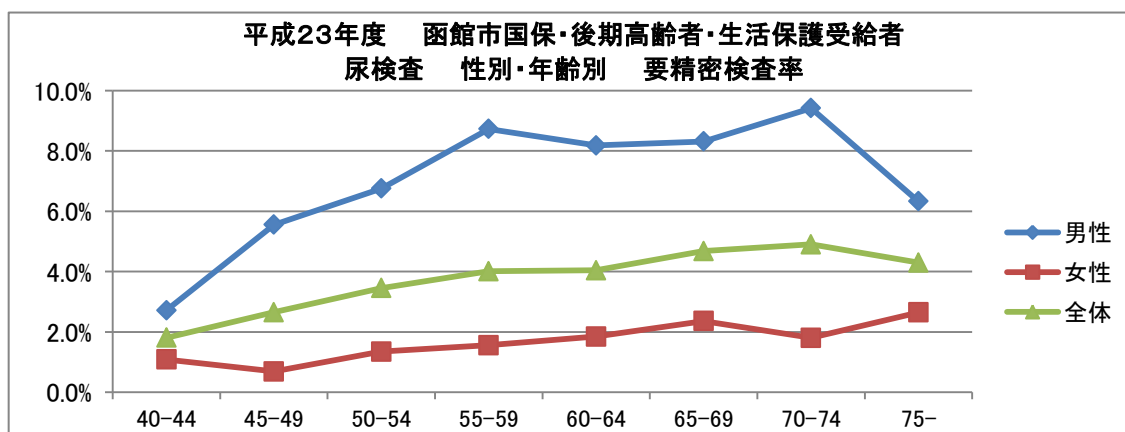
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	248 89.5%	271 92.8%	343 92.5%	708 91.8%	1,764 90.3%	2,136 90.0%	2,176 89.0%	1,283 84.8%	8,929 89.3%
ほぼ正常	11 4.0%	8 2.7%	13 3.5%	23 3.0%	76 3.9%	96 4.0%	107 4.4%	96 6.3%	430 4.3%
要経過観察	15 5.4%	11 3.8%	10 2.7%	28 3.6%	78 4.0%	85 3.6%	118 4.8%	94 6.2%	439 4.4%
要精密検査	3 1.1%	2 0.7%	5 1.3%	12 1.6%	36 1.8%	56 2.4%	44 1.8%	40 2.6%	198 2.0%
計	277	292	371	771	1,954	2,373	2,445	1,513	9,996

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	449 90.2%	439 89.6%	539 88.7%	1,016 86.7%	2,557 85.4%	3,298 84.8%	3,403 82.5%	2,232 81.3%	13,933 84.3%
ほぼ正常	15 3.0%	16 3.3%	20 3.3%	49 4.2%	143 4.8%	194 5.0%	227 5.5%	160 5.8%	824 5.0%
要経過観察	25 5.0%	22 4.5%	28 4.6%	60 5.1%	172 5.7%	215 5.5%	291 7.1%	236 8.6%	1,049 6.4%
要精密検査	9 1.8%	13 2.7%	21 3.5%	47 4.0%	121 4.0%	182 4.7%	202 4.9%	118 4.3%	713 4.3%
計	498	490	608	1,172	2,993	3,889	4,123	2,746	16,519

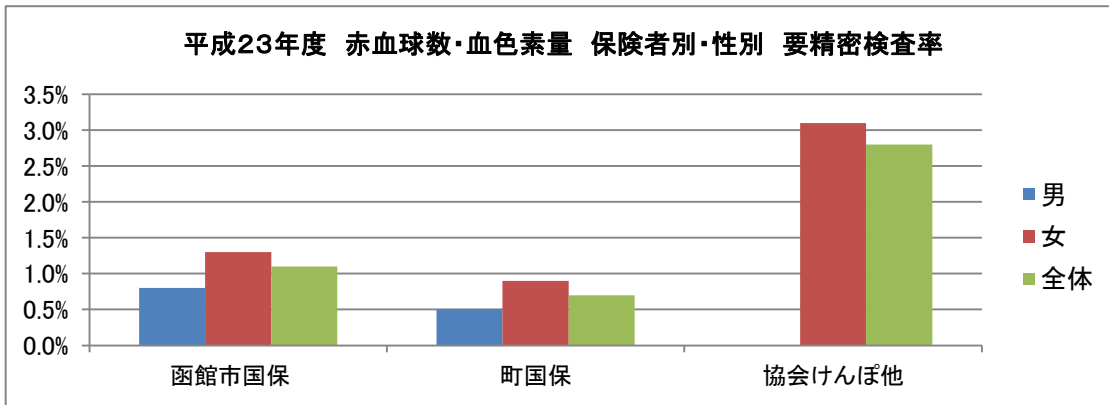
1. 尿検査の要精密検査率は、男性は年齢とともに上昇し、70～74歳で9.4%のピークを示したが、女性は2%前後で年齢による大きな変化は認めなかった。



⑤ 赤血球数・血色素量検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	9.8%	7.4%	9.4%
	女	5.8%	5.1%	4.8%
	全体	7.4%	6.0%	5.2%
要精密検査	男	0.8%	0.5%	0.0%
	女	1.3%	0.9%	3.1%
	全体	1.1%	0.7%	2.8%

1. 赤血球数・血色素量検査の要精密検査率は、函館市及び町国保では全体で1%程度、性別では、女性が男性の約2倍と高くなった。協会けんぽ他では、全体が2.8%、性別では女性が男性の3倍と高くなった。要因は、受診者の年齢の違いによるものと思われる。また、貧血が異常値の約9割を占めていた。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	203 92.3%	173 86.5%	214 89.9%	332 82.8%	831 79.8%	1,158 76.0%	1,195 70.7%	705 56.4%	4,811 73.3%
ほぼ正常	16 7.3%	23 11.5%	14 5.9%	45 11.2%	144 13.8%	245 16.1%	291 17.2%	280 22.4%	1,058 16.1%
要経過観察	0 0.0%	4 2.0%	10 4.2%	20 5.0%	59 5.7%	110 7.2%	194 11.5%	246 19.7%	643 9.8%
要精密検査	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.0%	8 0.8%	11 0.7%	11 0.7%	18 1.4%	53 0.8%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,249	6,565

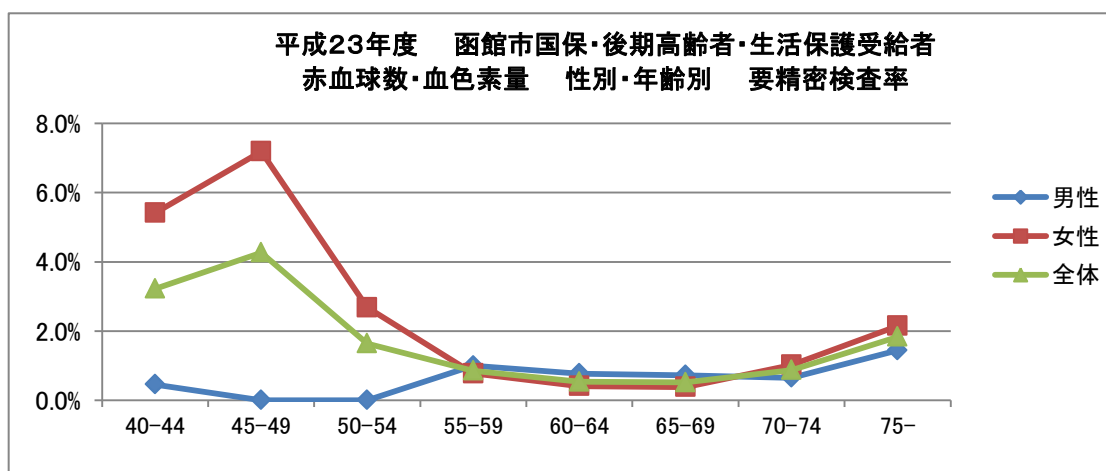
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	177 63.9%	200 68.5%	301 80.7%	613 79.2%	1,567 80.1%	1,874 78.8%	1,792 73.0%	956 62.2%	7,480 74.5%
ほぼ正常	69 24.9%	50 17.1%	46 12.3%	123 15.9%	313 16.0%	398 16.7%	469 19.1%	386 25.1%	1,854 18.5%
要経過観察	16 5.8%	21 7.2%	16 4.3%	32 4.1%	68 3.5%	98 4.1%	168 6.8%	162 10.5%	581 5.8%
要精密検査	15 5.4%	21 7.2%	10 2.7%	6 0.8%	8 0.4%	9 0.4%	25 1.0%	33 2.1%	127 1.3%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,454	1,537	10,042

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	380 76.5%	373 75.8%	515 84.3%	945 80.4%	2,398 80.0%	3,032 77.7%	2,987 72.1%	1,661 59.6%	12,291 74.0%
ほぼ正常	85 17.1%	73 14.8%	60 9.8%	168 14.3%	457 15.2%	643 16.5%	760 18.3%	666 23.9%	2,912 17.5%
要経過観察	16 3.2%	25 5.1%	26 4.3%	52 4.4%	127 4.2%	208 5.3%	362 8.7%	408 14.6%	1,224 7.4%
要精密検査	16 3.2%	21 4.3%	10 1.6%	10 0.9%	16 0.5%	20 0.5%	36 0.9%	51 1.8%	180 1.1%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,145	2,786	16,607

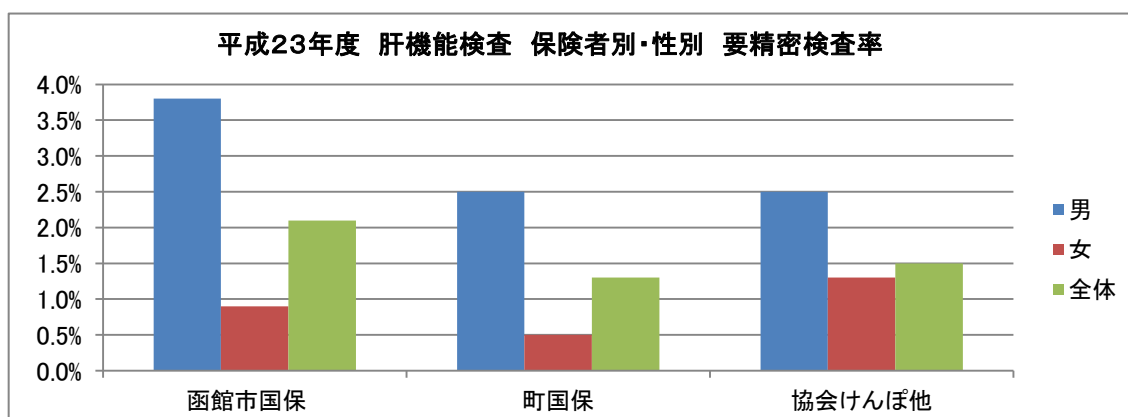
1. 赤血球数・血色素量検査の年齢別要精密検査率は、男性では年齢にともなう変化はみられなかったが、女性は、50～54歳で急減し、55歳以後は1.0%前後に低下した。要因は、貧血が異常値の約9割を占めていることから、閉経により貧血が減少するためと考えられる。



⑥ 肝機能検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	5.9%	5.8%	9.2%
	女	2.5%	3.1%	2.3%
	全体	3.9%	4.2%	3.1%
要精密検査	男	3.8%	2.5%	2.5%
	女	0.9%	0.5%	1.3%
	全体	2.1%	1.3%	1.5%

1. 肝機能検査の要精密検査率は、全体で1.5%前後となっており、性別では、男性が女性に比べ数倍高い傾向となっていた。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	113 51.4%	105 52.5%	129 54.2%	229 57.1%	618 59.3%	953 62.5%	1,151 68.1%	925 74.0%	4,223 64.3%
ほぼ正常	64 29.1%	63 31.5%	77 32.4%	107 26.7%	301 28.9%	418 27.4%	414 24.5%	260 20.8%	1,704 26.0%
要経過観察	28 12.7%	22 11.0%	20 8.4%	34 8.5%	75 7.2%	101 6.6%	76 4.5%	32 2.6%	388 5.9%
要精密検査	15 6.8%	10 5.0%	12 5.0%	31 7.7%	48 4.6%	52 3.4%	50 3.0%	33 2.6%	251 3.8%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

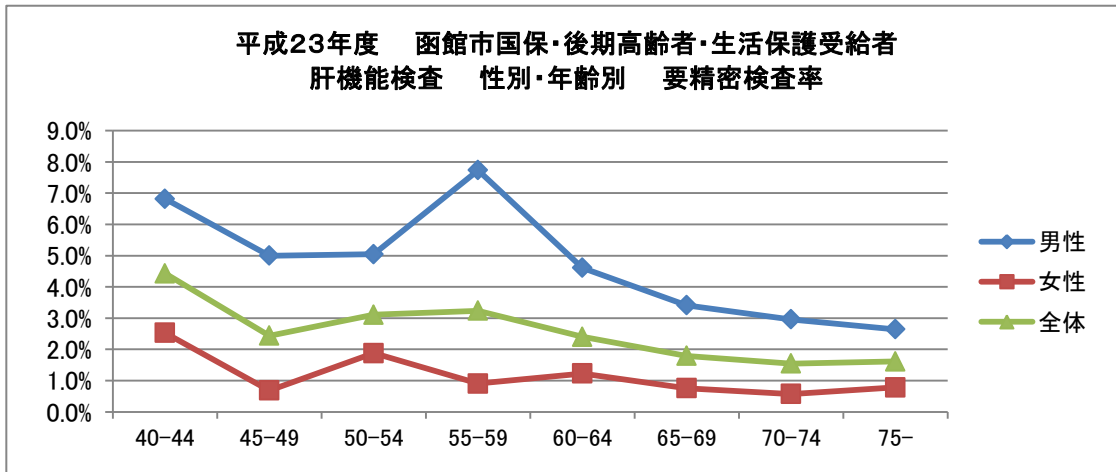
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	211 76.2%	219 75.0%	260 69.7%	510 65.9%	1,355 69.3%	1,692 71.1%	1,785 72.7%	1,139 74.1%	7,171 71.4%
ほぼ正常	49 17.7%	66 22.6%	88 23.6%	232 30.0%	536 27.4%	612 25.7%	600 24.4%	343 22.3%	2,526 25.2%
要経過観察	10 3.6%	5 1.7%	18 4.8%	25 3.2%	41 2.1%	57 2.4%	55 2.2%	43 2.8%	254 2.5%
要精密検査	7 2.5%	2 0.7%	7 1.9%	7 0.9%	24 1.2%	18 0.8%	14 0.6%	12 0.8%	91 0.9%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,454	1,537	10,042

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	324 65.2%	324 65.9%	389 63.7%	739 62.9%	1,973 65.8%	2,645 67.8%	2,936 70.8%	2,064 74.1%	11,394 68.6%
ほぼ正常	113 22.7%	129 26.2%	165 27.0%	339 28.9%	837 27.9%	1,030 26.4%	1,014 24.5%	603 21.6%	4,230 25.5%
要経過観察	38 7.6%	27 5.5%	38 6.2%	59 5.0%	116 3.9%	158 4.0%	131 3.2%	75 2.7%	642 3.9%
要精密検査	22 4.4%	12 2.4%	19 3.1%	38 3.2%	72 2.4%	70 1.8%	64 1.5%	45 1.6%	342 2.1%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,145	2,787	16,608

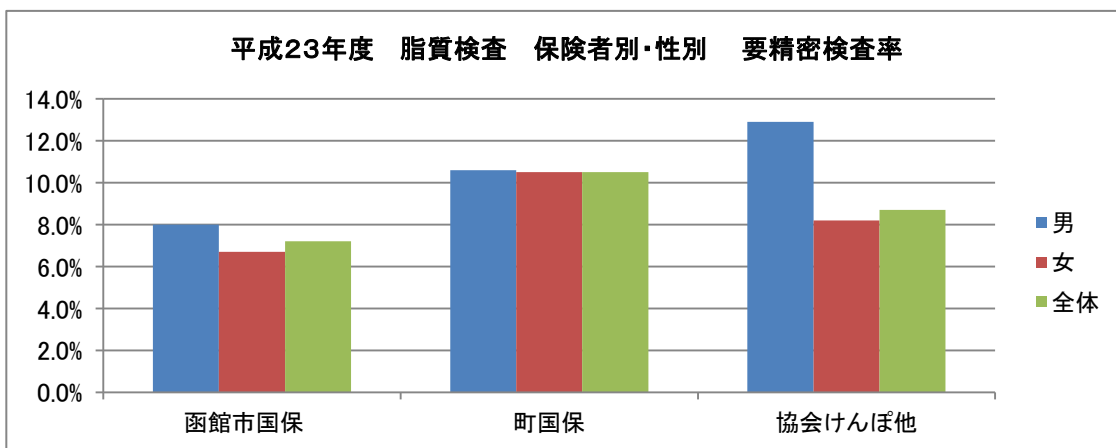
- 肝機能検査の年齢別要精密検査率は、男性は55～59歳で7.7%とピークを示し、その後は加齢とともに低下した。女性は40～45歳の2.5%がピークで、その後は2%以下で低下傾向にあった。



⑦ 脂質検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	17.9%	15.5%	18.3%
	女	15.6%	13.1%	12.6%
	全体	16.5%	14.0%	13.3%
要精密検査	男	8.0%	10.6%	12.9%
	女	6.7%	10.5%	8.2%
	全体	7.2%	10.5%	8.7%

1. 脂質検査の要精密検査率は、6～10%前後で、保険者及び性別による差異はあまりなく、腹囲・BMI・血圧とは異なる傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	82 37.3%	90 45.0%	98 41.2%	168 41.9%	470 45.1%	793 52.0%	886 52.4%	730 58.4%	3,317 50.5%
ほぼ正常	51 23.2%	38 19.0%	46 19.3%	105 26.2%	250 24.0%	340 22.3%	420 24.8%	300 24.0%	1,550 23.6%
要経過観察	47 21.4%	40 20.0%	58 24.4%	83 20.7%	217 20.8%	276 18.1%	285 16.9%	170 13.6%	1,176 17.9%
要精密検査	40 18.2%	32 16.0%	36 15.1%	45 11.2%	105 10.1%	115 7.5%	100 5.9%	50 4.0%	523 8.0%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

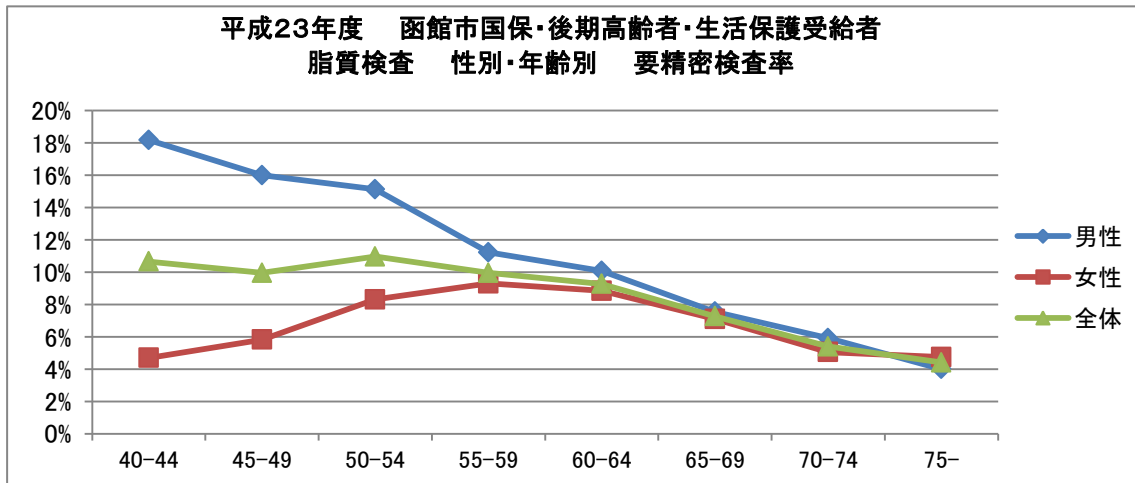
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	173 62.5%	172 58.9%	202 54.2%	395 51.0%	1,046 53.5%	1,321 55.5%	1,452 59.2%	883 57.4%	5,644 56.2%
ほぼ正常	63 22.7%	69 23.6%	89 23.9%	170 22.0%	414 21.2%	530 22.3%	477 19.4%	344 22.4%	2,156 21.5%
要経過観察	28 10.1%	34 11.6%	51 13.7%	137 17.7%	323 16.5%	359 15.1%	401 16.3%	237 15.4%	1,570 15.6%
要精密検査	13 4.7%	17 5.8%	31 8.3%	72 9.3%	173 8.8%	169 7.1%	124 5.1%	73 4.7%	672 6.7%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,454	1,537	10,042

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	255 51.3%	262 53.3%	300 49.1%	563 47.9%	1,516 50.6%	2,114 54.2%	2,338 56.4%	1,613 57.9%	8,961 54.0%
ほぼ正常	114 22.9%	107 21.7%	135 22.1%	275 23.4%	664 22.1%	870 22.3%	897 21.6%	644 23.1%	3,706 22.3%
要経過観察	75 15.1%	74 15.0%	109 17.8%	220 18.7%	540 18.0%	635 16.3%	686 16.6%	407 14.6%	2,746 16.5%
要精密検査	53 10.7%	49 10.0%	67 11.0%	117 10.0%	278 9.3%	284 7.3%	224 5.4%	123 4.4%	1,195 7.2%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,145	2,787	16,608

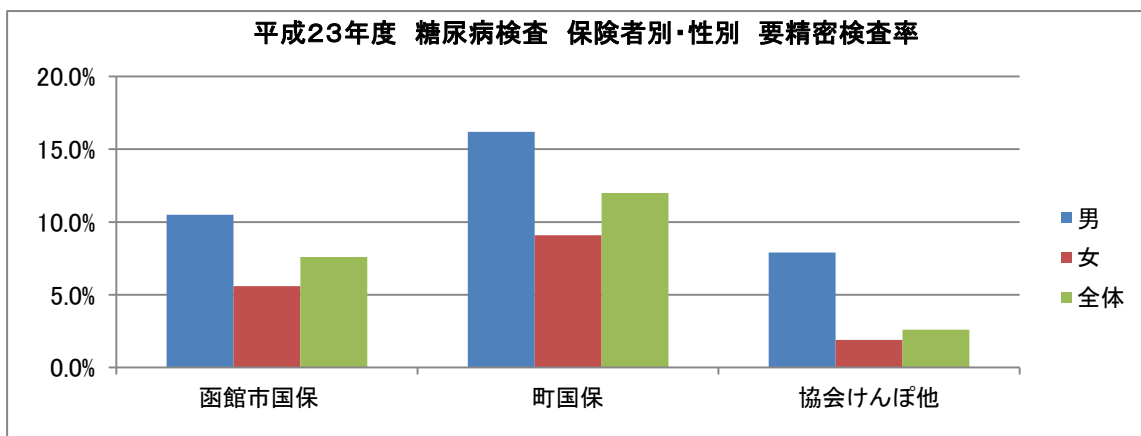
1. 脂質検査の年齢別要精密検査率は、男性は加齢とともに低下したが、女性は加齢とともに上昇し、60歳以後、加齢とともに低下を示した。腹囲やBMI、血圧とは異なる傾向であった。



⑧ 糖尿病検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	3.4%	5.8%	2.9%
	女	2.4%	3.6%	1.4%
	全体	2.8%	4.5%	1.6%
要精密検査	男	10.5%	16.2%	7.9%
	女	5.6%	9.1%	1.9%
	全体	7.6%	12.0%	2.6%

1. 糖尿病検査の要精密検査率は、全体が2.6%～12.0%で、町国保は協会けんぽ他の約4.5倍となった。性別では保険者間の違いは無く、男性が女性の2～3倍の高率で、腹囲やBMIと同様の傾向だった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	210 95.5%	189 94.5%	211 88.7%	350 87.3%	888 85.2%	1,285 84.3%	1,424 84.2%	1,089 87.1%	5,646 86.0%
ほぼ正常	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.2%	1 0.1%	2 0.1%	2 0.1%	1 0.1%	8 0.1%
要経過観察	3 1.4%	3 1.5%	7 2.9%	9 2.2%	34 3.3%	60 3.9%	61 3.6%	46 3.7%	223 3.4%
要精密検査	7 3.2%	8 4.0%	19 8.0%	41 10.2%	119 11.4%	177 11.6%	204 12.1%	114 9.1%	689 10.5%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

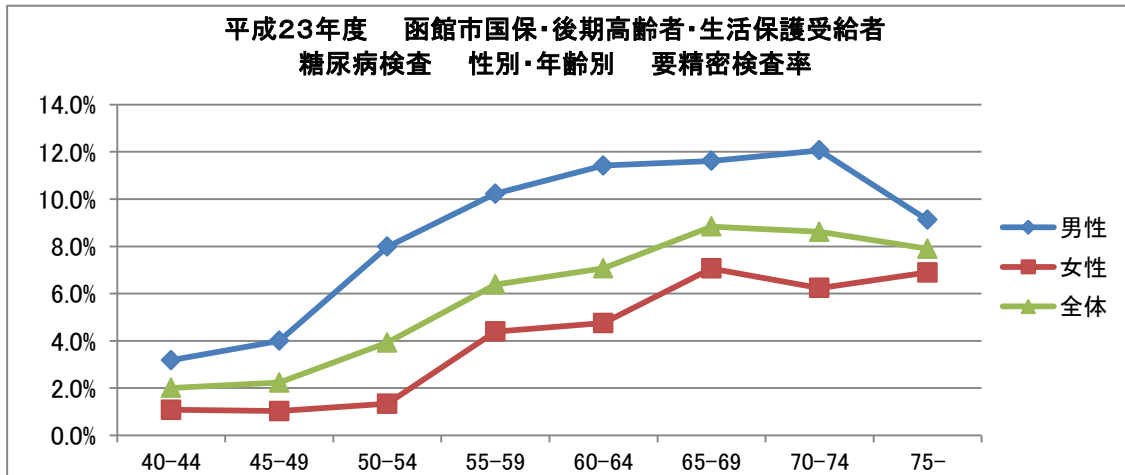
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	270 97.5%	284 97.3%	363 97.3%	730 94.3%	1,807 92.4%	2,149 90.3%	2,234 91.0%	1,384 90.0%	9,221 91.8%
ほぼ正常	4 1.4%	2 0.7%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.1%	3 0.1%	1 0.0%	0 0.0%	13 0.1%
要経過観察	0 0.0%	3 1.0%	4 1.1%	10 1.3%	54 2.8%	59 2.5%	66 2.7%	47 3.1%	243 2.4%
要精密検査	3 1.1%	3 1.0%	5 1.3%	34 4.4%	93 4.8%	168 7.1%	153 6.2%	106 6.9%	565 5.6%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,454	1,537	10,042

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	480 96.6%	473 96.1%	574 93.9%	1,080 91.9%	2,695 89.9%	3,434 88.0%	3,658 88.3%	2,473 88.7%	14,867 89.5%
ほぼ正常	4 0.8%	2 0.4%	2 0.3%	1 0.1%	3 0.1%	5 0.1%	3 0.1%	1 0.0%	21 0.1%
要経過観察	3 0.6%	6 1.2%	11 1.8%	19 1.6%	88 2.9%	119 3.0%	127 3.1%	93 3.3%	466 2.8%
要精密検査	10 2.0%	11 2.2%	24 3.9%	75 6.4%	212 7.1%	345 8.8%	357 8.6%	220 7.9%	1,254 7.6%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,145	2,787	16,608

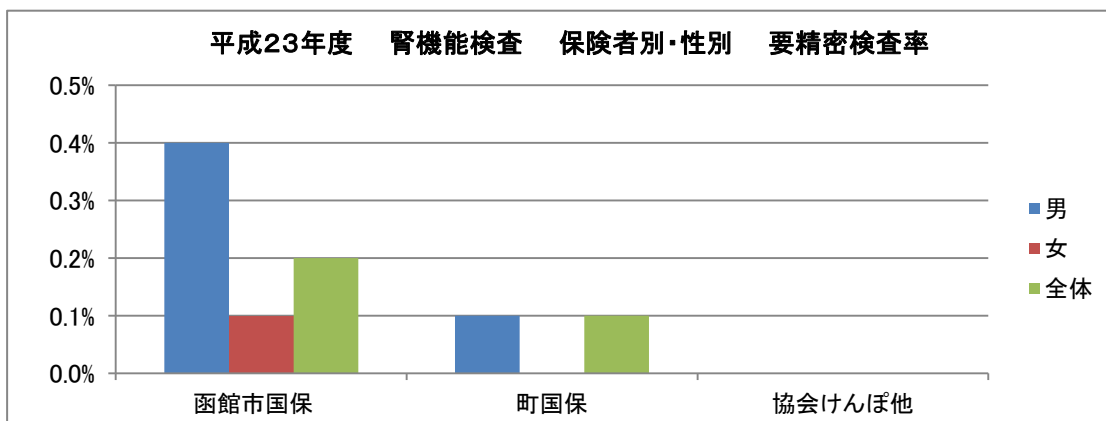
1. 糖尿病検査の年齢別要精密検査率は、各年齢において男性が女性より高く、男性は加齢とともに増加し、75歳以上で減少を示したが、女性は加齢とともに増加傾向を示した。



⑨ 腎機能検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ
要経過観察	男	3.1%	4.4%	0.0%
	女	1.2%	1.9%	3.3%
	全体	2.0%	2.9%	3.2%
要精密検査	男	0.4%	0.1%	0.0%
	女	0.1%	0.0%	0.0%
	全体	0.2%	0.1%	0.0%

- 腎機能検査の要精密検査率は、全体では、協会けんぽ他が0.0%、函館市及び町国保が0.1~0.2%と大差なかった。性別では、函館市及び町国保とも男性が高かった。
- 要経過観察率では、協会けんぽ他が全体で3.2%と高く、函館市国保の1.5倍となった。性別では、函館市及び町国保とも男性が女性に比べ3倍程高い傾向にあったが、協会けんぽ他では、女性の方が高くなった。要因は、協会けんぽ他では、女性の受診者割合が約90%と高いためと考えられる。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	217 98.6%	192 96.0%	228 95.8%	381 95.0%	989 94.9%	1,431 93.9%	1,512 89.4%	1,067 85.4%	6,017 91.6%
ほぼ正常	1 0.5%	7 3.5%	9 3.8%	11 2.7%	32 3.1%	61 4.0%	103 6.1%	98 7.8%	322 4.9%
要経過観察	2 0.9%	1 0.5%	1 0.4%	8 2.0%	18 1.7%	25 1.6%	67 4.0%	79 6.3%	201 3.1%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	3 0.3%	7 0.5%	9 0.5%	6 0.5%	26 0.4%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

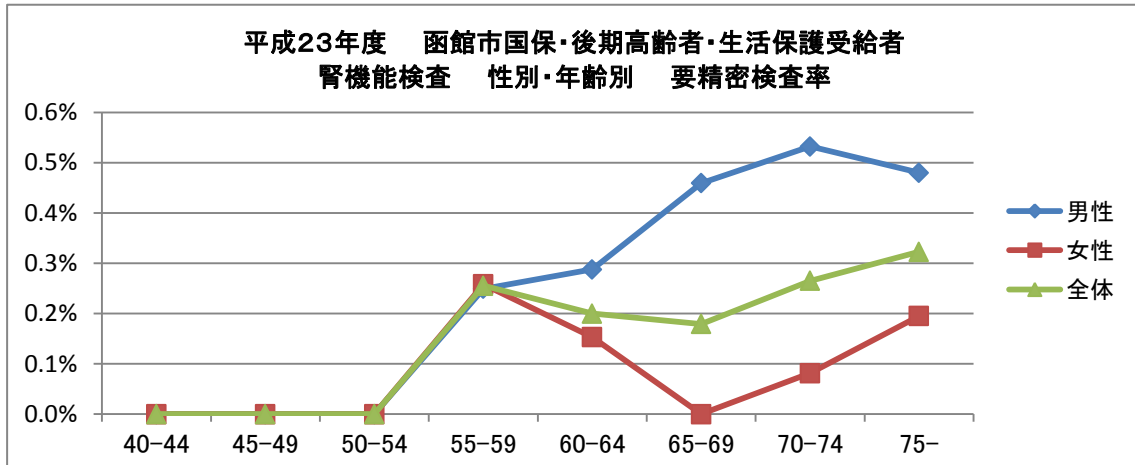
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	274 98.9%	292 100.0%	361 96.8%	753 97.3%	1,887 96.5%	2,254 94.7%	2,258 92.0%	1,347 87.6%	9,426 93.9%
ほぼ正常	3 1.1%	0 0.0%	10 2.7%	14 1.8%	53 2.7%	109 4.6%	155 6.3%	138 9.0%	482 4.8%
要経過観察	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	5 0.6%	13 0.7%	16 0.7%	39 1.6%	49 3.2%	124 1.2%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.3%	3 0.2%	0 0.0%	2 0.1%	3 0.2%	10 0.1%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,454	1,537	10,042

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	491 98.8%	484 98.4%	589 96.4%	1,134 96.5%	2,876 95.9%	3,685 94.4%	3,770 91.0%	2,414 86.6%	15,443 93.0%
ほぼ正常	4 0.8%	7 1.4%	19 3.1%	25 2.1%	85 2.8%	170 4.4%	258 6.2%	236 8.5%	804 4.8%
要経過観察	2 0.4%	1 0.2%	3 0.5%	13 1.1%	31 1.0%	41 1.1%	106 2.6%	128 4.6%	325 2.0%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%	6 0.2%	7 0.2%	11 0.3%	9 0.3%	36 0.2%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,145	2,787	16,608

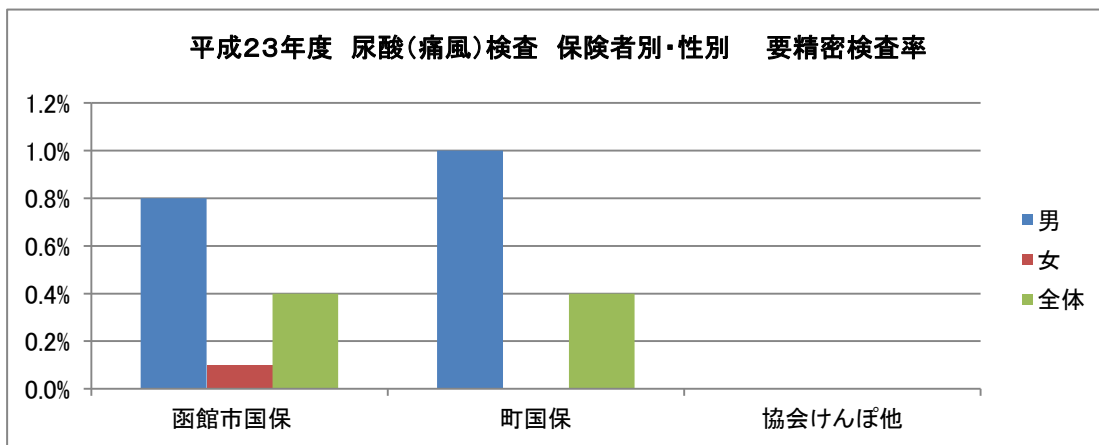
1. 腎臓機能検査の要精密検査率は、全体では 0.0～0.3%で、増減はあるが加齢とともに増加傾向にあった。性別では、男性は加齢とともに増加し、女性は 55～59 歳をピークに一旦減少し、70 歳以後再び増加を示した。



⑩ 尿酸(痛風)検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	2.6%	2.3%	—
	女	0.3%	0.0%	—
	全体	1.2%	0.9%	—
要精密検査	男	0.8%	1.0%	—
	女	0.1%	0.0%	—
	全体	0.4%	0.4%	—

1. 尿酸(痛風)検査の要精密検査率は、全体では函館市及び町国保とも0.4%で、女性に比べ、男性の方が、数倍高くなっていた。協会けんぽ他では、対象項目になっていないため行っていない。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	172 78.2%	160 80.0%	188 79.0%	320 79.8%	864 82.9%	1,260 82.7%	1,421 84.0%	1,058 84.6%	5,443 82.9%
ほぼ正常	41 18.6%	28 14.0%	36 15.1%	63 15.7%	136 13.1%	212 13.9%	218 12.9%	165 13.2%	899 13.7%
要経過観察	6 2.7%	10 5.0%	13 5.5%	13 3.2%	31 3.0%	46 3.0%	34 2.0%	20 1.6%	173 2.6%
要精密検査	1 0.5%	2 1.0%	1 0.4%	5 1.2%	11 1.1%	6 0.4%	18 1.1%	7 0.6%	51 0.8%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

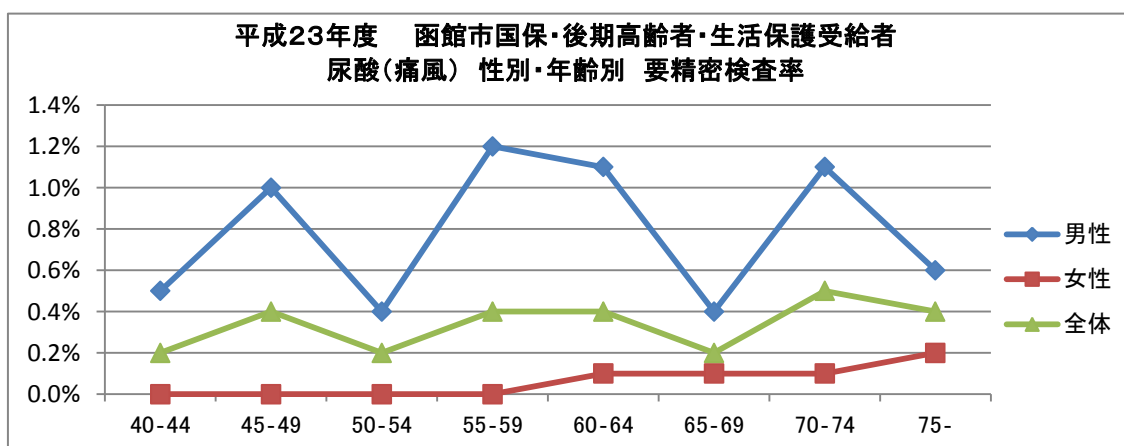
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	262 94.6%	280 95.9%	364 97.6%	755 97.5%	1,905 97.4%	2,308 97.0%	2,378 96.9%	1,474 95.9%	9,726 96.9%
ほぼ正常	15 5.4%	12 4.1%	7 1.9%	15 1.9%	47 2.4%	63 2.6%	68 2.8%	50 3.3%	277 2.8%
要経過観察	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	4 0.5%	2 0.1%	6 0.3%	5 0.2%	10 0.7%	29 0.3%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	2 0.1%	3 0.1%	3 0.2%	10 0.1%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,454	1,537	10,042

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	434 87.3%	440 89.4%	552 90.3%	1,075 91.5%	2,769 92.4%	3,568 91.4%	3,799 91.7%	2,532 90.9%	15,169 91.3%
ほぼ正常	56 11.3%	40 8.1%	43 7.0%	78 6.6%	183 6.1%	275 7.0%	286 6.9%	215 7.7%	1,176 7.1%
要経過観察	6 1.2%	10 2.0%	15 2.5%	17 1.4%	33 1.1%	52 1.3%	39 0.9%	30 1.1%	202 1.2%
要精密検査	1 0.2%	2 0.4%	1 0.2%	5 0.4%	13 0.4%	8 0.2%	21 0.5%	10 0.4%	61 0.4%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,145	2,787	16,608

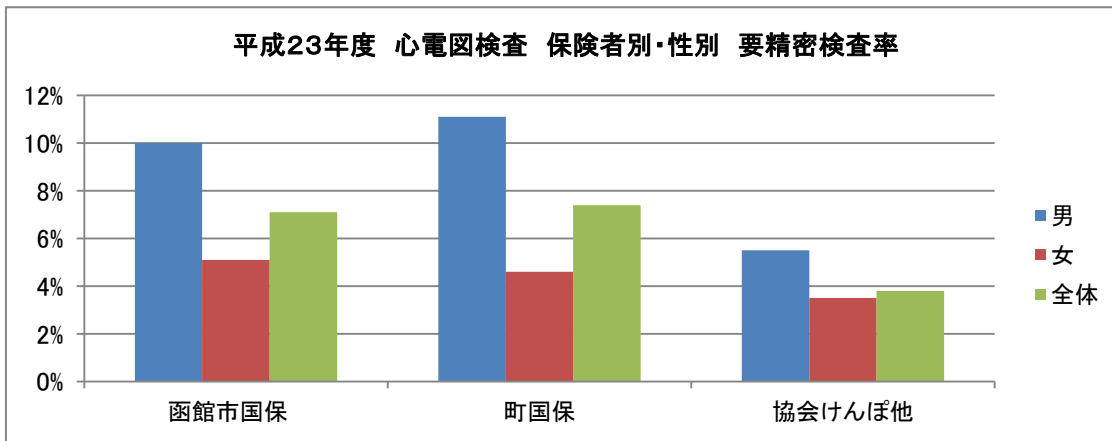
1. 尿酸検査の年齢別要精密検査率は、男性は年齢により大きく上下したが、女性では60歳以後微増した。



⑪ 心電図検査

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
要経過観察	男	6.6%	2.4%	13.7%
	女	5.1%	2.2%	3.5%
	全体	5.7%	2.3%	4.9%
要精密検査	男	10.0%	11.1%	5.5%
	女	5.1%	4.6%	3.5%
	全体	7.1%	7.4%	3.8%

1. 心電図検査の要精密検査率は、函館市及び町国保は7.1～7.4%で、協会けんぽ他は3.8%と低かった。性別では、函館市国保、町国保、協会けんぽ他ともに男性の方が女性に比べ高い傾向だった。腹囲やBMI、血圧検査と同様の傾向であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	138 92.0%	106 84.1%	142 85.0%	207 79.0%	534 78.4%	707 70.9%	761 67.8%	535 59.4%	3,130 71.0%
ほぼ正常	9 6.0%	12 9.5%	9 5.4%	26 9.9%	59 8.7%	125 12.5%	154 13.7%	148 16.4%	542 12.3%
要経過観察	1 0.7%	3 2.4%	7 4.2%	13 5.0%	24 3.5%	72 7.2%	82 7.3%	90 10.0%	292 6.6%
要精密検査	2 1.3%	5 4.0%	9 5.4%	16 6.1%	64 9.4%	93 9.3%	126 11.2%	127 14.1%	442 10.0%
計	150	126	167	262	681	997	1,123	900	4,406

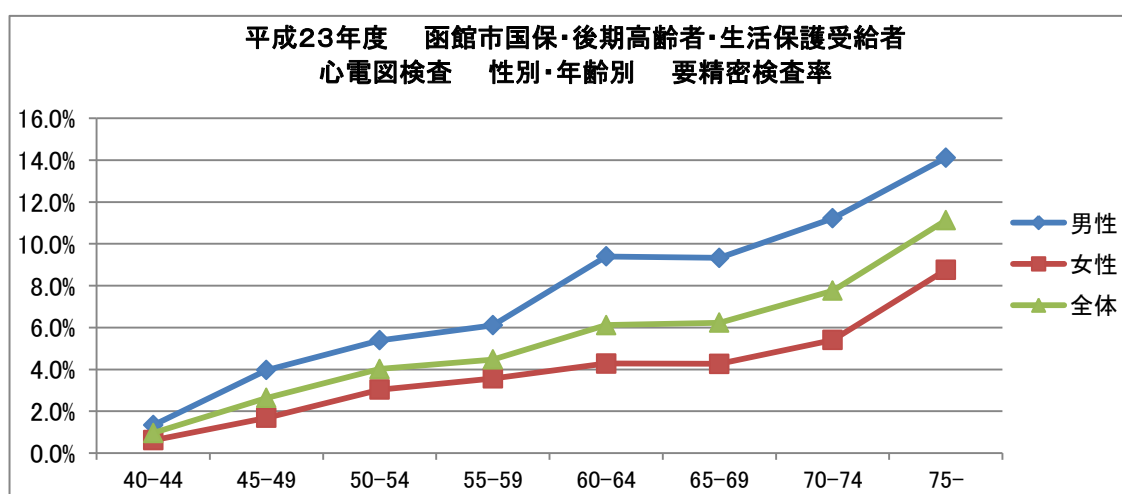
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	150 92.0%	164 92.1%	208 90.0%	421 88.4%	1,055 86.8%	1,338 85.2%	1,311 79.6%	794 70.2%	5,441 82.3%
ほぼ正常	10 6.1%	8 4.5%	12 5.2%	24 5.0%	69 5.7%	97 6.2%	159 9.7%	123 10.9%	502 7.6%
要経過観察	2 1.2%	3 1.7%	4 1.7%	14 2.9%	39 3.2%	69 4.4%	88 5.3%	115 10.2%	334 5.1%
要精密検査	1 0.6%	3 1.7%	7 3.0%	17 3.6%	52 4.3%	67 4.3%	89 5.4%	99 8.8%	335 5.1%
計	163	178	231	476	1,215	1,571	1,647	1,131	6,612

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
正常	288 92.0%	270 88.8%	350 87.9%	628 85.1%	1,589 83.8%	2,045 79.6%	2,072 74.8%	1,329 65.4%	8,571 77.8%
ほぼ正常	19 6.1%	20 6.6%	21 5.3%	50 6.8%	128 6.8%	222 8.6%	313 11.3%	271 13.3%	1,044 9.5%
要経過観察	3 1.0%	6 2.0%	11 2.8%	27 3.7%	63 3.3%	141 5.5%	170 6.1%	205 10.1%	626 5.7%
要精密検査	3 1.0%	8 2.6%	16 4.0%	33 4.5%	116 6.1%	160 6.2%	215 7.8%	226 11.1%	777 7.1%
計	313	304	398	738	1,896	2,568	2,770	2,031	11,018

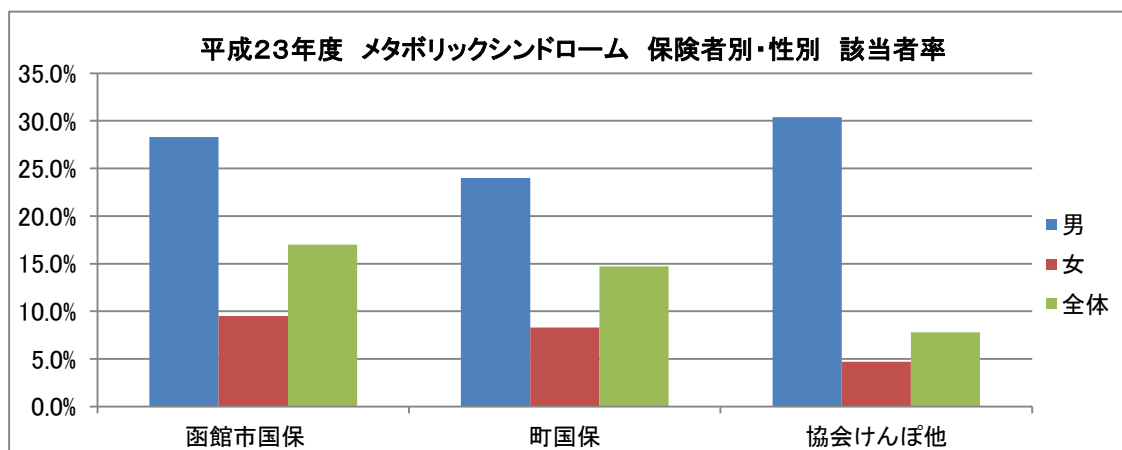
- 心電図の要精密検査率は、男女ともに年齢とともに上昇した。なお、59歳以下は実施人数が少ないため参考データである。



⑫ メタボリックシンドローム

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
予備群	男	16.5%	19.6%	19.2%
	女	5.3%	6.5%	4.1%
	全体	9.8%	11.8%	5.9%
該当者	男	28.3%	24.0%	30.4%
	女	9.5%	8.3%	4.7%
	全体	17.0%	14.7%	7.8%

- メタボ予備群率は、全体で、函館市国保が9.8%、町国保が11.8%、協会けんぽ他は両国保の1/2程度の5.9%だった。
- メタボ該当者率は、全体で、函館市国保17.0%、町国保14.7%、協会けんぽ他は両国保の1/2以下の7.8%だった。国保に比べ協会けんぽ他が、予備群、該当者率ともに低いのは、対象年齢群の差と女性が多いことが要因と考えられる。
- メタボ該当率の性別は、女性と比べて、男性の方が、国保では3倍、協会けんぽ他では7倍以上高率であった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
非該当	127 57.7%	117 58.5%	136 57.1%	227 56.6%	547 52.5%	853 56.0%	881 52.1%	733 58.6%	3,621 55.1%
予備軍	48 21.8%	34 17.0%	39 16.4%	64 16.0%	165 15.8%	231 15.2%	302 17.9%	202 16.2%	1,085 16.5%
該当	45 20.5%	49 24.5%	63 26.5%	110 27.4%	330 31.7%	440 28.9%	508 30.0%	315 25.2%	1,860 28.3%
計	220	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,566

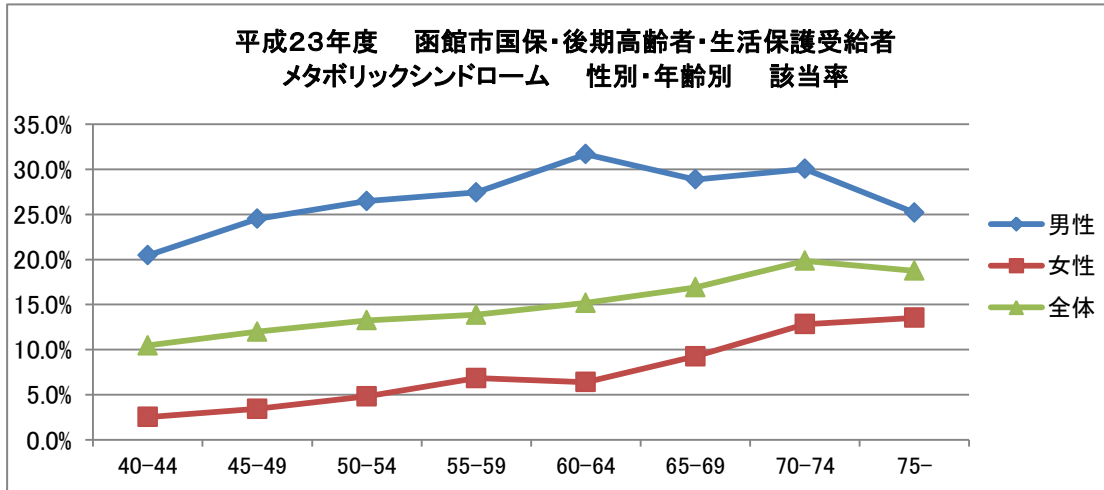
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
非該当	256 92.4%	271 92.8%	338 90.6%	695 89.8%	1,745 89.2%	2,032 85.4%	1,989 81.0%	1,226 79.7%	8,552 85.1%
予備軍	14 5.1%	11 3.8%	17 4.6%	26 3.4%	86 4.4%	127 5.3%	151 6.2%	104 6.8%	536 5.3%
該当	7 2.5%	10 3.4%	18 4.8%	53 6.8%	125 6.4%	220 9.2%	315 12.8%	208 13.5%	956 9.5%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
非該当	383 77.1%	388 78.9%	474 77.6%	922 78.5%	2,292 76.5%	2,885 73.9%	2,870 69.2%	1,959 70.3%	12,173 73.3%
予備軍	62 12.5%	45 9.1%	56 9.2%	90 7.7%	251 8.4%	358 9.2%	453 10.9%	306 11.0%	1,621 9.8%
該当	52 10.5%	59 12.0%	81 13.3%	163 13.9%	455 15.2%	660 16.9%	823 19.9%	523 18.8%	2,816 17.0%
計	497	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,610

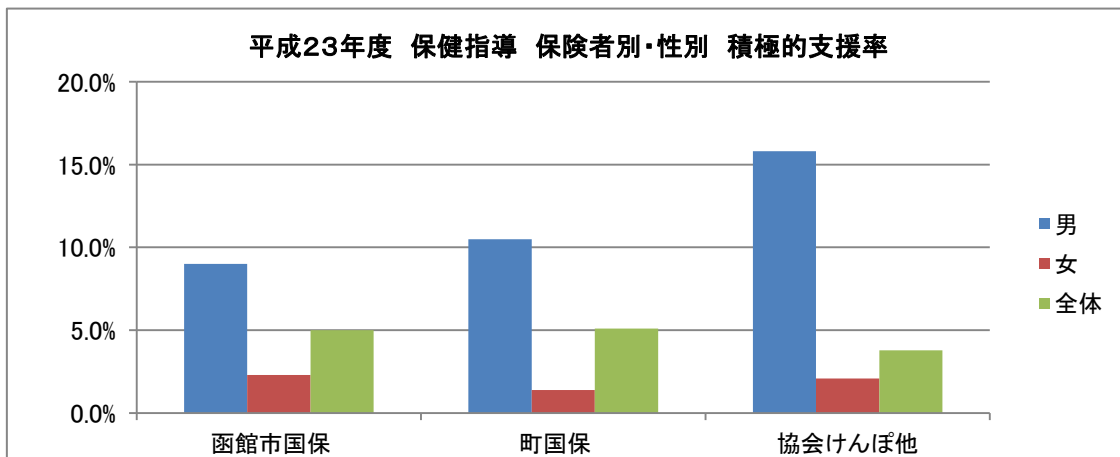
1. メタボ該当率は、男性 28.3%、女性 9.5%、全体では 17.0%で、男性が女性の約 3 倍の高率であった。
2. 該当率を年齢別で見ると、男性は年齢とともに増加し、60～64 歳でピークを示し、その後は減少傾向であった。女性は年齢とともに増加し、75 歳以上では 40～44 歳の該当率の約 5 倍となっていた。



⑬ 保健指導

		函館市国保	町国保	協会けんぽ他
動機付支援	男	13.6%	13.0%	8.3%
	女	6.8%	9.0%	6.2%
	全体	9.5%	10.6%	6.4%
積極的支援	男	9.0%	10.5%	15.8%
	女	2.3%	1.4%	2.1%
	全体	5.0%	5.1%	3.8%

1. 各保険者とも、動機付支援率は9%前後、積極的支援率は5%前後を示して大差はなかった。
2. 性別では、積極的支援率で、女性に比べ男性が4倍以上高い傾向にあった。



《函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者》

男性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
情報提供	134 60.6%	132 66.0%	168 70.6%	292 72.8%	781 75.0%	1,194 78.3%	1,369 81.0%	1,014 81.1%	5,084 77.4%
動機付	25 11.3%	23 11.5%	14 5.9%	27 6.7%	82 7.9%	330 21.7%	294 17.4%	97 7.8%	892 13.6%
積極的	62 28.1%	45 22.5%	56 23.5%	82 20.4%	179 17.2%	0 0.0%	28 1.7%	139 11.1%	591 9.0%
計	221	200	238	401	1,042	1,524	1,691	1,250	6,567

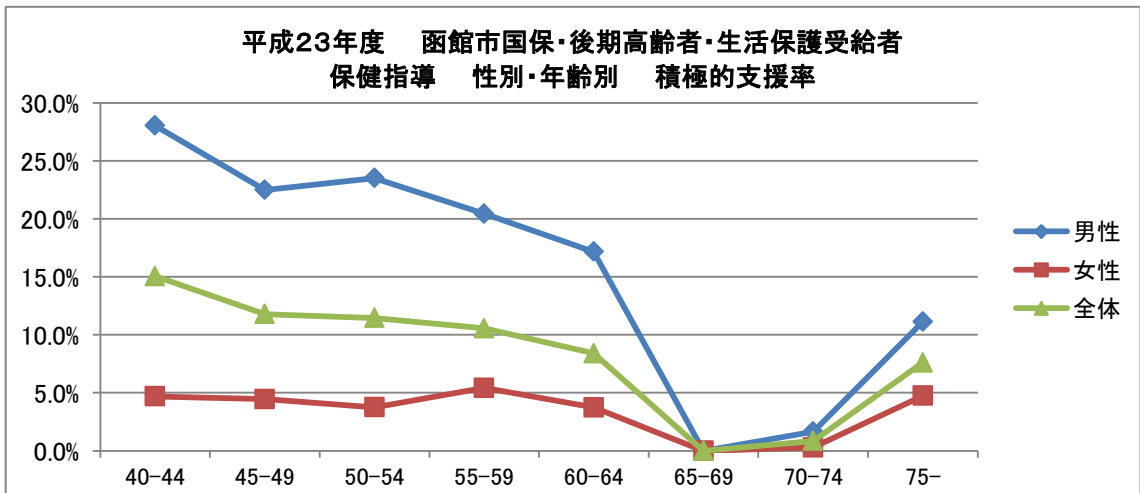
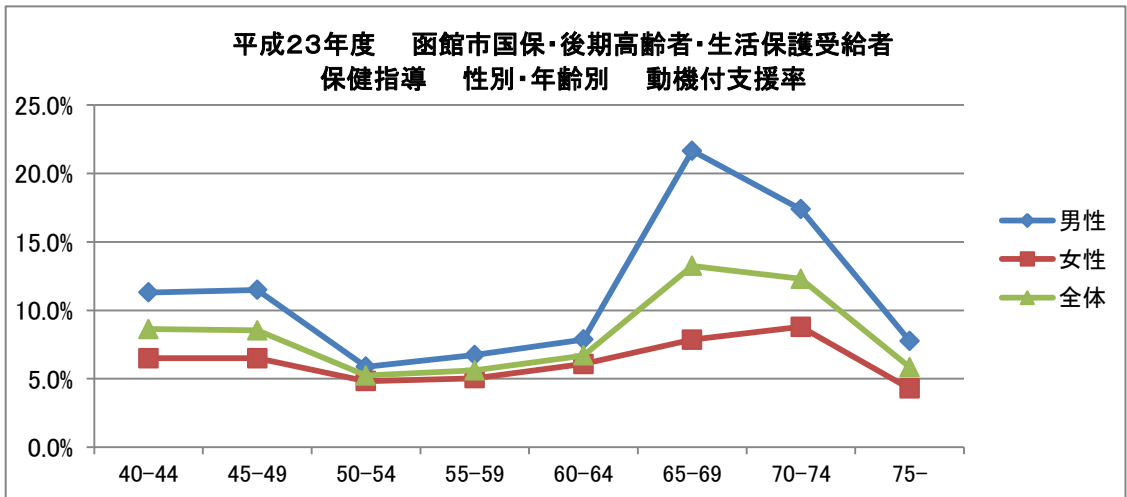
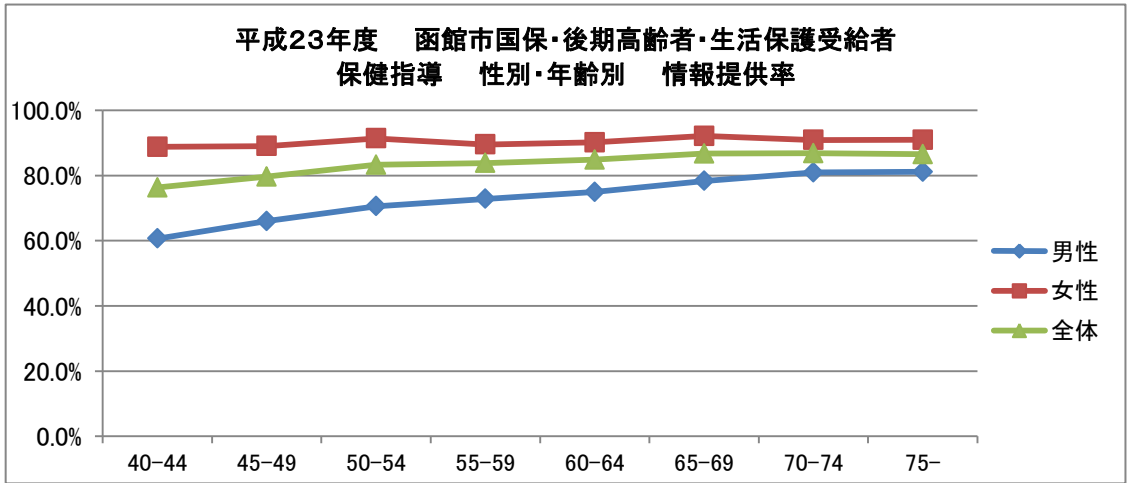
女性

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
情報提供	246 88.8%	260 89.0%	341 91.4%	693 89.5%	1,764 90.2%	2,192 92.1%	2,232 90.9%	1,399 91.0%	9,127 90.9%
動機付	18 6.5%	19 6.5%	18 4.8%	39 5.0%	119 6.1%	187 7.9%	216 8.8%	66 4.3%	682 6.8%
積極的	13 4.7%	13 4.5%	14 3.8%	42 5.4%	73 3.7%	0 0.0%	7 0.3%	73 4.7%	235 2.3%
計	277	292	373	774	1,956	2,379	2,455	1,538	10,044

合計

年齢	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
情報提供	380 76.3%	392 79.7%	509 83.3%	985 83.8%	2,545 84.9%	3,386 86.8%	3,601 86.9%	2,413 86.5%	14,211 85.6%
動機付	43 8.6%	42 8.5%	32 5.2%	66 5.6%	201 6.7%	517 13.2%	510 12.3%	163 5.8%	1,574 9.5%
積極的	75 15.1%	58 11.8%	70 11.5%	124 10.6%	252 8.4%	0 0.0%	35 0.8%	212 7.6%	826 5.0%
計	498	492	611	1,175	2,998	3,903	4,146	2,788	16,611

1. 情報提供率は男性 77.4%、女性 90.9%、動機付支援率は男性 13.6%、女性 6.8%、積極的支援率は男性 9.0%、女性 2.3%で、動機付支援・積極的支援率とも、女性より男性が高率の傾向であった。
2. 年齢別では、動機付支援率は、男性は 65～69 歳でピークの 21.7%を、女性は 70～74 歳でピークの 8.8%を示し、以後はともに減少した。積極的支援率は、男女とも年齢とともに減少したが、70 歳以上で増加した。65 歳～74 歳までの動機付支援率の増加分が、積極的支援率の減少に相当すると考えられた。その原因は、生活習慣の改善や治療に伴う改善が関係しているものと考えられる。



⑭ 函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者 特定健康診査

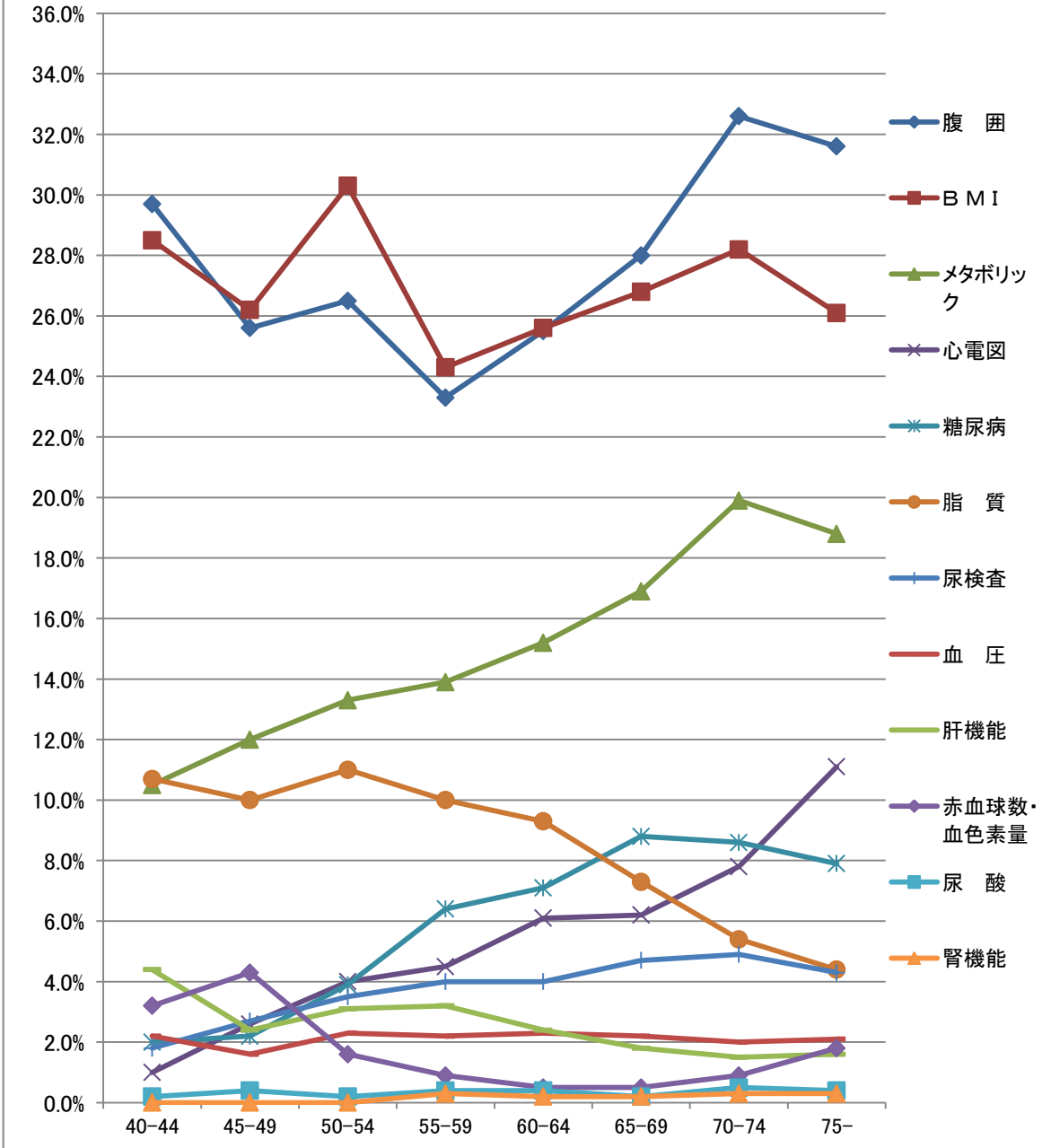
検査項目・年齢別 異常値(要精密検査)率 一覧

	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～
腹 囲	29.7%	25.6%	26.5%	23.3%	25.5%	28.0%	32.6%	31.6%
B M I	28.5%	26.2%	30.3%	24.3%	25.6%	26.8%	28.2%	26.1%
メタボリック	10.5%	12.0%	13.3%	13.9%	15.2%	16.9%	19.9%	18.8%
心電図	1.0%	2.6%	4.0%	4.5%	6.1%	6.2%	7.8%	11.1%
糖尿病	2.0%	2.2%	3.9%	6.4%	7.1%	8.8%	8.6%	7.9%
脂 質	10.7%	10.0%	11.0%	10.0%	9.3%	7.3%	5.4%	4.4%
尿検査	1.8%	2.7%	3.5%	4.0%	4.0%	4.7%	4.9%	4.3%
血 圧	2.2%	1.6%	2.3%	2.2%	2.3%	2.2%	2.0%	2.1%
肝機能	4.4%	2.4%	3.1%	3.2%	2.4%	1.8%	1.5%	1.6%
赤血球数・血色素量	3.2%	4.3%	1.6%	0.9%	0.5%	0.5%	0.9%	1.8%
尿 酸	0.2%	0.4%	0.2%	0.4%	0.4%	0.2%	0.5%	0.4%
腎機能	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%

《異常値(要精密検査)率一覧》について

1. 腹囲及びBMIの異常値率は、増減を示した後 55～59 歳で最低値を示し、その後増加し 75 歳以上で減少した。
2. メタボリック検査では、加齢とともに増加して 70～74 歳でピークを示し、その後減少した。
3. 心電図検査では、加齢とともに増加し、75 歳以上では 40～44 歳の 10 倍以上となった。
4. 糖尿病検査では、加齢とともに増加し、70 歳以後穏やかに減少した。
5. 脂質検査では、加齢とともに減少を示し、70 歳以上では、40～50 歳台の 1/2 となった。
6. 尿、血圧及び肝機能検査では、年齢による変化は少なかった。
7. 赤血球数・血色素量検査では、45～49 歳をピークに減少傾向を示した。
8. 腎機能及び尿酸検査では、要精密検査率がともに 0.5% 以下で、年齢による変化は少なかった。

平成23年度 函館市国保・後期高齢者・生活保護受給者 特定健康診査 検査項目・年齢別 異常値(要精密検査率)率一覧



1. 腹囲及びBMIの異常値率は、増減を示した後 55～59 歳で最低値を示し、その後増加し 75 歳以上で減少した。
2. メタボリック検査では、加齢とともに増加して 70～74 歳でピークを示し、その後減少した。
3. 心電図検査では、加齢とともに増加し、75 歳以上では 40～44 歳の 10 倍以上となった。
4. 糖尿病検査では、加齢とともに増加し、70 歳以後穏やかに減少した。
5. 脂質検査では、加齢とともに減少を示し、70 歳以上では、40～50 歳台の 1/2 となった。
6. 尿、血圧及び肝機能検査では、年齢による変化は少なかった。
7. 赤血球数・色素量検査では、45～49 歳をピークに減少傾向を示した。
8. 腎機能及び尿酸検査では、要精密検査率がともに 0.5% 以下で、年齢による変化は少なかった。

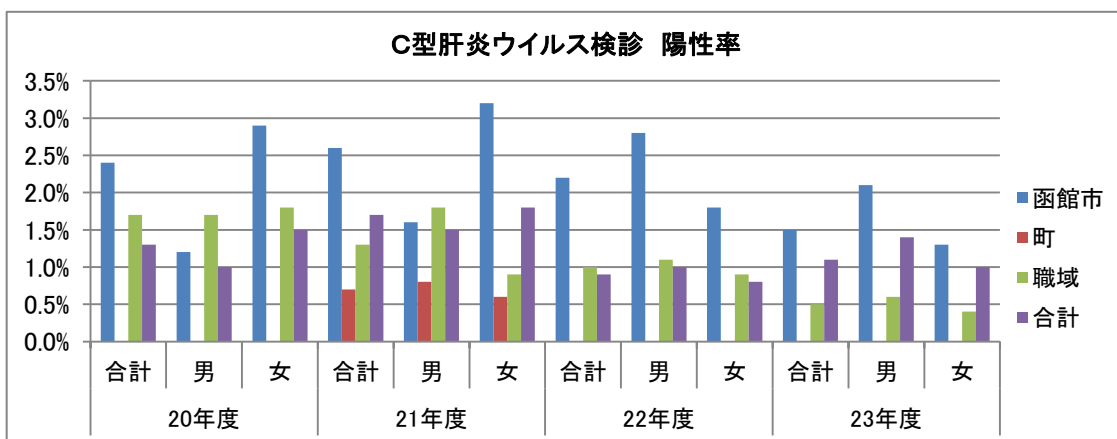
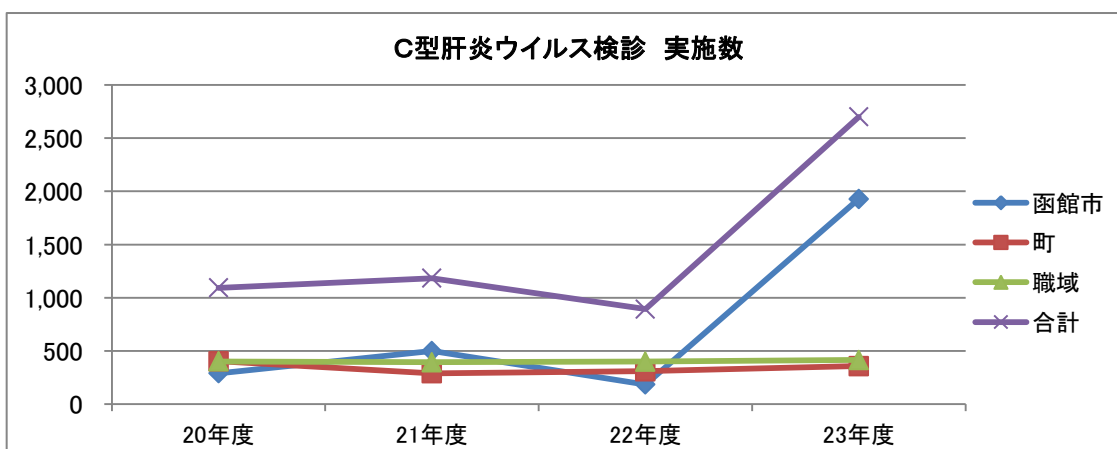
Ⅱ. 肝炎ウイルス検診・H I V検診・結核検診・がん検診

1. C型肝炎ウイルス検診

測定方法：CLIA法 判定基準：陰性1.0 C.O.I未滿、陽性1.0 C.O.I以上

		函館市			町			職域			合計		
		実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率
20年度	合計	290	7	2.4%	402	0	0.0%	401	7	1.7%	1,093	14	1.3%
	男	86	1	1.2%	149	0	0.0%	175	3	1.7%	410	4	1.0%
	女	204	6	2.9%	253	0	0.0%	226	4	1.8%	683	10	1.5%
21年度	合計	499	13	2.6%	290	2	0.7%	394	5	1.3%	1,183	20	1.7%
	男	182	3	1.6%	119	1	0.8%	169	3	1.8%	470	7	1.5%
	女	317	10	3.2%	171	1	0.6%	225	2	0.9%	713	13	1.8%
22年度	合計	184	4	2.2%	309	0	0.0%	400	4	1.0%	893	8	0.9%
	男	71	2	2.8%	150	0	0.0%	185	2	1.1%	406	4	1.0%
	女	113	2	1.8%	159	0	0.0%	215	2	0.9%	487	4	0.8%
23年度	合計	1,928	29	1.5%	357	0	0.0%	415	2	0.5%	2,700	31	1.1%
	男	581	12	2.1%	180	0	0.0%	181	1	0.6%	942	13	1.4%
	女	1,347	17	1.3%	177	0	0.0%	234	1	0.4%	1,758	18	1.0%

1. 型肝炎ウイルス検診の実施数は、函館市で前年比1,744人増、町48人増、職域15人増で、合計で1,807人増であった。要因は、国の肝炎対策による個別勧奨による効果と考えられる。
2. 陽性率は、函館市2.2%、町0.0%、職域1.0%、合計0.9%であった。函館市では、男性が女性に比べ陽性率が高かった。

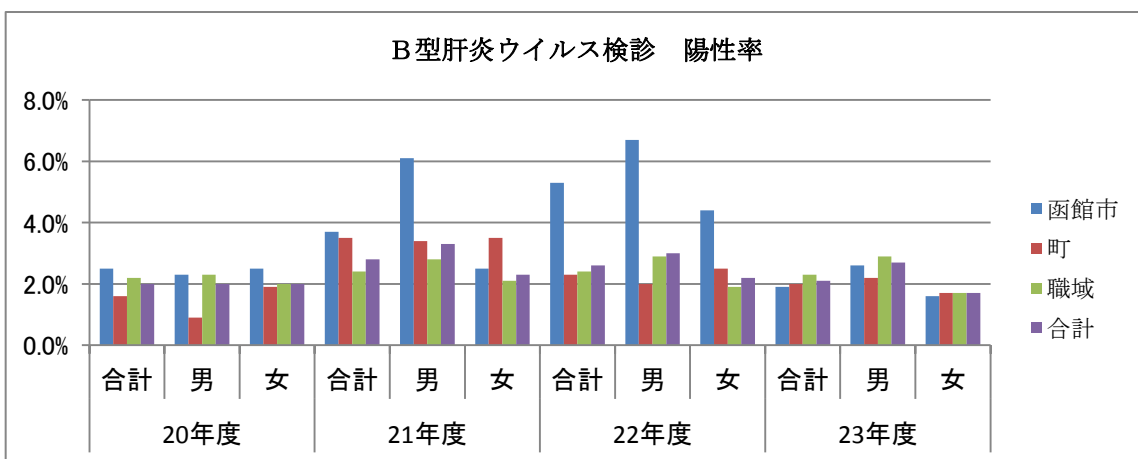
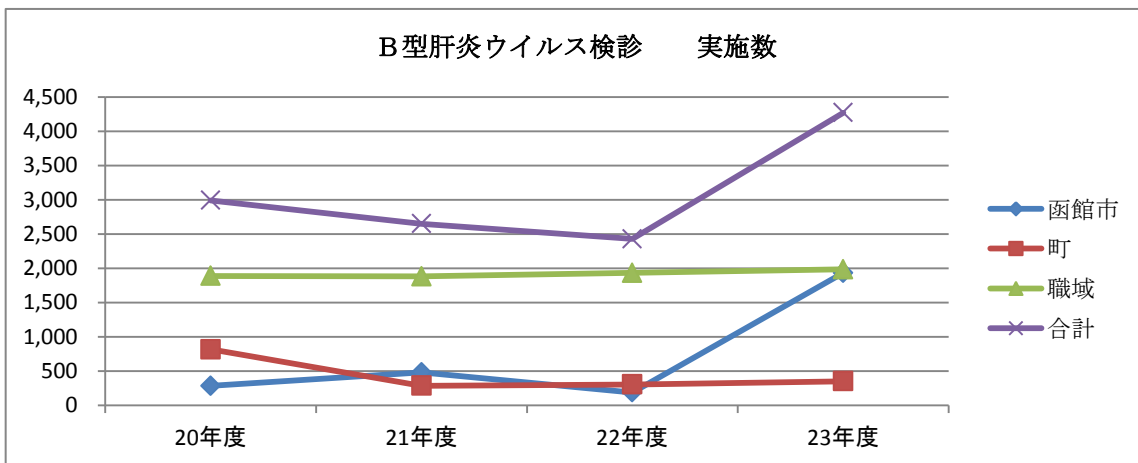


2. B型肝炎ウイルス検診

測定方法：CLEIA法 判定基準：陰性1.0 C.O.I未満、陽性1.0 C.O.I以上

		函館市			町			職域			合計		
		実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率	実施数	陽性	陽性率
20年度	合計	285	7	2.5%	818	13	1.6%	1,889	41	2.2%	2,992	61	2.0%
	男	86	2	2.3%	228	2	0.9%	910	21	2.3%	1,224	25	2.0%
	女	199	5	2.5%	590	11	1.9%	979	20	2.0%	1,768	36	2.0%
21年度	合計	481	18	3.7%	288	10	3.5%	1,882	46	2.4%	2,651	74	2.8%
	男	164	10	6.1%	118	4	3.4%	922	26	2.8%	1,204	40	3.3%
	女	317	8	2.5%	170	6	3.5%	960	20	2.1%	1,447	34	2.3%
22年度	合計	189	10	5.3%	307	7	2.3%	1,934	46	2.4%	2,430	63	2.6%
	男	75	5	6.7%	149	3	2.0%	941	27	2.9%	1,165	35	3.0%
	女	114	5	4.4%	158	4	2.5%	993	19	1.9%	1,265	28	2.2%
23年度	合計	1,933	37	1.9%	353	7	2.0%	1,986	45	2.3%	4,272	89	2.1%
	男	581	15	2.6%	179	4	2.2%	930	27	2.9%	1,690	46	2.7%
	女	1,352	22	1.6%	174	3	1.7%	1,056	18	1.7%	2,582	43	1.7%

1. B型肝炎ウイルス検診の実施数は、函館市で前年度比1,744人増、町46人増、職域52人増で、合計で1,842人増であった。要因は、国の肝炎対策による個別勧奨による効果と考えられる。
2. 陽性率は、函館市1.9%、町2.0%、職域2.3%、合計2.1%で、函館市、町、職域とも、女性に比べ男性の陽性率が高かった。

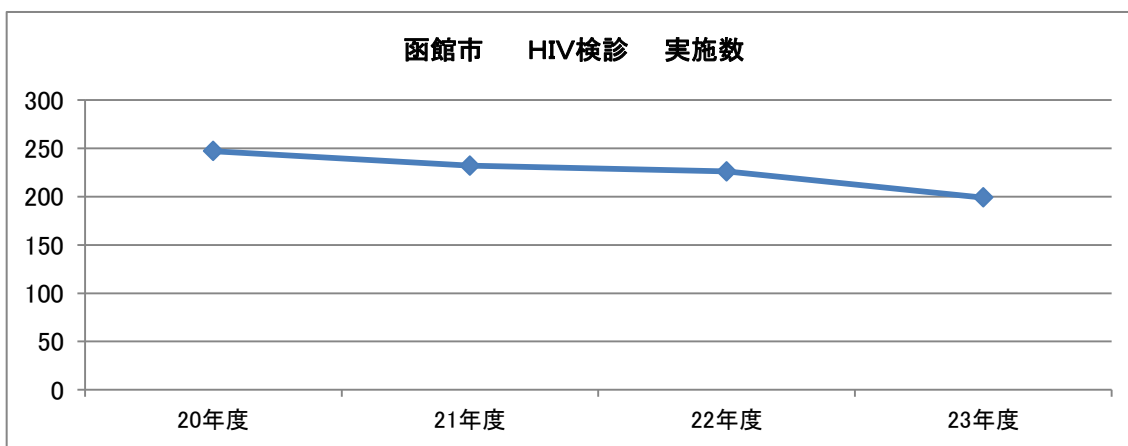


3. HIV検診

測定方法：CLEIA法 判定基準：陰性1.0未満、要精密検査1.0以上

		函館市			町			職域			合計		
		実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度	合計	247	0	0.0%	0	0		0	0		0	0	
21年度	合計	232	1	0.4%	0	0		0	0		0	0	
22年度	合計	226	1	0.4%	0	0		0	0		0	0	
23年度	合計	199	2	1.0%	0	0		0	0		0	0	
	男	98	2	2.0%									
	女	101	0	0.0%									

1. HIV検診実施数は、年々減少している。
2. 要精検率は、23年度は0.4%から1.0%へと高くなっている。要精検者は2名であった。

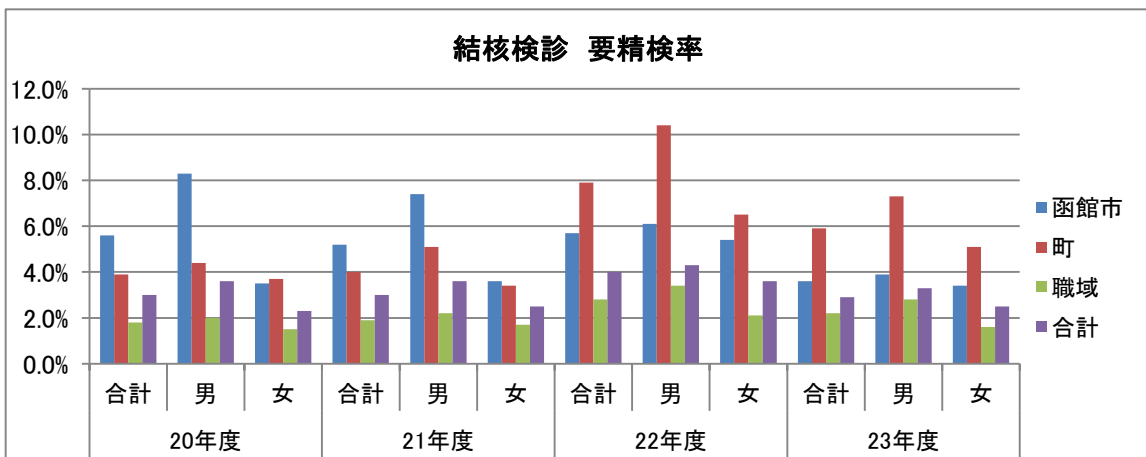
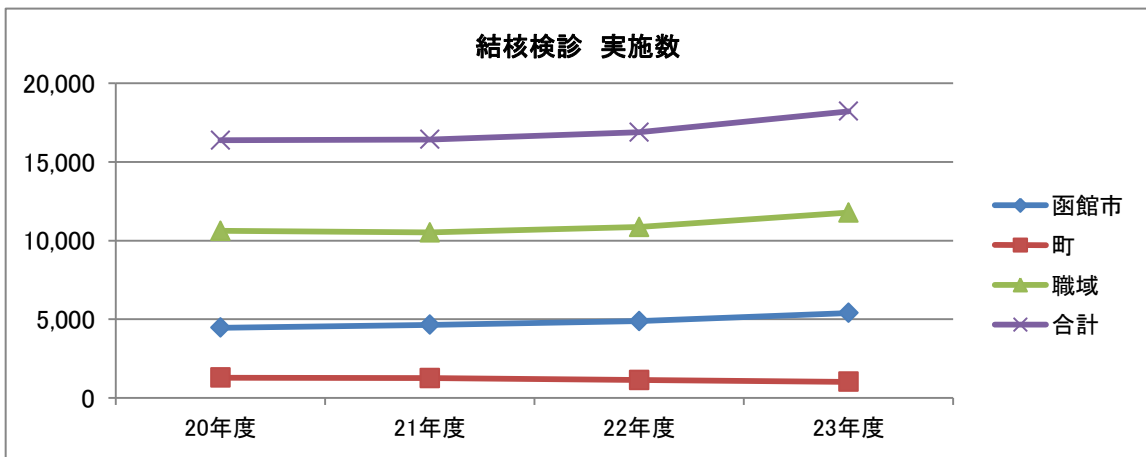


4. 結核検診

検査方法：胸部X線間接撮影

	函館市			町			職域			合計			
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	
20年度	合計	4,465	250	5.6%	1,294	51	3.9%	10,615	187	1.8%	16,374	488	3.0%
	男	1,944	162	8.3%	473	21	4.4%	5,843	117	2.0%	8,260	300	3.6%
	女	2,521	88	3.5%	821	30	3.7%	4,772	70	1.5%	8,114	188	2.3%
21年度	合計	4,647	241	5.2%	1,263	51	4.0%	10,521	205	1.9%	16,431	497	3.0%
	男	1,969	145	7.4%	471	24	5.1%	5,858	128	2.2%	8,298	297	3.6%
	女	2,678	96	3.6%	792	27	3.4%	4,663	77	1.7%	8,133	200	2.5%
22年度	合計	4,883	276	5.7%	1,138	90	7.9%	10,868	306	2.8%	16,889	672	4.0%
	男	2,048	124	6.1%	425	44	10.4%	6,148	206	3.4%	8,621	374	4.3%
	女	2,835	152	5.4%	713	46	6.5%	4,720	100	2.1%	8,268	298	3.6%
23年度	合計	5,402	195	3.6%	1,033	61	5.9%	11,779	265	2.2%	18,214	521	2.9%
	男	2,304	90	3.9%	386	28	7.3%	6,366	178	2.8%	9,056	296	3.3%
	女	3,098	105	3.4%	647	33	5.1%	5,413	87	1.6%	9,158	225	2.5%

- 核検診の実施数は、函館市で前年度比 519 人増、町 105 人減、職域 911 人増、合計 1,325 人増であった。要因は、特定健康診査との同時実施によるものと考えられる。
- 要精検率は、函館市 3.6%、町 5.9%、職域 2.2%、合計 2.9%で、前年度に比べ下がっていた。また、要精検率の性別は、函館市、町、職域とも、男性の方が女性に比べ高かった。

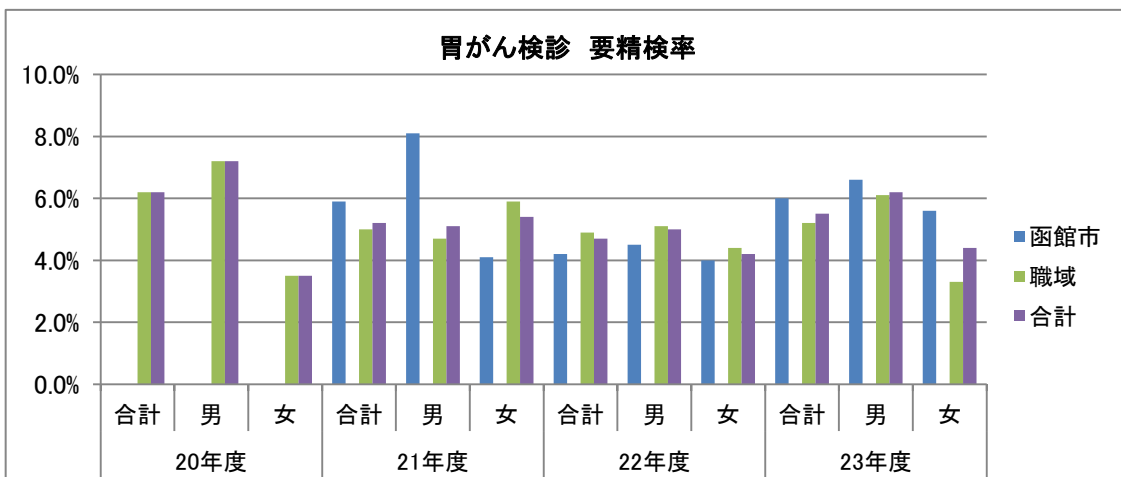
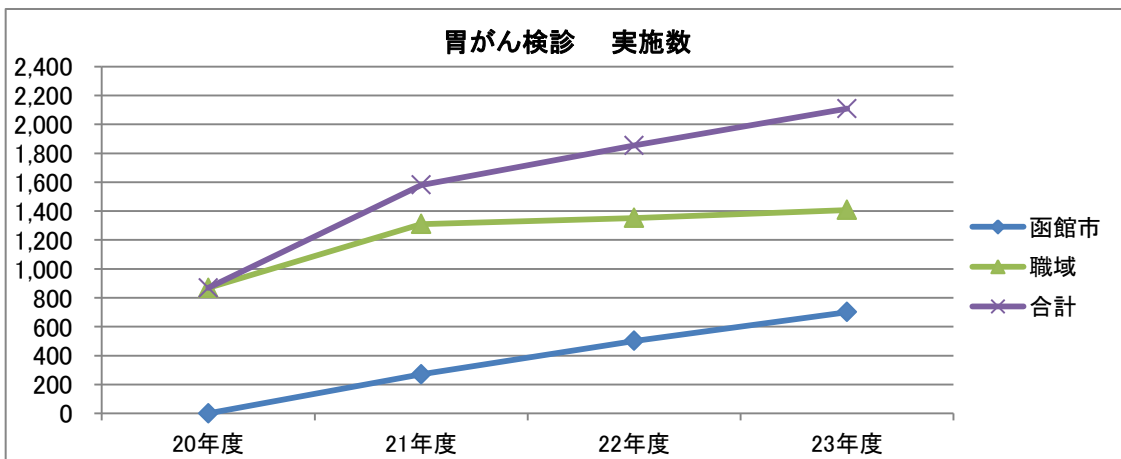


5. 胃がん検診

検査方法：胃部X線間接撮影

	函館市			町			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	0	0		0	0		868	54	6.2%	868	54	6.2%
男	0	0		0	0		642	46	7.2%	642	46	7.2%
女	0	0		0	0		226	8	3.5%	226	8	3.5%
21年度 合計	270	16	5.9%	0	0		1,310	66	5.0%	1,580	82	5.2%
男	124	10	8.1%	0	0		903	42	4.7%	1,027	52	5.1%
女	146	6	4.1%	0	0		407	24	5.9%	553	30	5.4%
22年度 合計	502	21	4.2%	0	0		1,352	66	4.9%	1,854	87	4.7%
男	202	9	4.5%	0	0		922	47	5.1%	1,124	56	5.0%
女	300	12	4.0%	0	0		430	19	4.4%	730	31	4.2%
23年度 合計	701	42	6.0%	0	0		1,408	73	5.2%	2,109	115	5.5%
男	287	19	6.6%	0	0		954	58	6.1%	1,241	77	6.2%
女	414	23	5.6%	0	0		454	15	3.3%	868	38	4.4%

1. 胃がん検診の実施数は、函館市で前年度比199人増、町未実施、職域56人増、合計255人増であった。増加の要因は、特定健康診査との同時実施によるものと考えられる。
2. 要精検率は、函館市6.0%、職域5.2%、合計5.5%で、前年度に比べ上がっていた。また、要精検率の性別は、函館市、職域とも、女性に比べ男性の方が高い傾向であった。

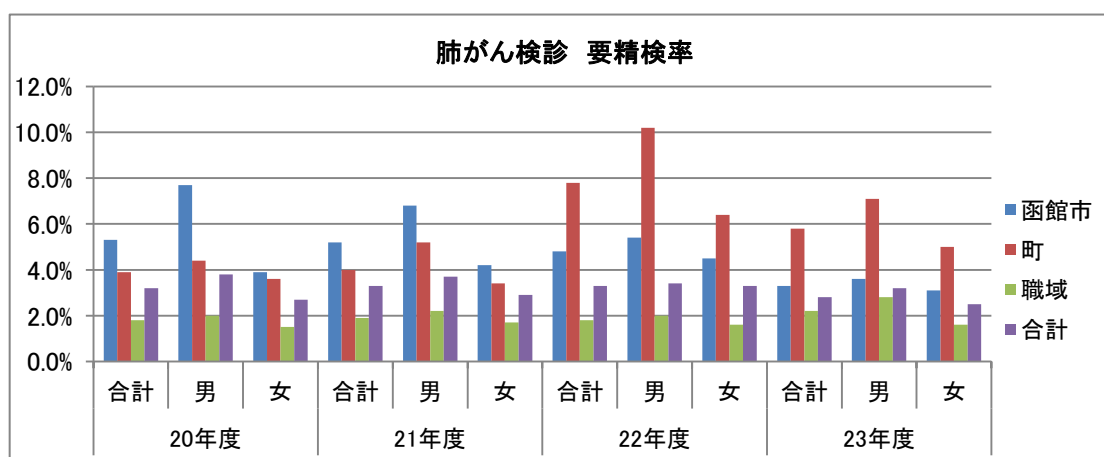
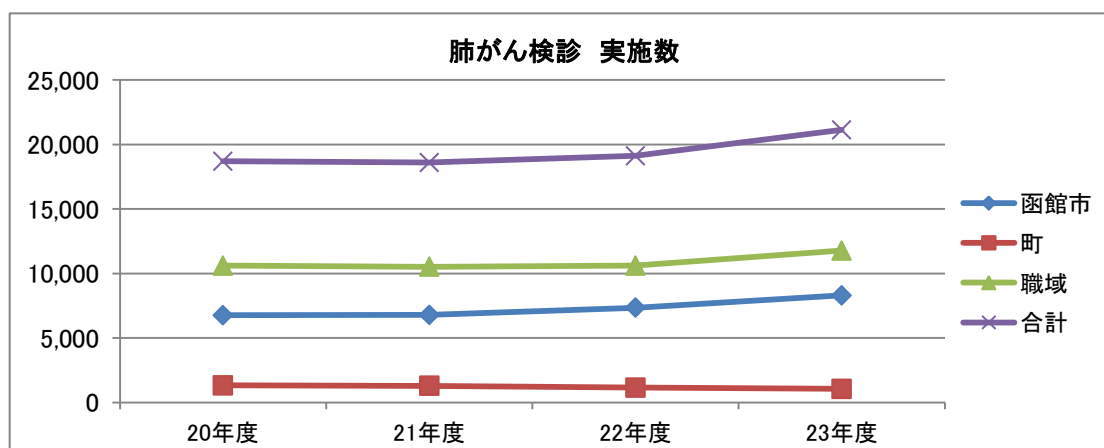


6. 肺がん検診

検査方法：胸部X線間接撮影 二重読影・比較読影

	函館市			町			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	6,763	361	5.3%	1,321	51	3.9%	10,615	187	1.8%	18,699	599	3.2%
男	2,608	201	7.7%	482	21	4.4%	5,843	117	2.0%	8,933	339	3.8%
女	4,155	160	3.9%	839	30	3.6%	4,772	70	1.5%	9,766	260	2.7%
21年度 合計	6,790	350	5.2%	1,284	52	4.0%	10,521	205	1.9%	18,595	607	3.3%
男	2,607	176	6.8%	481	25	5.2%	5,858	128	2.2%	8,946	329	3.7%
女	4,183	174	4.2%	803	27	3.4%	4,663	77	1.7%	9,649	278	2.9%
22年度 合計	7,347	356	4.8%	1,156	90	7.8%	10,615	193	1.8%	19,118	639	3.3%
男	2,839	152	5.4%	432	44	10.2%	5,843	117	2.0%	9,114	313	3.4%
女	4,508	204	4.5%	724	46	6.4%	4,772	76	1.6%	10,004	326	3.3%
23年度 合計	8,302	273	3.3%	1,052	61	5.8%	11,779	265	2.2%	21,133	599	2.8%
男	3,297	118	3.6%	394	28	7.1%	6,366	178	2.8%	10,057	324	3.2%
女	5,005	155	3.1%	658	33	5.0%	5,413	87	1.6%	11,076	275	2.5%

1. 肺がん検診の実施数は、函館市で前年度比955人増、町104人減、職域1,164人増、合計2,015人増で、函館市、職域とも1,000人前後と大幅に増加した。要因は、特定健康診査との同時実施によるものと考えられる。
2. 要精検率は、函館市3.3%、町5.8%、職域2.2%、合計2.8%で、前年度に比べ、函館市と町は減少しているが、職域は増加した。また、要精検率の性別は、函館市、町、職域とも、女性に比べ男性の方が高い傾向であった。

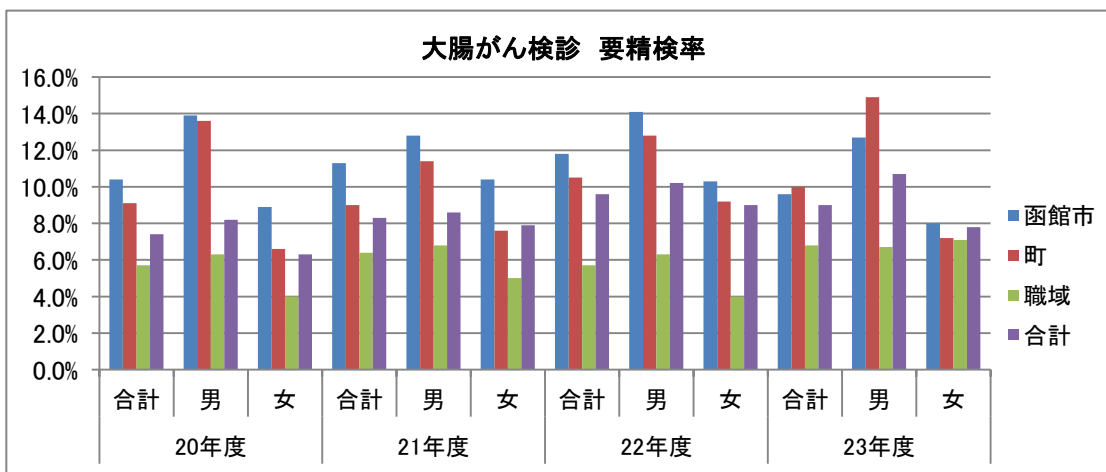
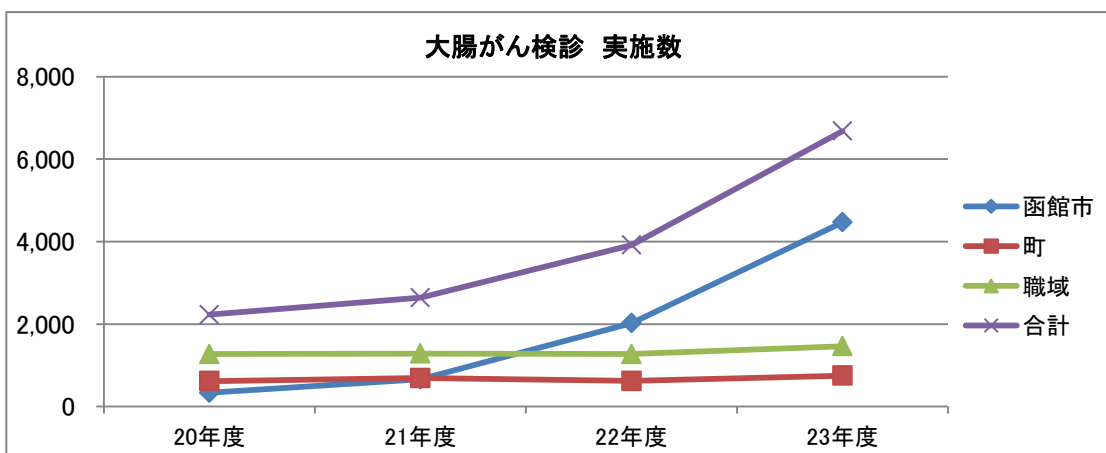


7. 大腸がん検診

測定方法：便中ヒトヘモグロビン測定(金コロイド法) 要精密検査：陽性

	函館市			町			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	336	35	10.4%	616	56	9.1%	1,274	73	5.7%	2,226	164	7.4%
男	101	14	13.9%	221	30	13.6%	953	60	6.3%	1,275	104	8.2%
女	235	21	8.9%	395	26	6.6%	321	13	4.0%	951	60	6.3%
21年度 合計	662	75	11.3%	692	62	9.0%	1,285	82	6.4%	2,639	219	8.3%
男	258	33	12.8%	245	28	11.4%	985	67	6.8%	1,488	128	8.6%
女	404	42	10.4%	447	34	7.6%	300	15	5.0%	1,151	91	7.9%
22年度 合計	2,023	238	11.8%	620	65	10.5%	1,274	73	5.7%	3,917	376	9.6%
男	778	110	14.1%	219	28	12.8%	953	60	6.3%	1,950	198	10.2%
女	1,245	128	10.3%	401	37	9.2%	321	13	4.0%	1,967	178	9.0%
23年 合	4,466	429	9.6%	749	75	10.0%	1,463	100	6.8%	6,678	604	9.0%
男	1,562	198	12.7%	276	41	14.9%	1,042	70	6.7%	2,880	309	10.7%
女	2,904	231	8.0%	473	34	7.2%	421	30	7.1%	3,798	295	7.8%

1. 大腸がん検診の実施数は、函館市で前年度比 2,443 人増、町 129 人増、職域 189 人増、合計 2,761 人増となり、全体に増加したが、函館市が約 2,500 人と大幅に増加した。これは国が行った「働き盛りのがん検診」の影響によるものと考えられる。
2. 要精検率は、函館市 9.6%、町 10.0%、職域 6.8%、合計 9.0%で、函館市は 4 年間で最低だった。また、要精検率の性別では、函館市と町は男性の方が、職域は女性の方が高かった。

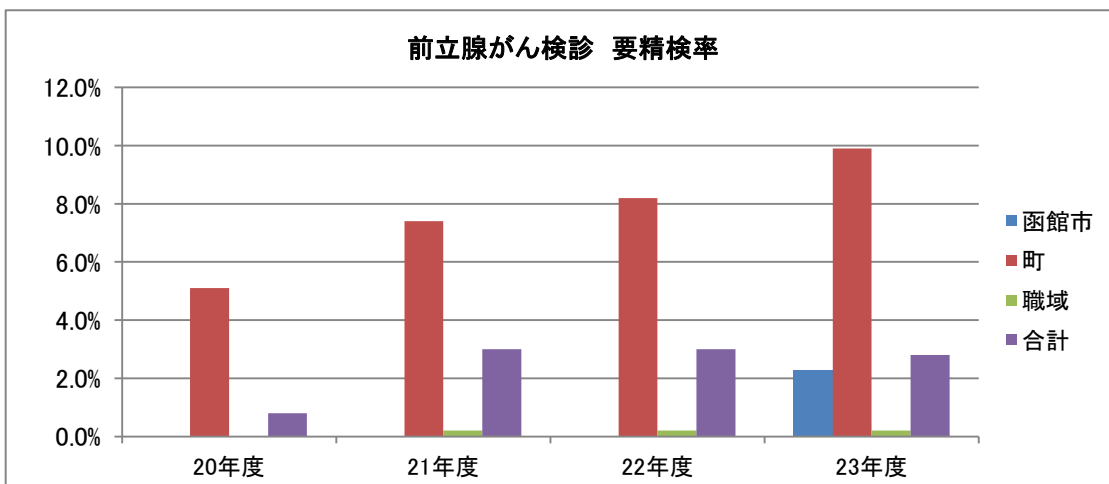
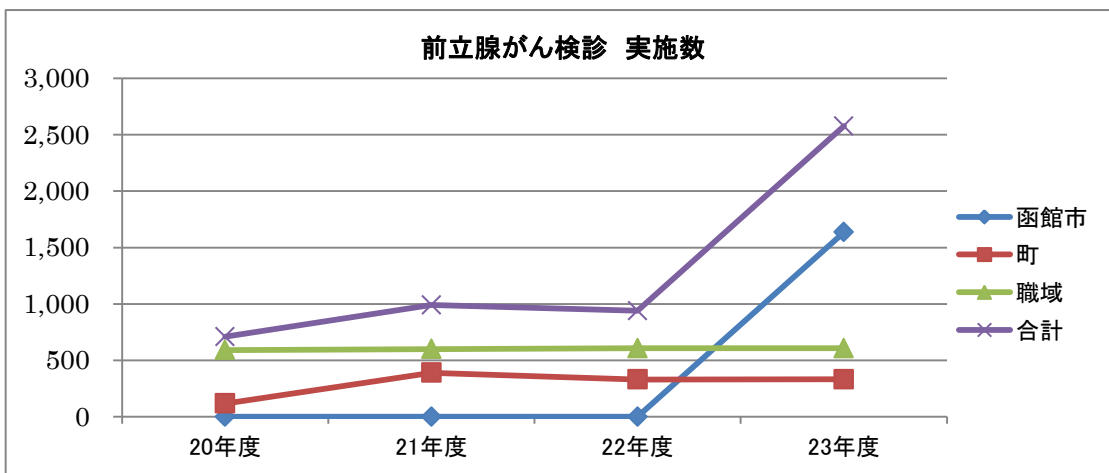


8. 前立腺がん検診

測定方法：CLEIA法 要精密検査：10.0ng/ml以上

		函館市			町			職域			合計		
		実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度	合計	0	0		118	6	5.1%	592	0	0.0%	710	6	0.8%
21年度	合計	0	0		391	29	7.4%	600	1	0.2%	991	30	3.0%
22年度	合計	0	0		331	27	8.2%	608	1	0.2%	939	28	3.0%
23年度	合計	1,636	38	2.3%	332	33	9.9%	608	1	0.2%	2,576	72	2.8%

1. 前立腺がん検診の実施数は、函館市が実施初年度で集団検診のみでの実施となり1,636人、町は前年度比1人増、職域は増減なし、合計2,576人で1,637人増となった。函館市では、今後、個別での実施が望まれる。
2. 要精密検査率は、函館市2.3%、町9.9%、職域0.2%、合計2.8%で、職域は変化ないが、町は増加傾向であった。また、町が職域に比較し5倍近く高くなっているが、受診者の年齢差が要因と思われた。



9. ペプシノゲン検診

測定方法：ラテックス凝集法

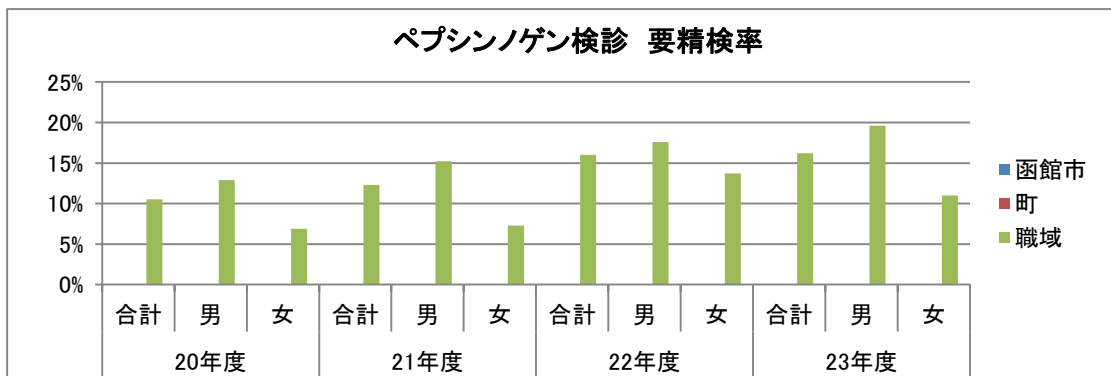
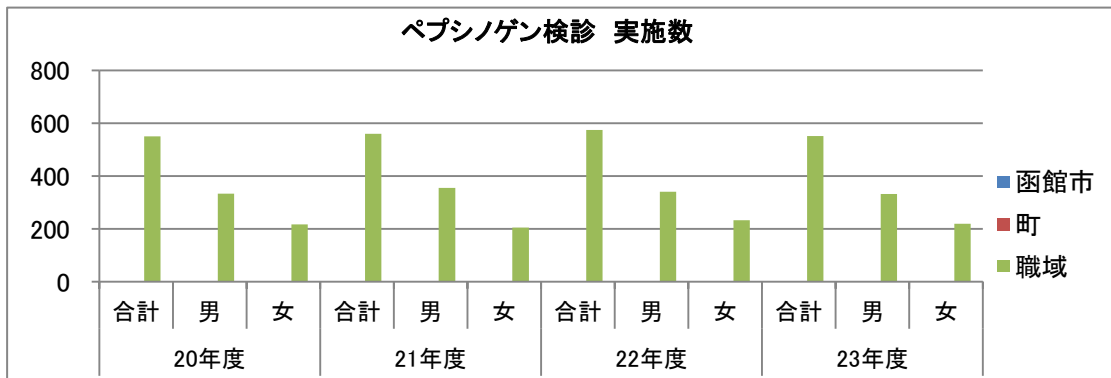
判定：

PG値	判定
PG I > 70 又は PG I / II 比 > 3	陰性
PG I ≤ 70 かつ PG I / II 比 ≤ 3	陽性 (1+)
PG I ≤ 50 かつ PG I / II 比 ≤ 3	中等度陽性 (2+)
PG I ≤ 30 かつ PG I / II 比 ≤ 2	強陽性 (3+)

要精密検査：上記判定で、(2+) (3+)が対象

	函館市			町			職域			合計		
	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
20年度 合計	0	0		0	0		550	58	10.5%	550	58	10.5%
男							333	43	12.9%	333	43	12.9%
女							217	15	6.9%	217	15	6.9%
21年度 合計	0	0		0	0		560	69	12.3%	560	69	12.3%
男							355	54	15.2%	355	54	15.2%
女							205	15	7.3%	205	15	7.3%
22年度 合計	0	0		0	0		574	92	16.0%	574	92	16.0%
男							341	60	17.6%	341	60	17.6%
女							233	32	13.7%	233	32	13.7%
23年度 合計	0	0		0	0		551	89	16.2%	551	89	16.2%
男							332	65	19.6%	332	65	19.6%
女							219	24	11.0%	219	24	11.0%

1. ペプシノゲン検診の実施数は、函館市と町は未実施で、職域は前年度比 17 人の減であった。職域健診のため男性の受診者数が多かった。函館市での実施が望まれる。
2. 要精検率は年々上昇し、平成 23 年度は 16.2%であった。女性に比べ、男性の方が高かった。

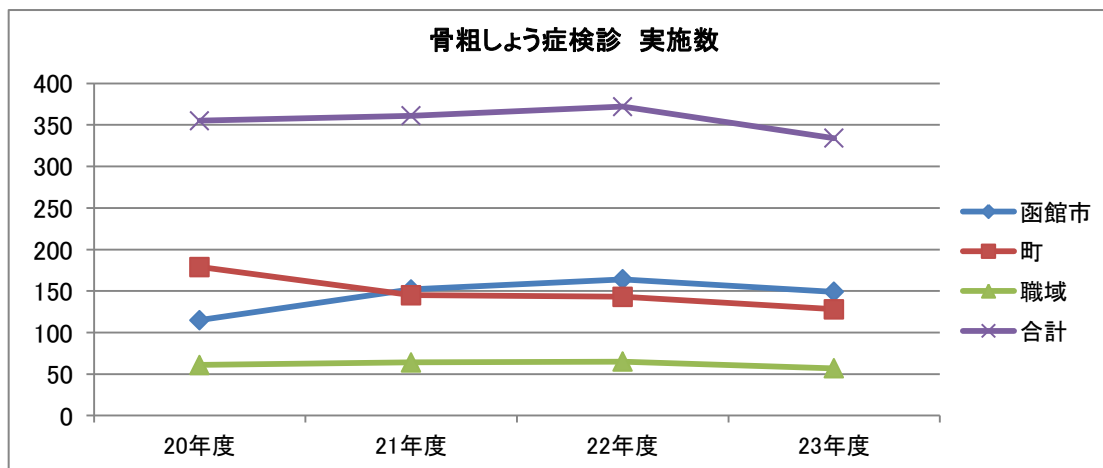


10. 骨粗しょう症検診

1) 実績

	函館市	町	職域	合計
20年度	115	179	61	355
21年度	152	145	64	361
22年度	164	143	65	372
23年度	149	128	57	334

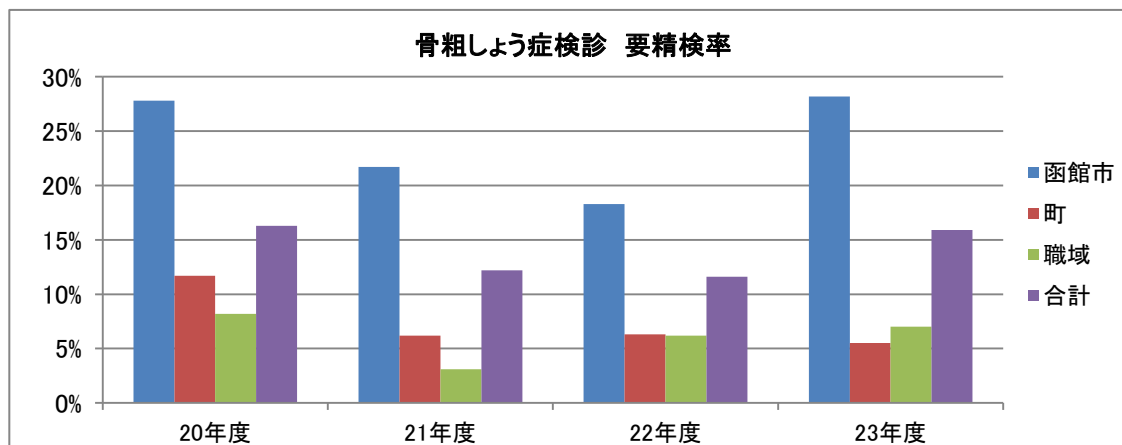
1. 実施数は、函館市、町、職域とも前年度に比べ減少した。



2) 要精密検査率 (%)

	函館市	町	職域	合計
20年度	27.8%	11.7%	8.2%	16.3%
21年度	21.7%	6.2%	3.1%	12.2%
22年度	18.3%	6.3%	6.2%	11.6%
23年度	28.2%	5.5%	7.0%	15.9%

1. 要精密検査率は、函館市と職域は増加し、町は減少した。函館市の要精密検査率は、町、職域に比較して5倍前後高かった。

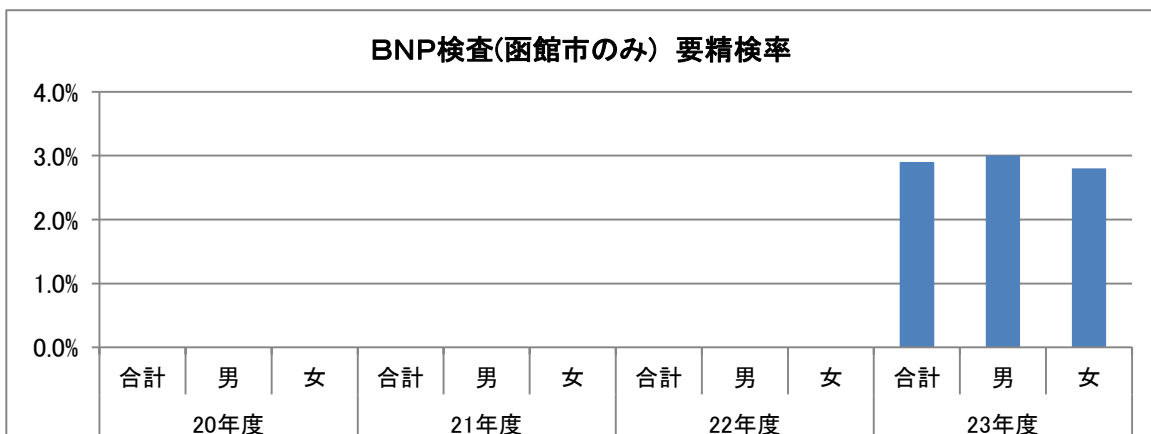
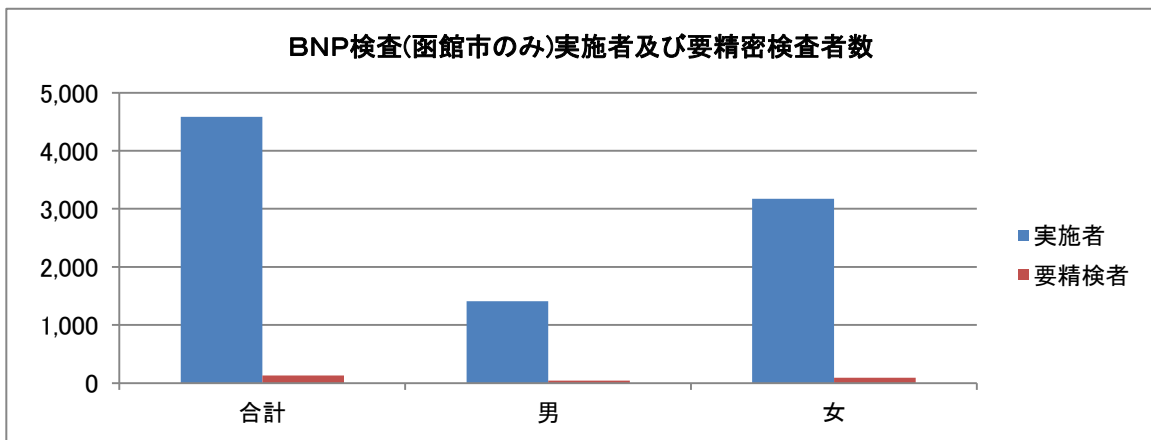
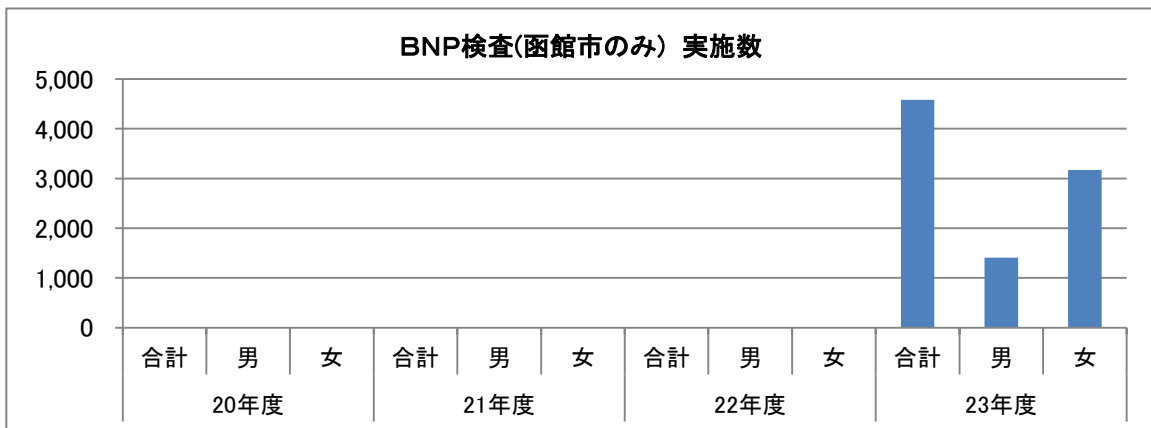


11. BNP検査

測定方法：CLIA法 要精密検査：40.0pg/ml以上

		函館市			町			職域			合計		
		実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率	実施数	要精検	精検率
23年度	合計	4,583	131	2.9%	0	0		0	0		4,583	131	2.9%
21年度	男	1,411	42	3.0%	0	0		0	0		1,411	42	3.0%
22年度	女	3,172	89	2.8%	0	0		0	0		3,172	89	2.8%

- 平成23年度から函館市で実施された項目で、実施者数は、女性が男性の2倍程だったが、要精検率は、男性の方が若干高かった。



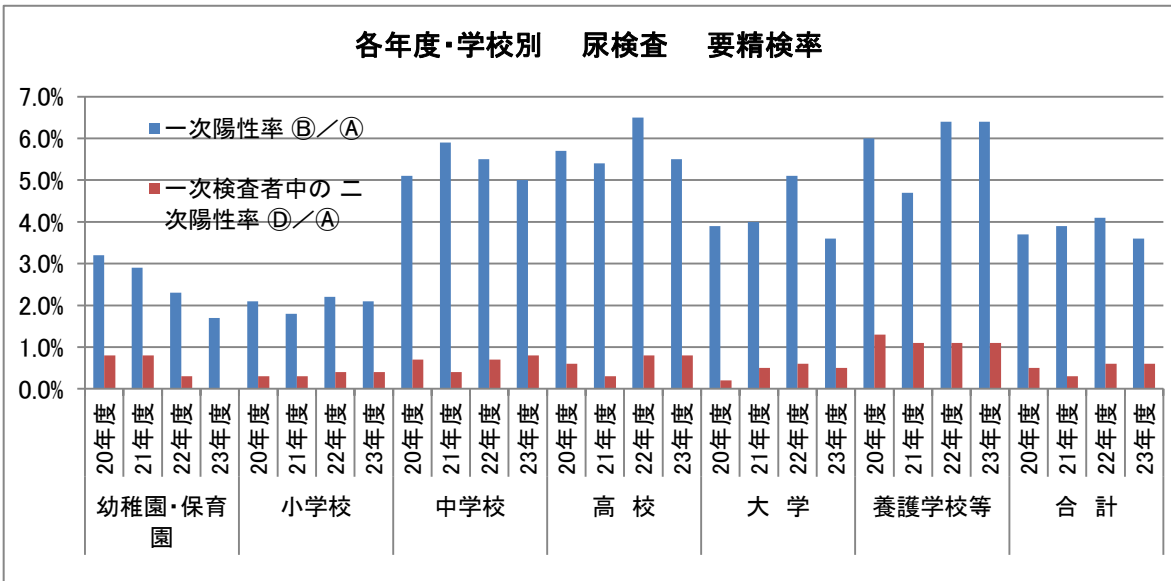
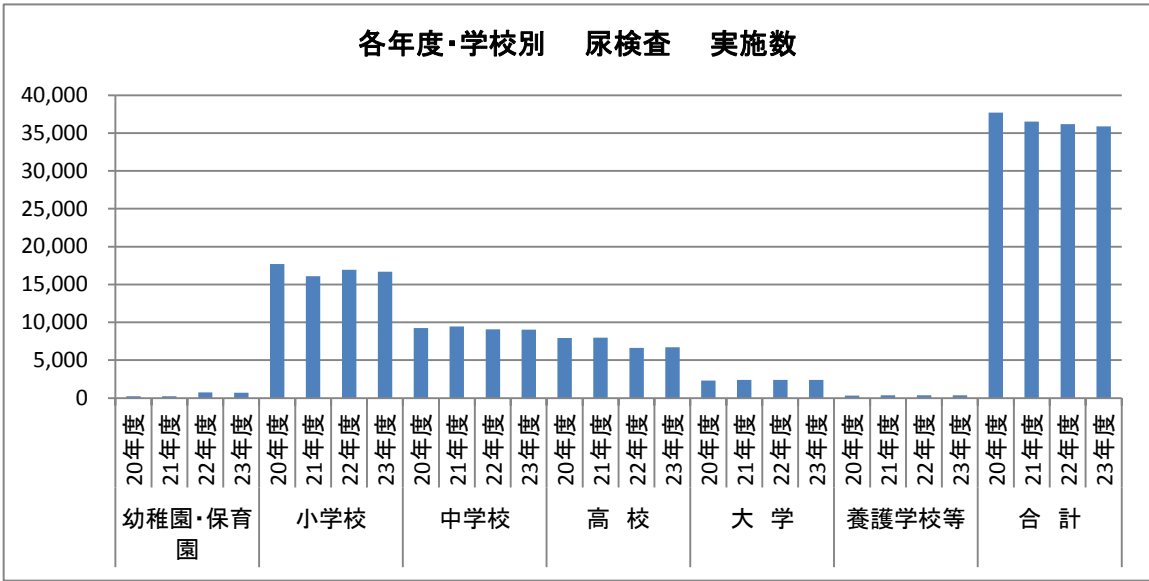
Ⅲ. 児童・生徒・学生検診

学校保健法による検診で、市内および近隣市町の学校、幼稚園、保育園から受託している。

1. 尿検査

	年度	一次検査			一次陽性者数			一次検査者中の 二次陽性率
		検査数	陽性者	一次陽性率	検査数	陽性者	一次陽性率	
		㉑	㉒	㉒/㉑	㉓	㉔	㉔/㉓	㉔/㉑
幼稚園・保育園	20年度	252	8	3.2%	8	2	25.0%	0.8%
	21年度	241	7	2.9%	7	2	28.6%	0.8%
	22年度	750	17	2.3%	17	2	11.8%	0.3%
	23年度	702	12	1.7%	6	0	0.0%	0.0%
小学校	20年度	17,697	365	2.1%	346	53	15.3%	0.3%
	21年度	16,079	296	1.8%	179	50	27.9%	0.3%
	22年度	16,949	379	2.2%	361	64	17.7%	0.4%
	23年度	16,687	347	2.1%	328	70	21.3%	0.4%
中学校	20年度	9,232	470	5.1%	440	62	14.1%	0.7%
	21年度	9,447	561	5.9%	522	39	7.5%	0.4%
	22年度	9,096	496	5.5%	460	65	14.1%	0.7%
	23年度	9,053	451	5.0%	420	69	16.4%	0.8%
高校	20年度	7,925	450	5.7%	428	49	11.4%	0.6%
	21年度	7,989	431	5.4%	411	20	4.9%	0.3%
	22年度	6,609	430	6.5%	405	55	13.6%	0.8%
	23年度	6,688	367	5.5%	349	51	14.6%	0.8%
大学	20年度	2,290	90	3.9%	58	5	8.6%	0.2%
	21年度	2,384	95	4.0%	63	11	17.5%	0.5%
	22年度	2,397	122	5.1%	113	15	13.3%	0.6%
	23年度	2,386	86	3.6%	76	11	14.5%	0.5%
養護学校等	20年度	319	19	6.0%	17	4	23.5%	1.3%
	21年度	359	17	4.7%	15	4	26.7%	1.1%
	22年度	373	24	6.4%	22	4	18.2%	1.1%
	23年度	358	23	6.4%	20	4	20.0%	1.1%
合計	20年度	37,715	1,402	3.7%	1,297	175	13.5%	0.5%
	21年度	36,499	1,407	3.9%	1,197	126	10.5%	0.3%
	22年度	36,174	1,468	4.1%	1,378	205	14.9%	0.6%
	23年度	35,874	1,286	3.6%	1,199	205	17.1%	0.6%

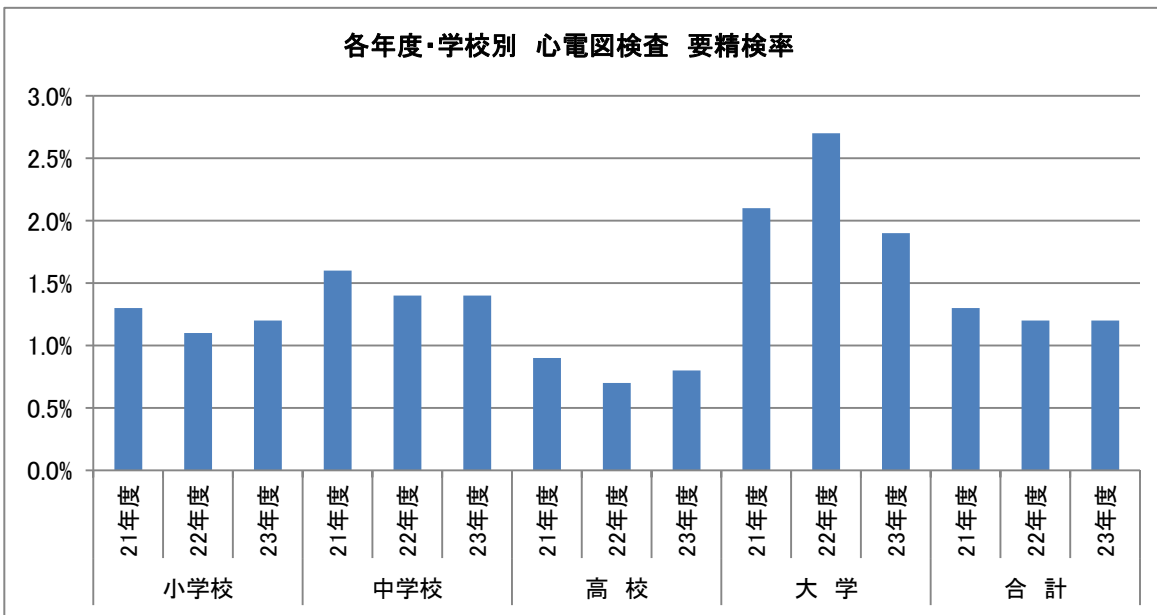
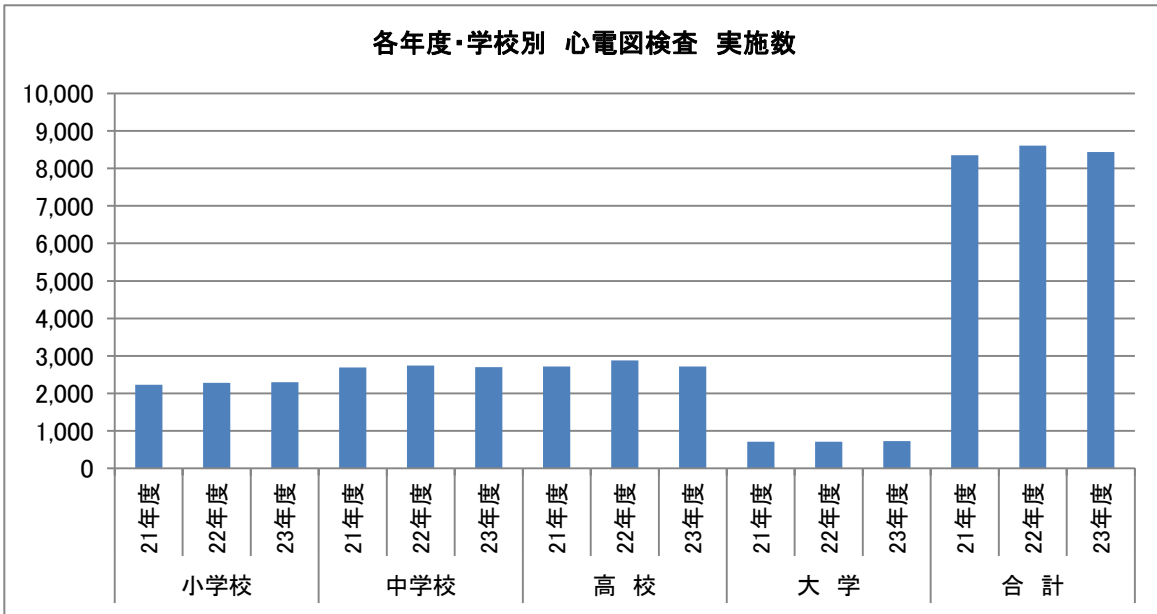
1. 学校尿検査は、検査数は全体的に年々減少している。
2. 一次陽性率は、養護学校等で同率だったほかは、前年度より減少した。
3. 一次検査中の二次陽性率は、養護学校等で1.0%を超えるが、その他は1.0%以下と大きな変化はなかった。



2. 心電図検査

			実施数	正 常		ほぼ正常		要経過観察		要精密検査	
小学校	21年度	合計	2,230	2,198	98.6%	3	0.1%	0	0.0%	29	1.3%
		男	1,138	1,116	98.1%	3	0.3%	0	0.0%	19	1.7%
		女	1,092	1,082	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.9%
	22年度	合計	2,282	2,252	98.7%	5	0.2%	0	0.0%	25	1.1%
		男	1,176	1,159	98.6%	2	0.2%	0	0.0%	15	1.3%
		女	1,106	1,093	98.8%	3	0.3%	0	0.0%	10	0.9%
	23年度	合計	2,294	2,260	98.5%	6	0.3%	0	0.0%	28	1.2%
		男	1,167	1,152	98.7%	5	0.4%	0	0.0%	10	0.9%
		女	1,127	1,108	98.3%	1	0.1%	0	0.0%	18	1.6%
中学校	21年度	合計	2,693	2,634	97.8%	15	0.6%	1	0.0%	43	1.6%
		男	1,601	1,559	97.4%	11	0.7%	1	0.1%	30	1.9%
		女	1,092	1,075	98.4%	4	0.4%	0	0.0%	13	1.2%
	22年度	合計	2,738	2,684	98.0%	16	0.6%	0	0.0%	38	1.4%
		男	1,564	1,528	97.7%	13	0.8%	0	0.0%	23	1.5%
		女	1,174	1,156	98.5%	3	0.3%	0	0.0%	15	1.3%
	23年度	合計	2,699	2,642	97.9%	19	0.7%	0	0.0%	38	1.4%
		男	1,588	1,552	97.7%	13	0.8%	0	0.0%	23	1.4%
		女	1,111	1,090	98.1%	6	0.5%	0	0.0%	15	1.4%
高 校	21年度	合計	2,720	2,604	95.7%	89	3.3%	3	0.1%	24	0.9%
		男	1,804	1,723	95.5%	63	3.5%	2	0.1%	16	0.9%
		女	916	881	96.2%	26	2.8%	1	0.1%	8	0.9%
	22年度	合計	2,877	2,772	96.4%	84	2.9%	0	0.0%	21	0.7%
		男	1,826	1,745	95.6%	64	3.5%	0	0.0%	17	0.9%
		女	1,051	1,027	97.7%	20	1.9%	0	0.0%	4	0.4%
	23年度	合計	2,713	2,589	95.4%	102	3.8%	0	0.0%	22	0.8%
		男	1,744	1,640	94.0%	82	4.7%	0	0.0%	22	1.3%
		女	969	949	97.9%	20	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
大 学	21年度	合計	709	651	91.8%	41	5.8%	2	0.3%	15	2.1%
		男	416	371	89.2%	35	8.4%	1	0.2%	9	2.2%
		女	293	280	95.6%	6	2.0%	1	0.3%	6	2.0%
	22年度	合計	707	660	93.4%	26	3.7%	2	0.3%	19	2.7%
		男	396	364	91.9%	18	4.5%	1	0.3%	13	3.3%
		女	311	296	95.2%	8	2.6%	1	0.3%	6	1.9%
	23年度	合計	730	696	95.3%	19	2.6%	1	0.1%	14	1.9%
		男	419	395	94.3%	16	3.8%	1	0.2%	7	1.7%
		女	311	301	96.8%	3	1.0%	0	0.0%	7	2.3%
合 計	21年度	合計	8,352	8,087	96.8%	148	1.8%	6	0.1%	111	1.3%
		男	4,959	4,769	96.2%	112	2.3%	4	0.1%	74	1.5%
		女	3,393	3,318	97.8%	36	1.1%	2	0.1%	37	1.1%
	22年度	合計	8,604	8,368	97.3%	131	1.5%	2	0.0%	103	1.2%
		男	4,962	4,796	96.7%	97	2.0%	1	0.0%	68	1.4%
		女	3,642	3,572	98.1%	34	0.9%	1	0.0%	35	1.0%
	23年度	合計	8,436	8,187	97.0%	146	1.7%	1	0.0%	102	1.2%
		男	4,918	4,739	96.4%	116	2.4%	1	0.0%	62	1.3%
		女	3,518	3,448	98.0%	30	0.9%	0	0.0%	40	1.1%

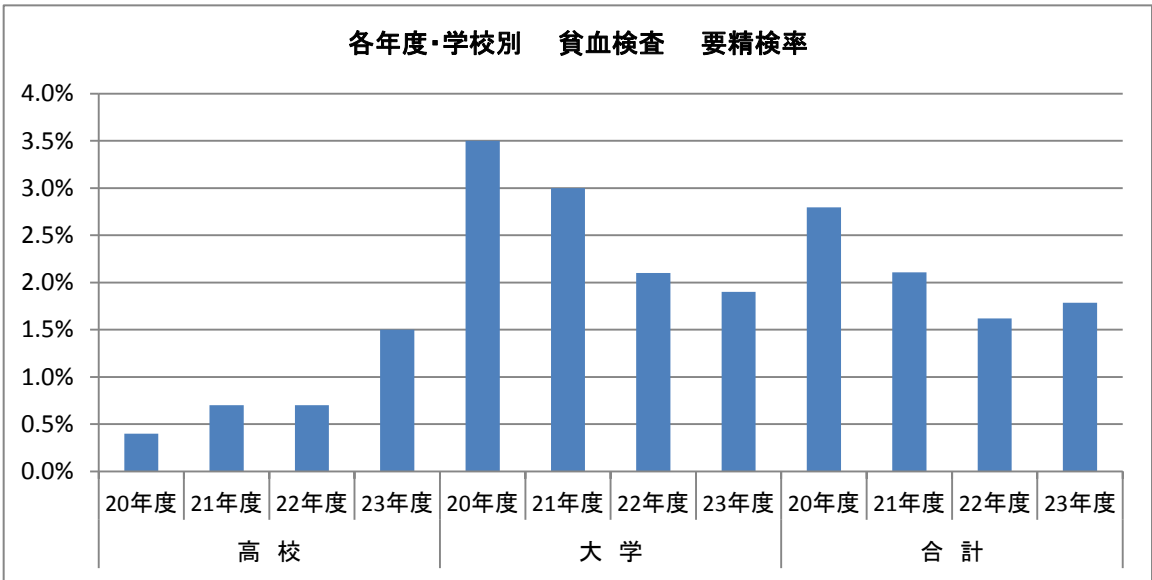
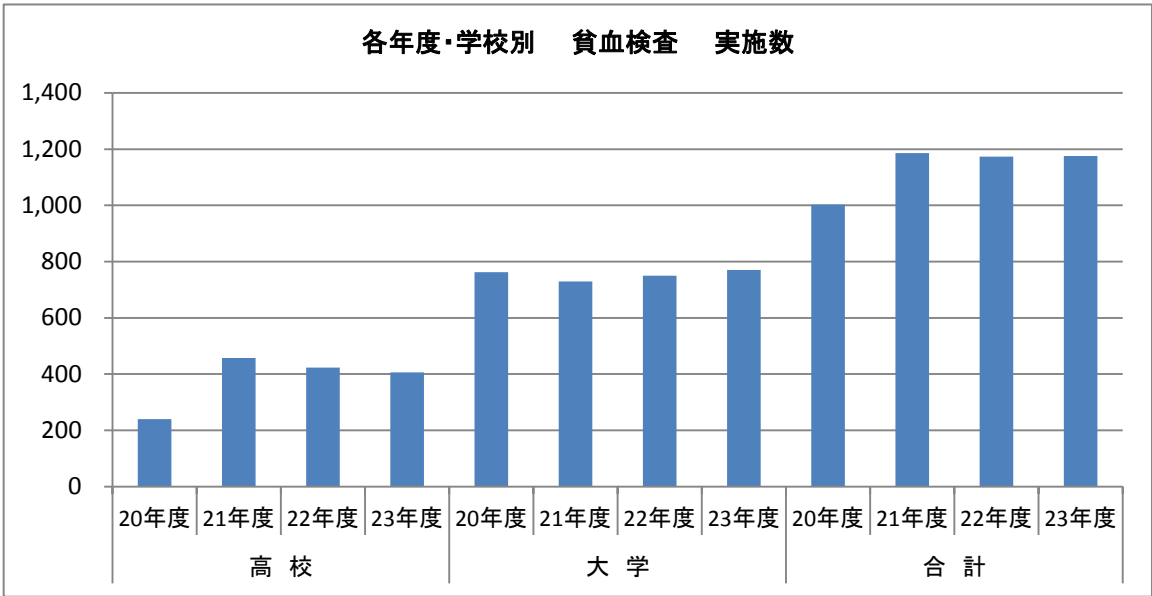
1. 心電図の実施数は、小学校と大学で微増したが、中学校と高校では減少した。
2. 要精密検査率は、小・中学校と高校は、前年度と大差はなく1.0%前後だったが、大学は、2.7%から1.9%へと減少した。男女差はみられなかった。



3. 貧血検査

			実施数	正 常		ほぼ正常		要経過観察		要精密検査	
高 校	20年度	合計	240	202	84.2%	31	12.9%	6	2.5%	1	0.4%
		男 女									
	21年度	合計	457	372	81.4%	76	16.6%	6	1.3%	3	0.7%
		男 女									
	22年度	合計	423	367	86.8%	47	11.1%	6	1.4%	3	0.7%
		男 女									
	23年度	合計	406	352	86.7%	46	11.3%	2	0.5%	6	1.5%
		男 女									
大 学	20年度	合計	762	599	78.6%	118	15.5%	18	2.4%	27	3.5%
		男	248	192	77.4%	50	20.2%	5	2.0%	1	0.4%
		女	514	407	79.2%	68	13.2%	13	2.5%	26	5.1%
	21年度	合計	729	554	76.0%	121	16.6%	32	4.4%	22	3.0%
		男	246	182	74.0%	44	17.9%	17	6.9%	3	1.2%
		女	483	372	77.0%	77	15.9%	15	3.1%	19	3.9%
	22年度	合計	750	581	77.5%	129	17.2%	24	3.2%	16	2.1%
		男	237	177	74.7%	48	20.3%	11	4.6%	1	0.4%
		女	513	404	78.8%	81	15.8%	13	2.5%	15	2.9%
	23年度	合計	770	572	74.3%	153	19.9%	30	3.9%	15	1.9%
		男	237	178	75.1%	41	17.3%	18	7.6%	0	0.0%
		女	533	394	73.9%	112	21.0%	12	2.3%	15	2.8%
合 計	20年度	合計	1,002	801	79.9%	149	14.9%	24	2.4%	28	2.8%
		男 女									
	21年度	合計	1,186	926	78.1%	197	16.6%	38	3.2%	25	2.1%
		男 女									
	22年度	合計	1,173	948	80.8%	176	15.0%	30	2.6%	19	1.6%
		男 女									
	23年度	合計	1,176	924	78.6%	199	16.9%	32	2.7%	21	1.8%
		男 女									

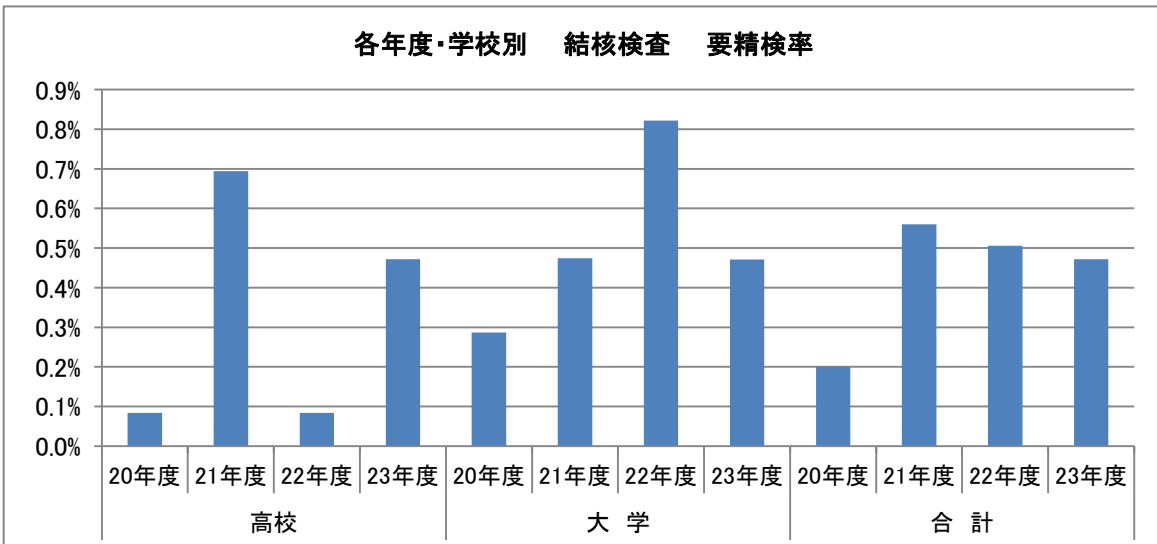
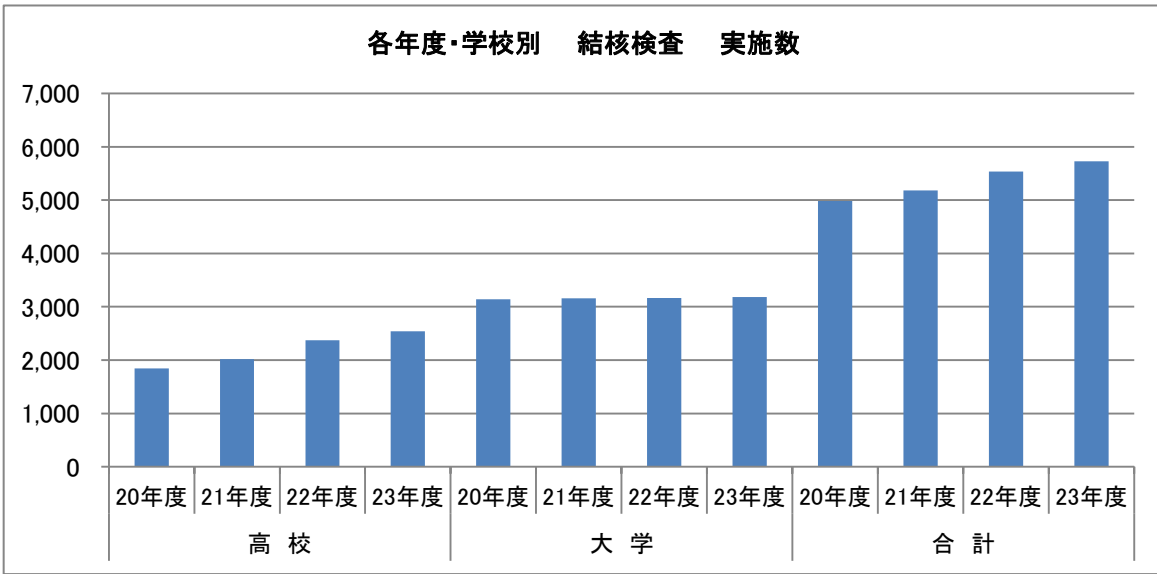
1. 貧血検査の実施数は、ここ3年間は増加傾向であった。
2. 要精密検査率は、性別が出ている大学生では女性の方が高いが、年々減少をしている。



4. 結核検査

			実施数	正 常		ほぼ正常		要経過観察		要精密検査	
高 校	20年度	合計	1,842	1,841	99.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
		男	1,203	1,203	100.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		女	639	638	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
	21年度	合計	2,018	2,004	99.3%	0	0.0%	0	0.0%	14	0.7%
		男	1,322	1,314	99.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.6%
		女	696	690	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.9%
	22年度	合計	2,372	2,370	99.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
		男	1,435	1,435	100.0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		女	937	935	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%
	23年度	合計	2,542	2,530	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	12	0.5%
		男	1,495	1,488	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.5%
		女	1,047	1,042	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.5%
大 学	20年度	合計	3,143	3,134	99.7%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.3%
		男	1,825	1,822	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
		女	1,318	1,312	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.5%
	21年度	合計	3,161	3,142	99.4%	0	0.0%	4	0.1%	15	0.5%
		男	1,873	1,861	99.4%	0	0.0%	3	0.2%	9	0.5%
		女	1,288	1,281	99.5%	0	0.0%	1	0.1%	6	0.5%
	22年度	合計	3,163	3,137	99.2%	0	0.0%	0	0.0%	26	0.8%
		男	1,813	1,796	99.1%	0	0.0%	0	0.0%	17	0.9%
		女	1,350	1,341	99.3%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.7%
	23年度	合計	3,184	3,165	99.4%	0	0.0%	4	0.1%	15	0.5%
		男	1,802	1,790	99.3%	0	0.0%	0	0.0%	12	0.7%
		女	1,382	1,375	99.5%	0	0.0%	4	0.3%	3	0.2%
合 計	20年度	合計	4,985	4,975	99.8%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.2%
		男	3,028	3,025	99.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.1%
		女	1,957	1,950	99.6%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.4%
	21年度	合計	5,179	5,146	99.4%	0	0.0%	4	0.1%	29	0.6%
		男	3,195	3,175	99.4%	0	0.0%	3	0.1%	17	0.5%
		女	1,984	1,971	99.3%	0	0.0%	1	0.1%	12	0.6%
	22年度	合計	5,535	5,507	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	28	0.5%
		男	3,248	3,231	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	17	0.5%
		女	2,287	2,276	99.5%	0	0.0%	0	0.0%	11	0.5%
	23年度	合計	5,726	5,695	99.5%	0	0.0%	4	0.1%	27	0.5%
		男	3,297	3,278	99.4%	0	0.0%	0	0.0%	19	0.6%
		女	2,429	2,417	99.5%	0	0.0%	4	0.2%	8	0.3%

1. 結核検診の実施数は、高校生で年々増加している。
2. 結核検査の要精密検査率は、高校生が21年度に0.7%へと増加したが、翌22年度には再び減少し、さらに23年度には0.5%へと増加した。大学生は22年度に0.8%と上昇したが、翌23年度には、21年度同様0.5%へと減少した。



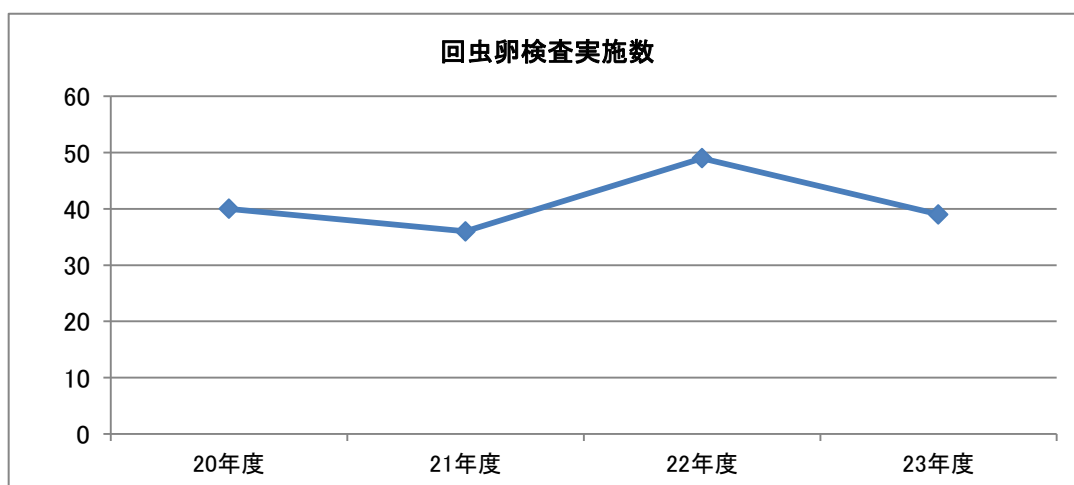
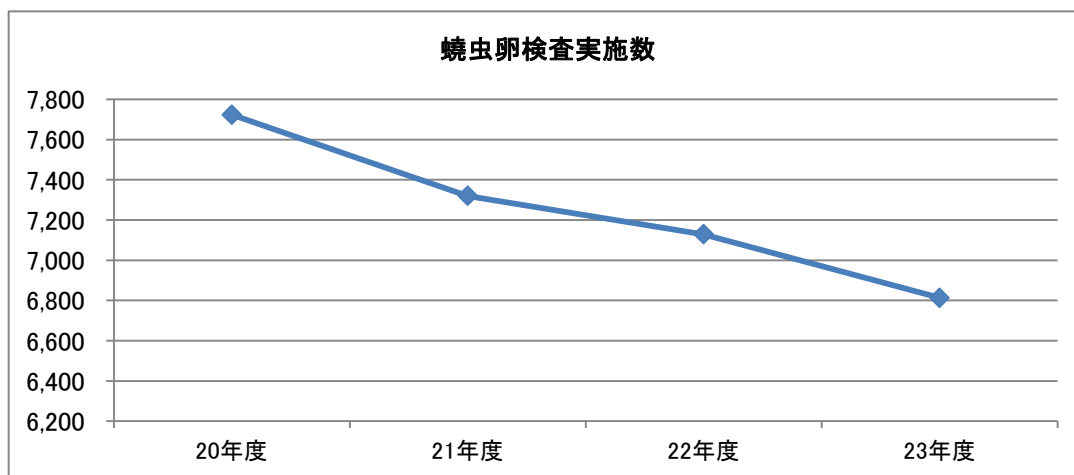
5. 園児・児童 寄生虫卵検査

1) 実施状況

小学校低学年（1年～3年）： 函館市内46校、北斗市11校、町13校
 保育園・幼稚園： 函館市内14施設

2) 実績

	蟻虫卵検査			回虫卵検査		
	件数	陽性	%	件数	陽性	%
20年度	7,723	0	0.0%	40	0	0.0%
21年度	7,320	0	0.0%	36	0	0.0%
22年度	7,129	1	0.01%	49	0	0.0%
23年度	6,813	0	0.0%	39	0	0.0%



IV. 職域健康診断（労働安全衛生規則による健康診断）

労働安全衛生法では、「事業主は健康診断の結果、労働者の健康を保持するために労働者の実情に合った適切な処置を取らなければならない。」とされています。

疾病を早期に発見することに加え、現在の健康状態を正確に把握し、その結果に基づいて運動指導や栄養指導の生活指導を行いながら、生活習慣病の予防を含めた健康管理を進めていくことが、この健診の大きな目的となっています

1. 受付方法：予約が必要です。

2. 実施方法：予約時に、受診希望日・時間、予定人数、健診内容を確認し実施。

3. 健康診断の種類

1) 一般健康診断

① 雇入時健康診断（安衛則第 43 条）平成 20 年 4 月一部改正

雇入時の直前あるいは直後に、必ず行うべき健康診断

- ・ 既往歴及び業務歴の調査
- ・ 喫煙歴及び服薬歴の聴取
- ・ 自覚症状及び多覚症状の有無の検査
- ・ 身長、体重、腹囲、BMI、視力、聴力検査
- ・ 胸部X線検査
- ・ 血圧の測定
- ・ 尿検査（糖、蛋白）
- ・ 貧血検査（赤血球数、血色素量）
- ・ 肝機能検査（GOT、GPT、 γ -G T）
- ・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール）
- ・ 血糖検査（空腹時）
- ・ 心電図検査

※ 年齢による検診項目の省略は認められません

※ 血糖検査の空腹時は、食後 10 時間以上経過したもの、10 時間を経過していない場合は、ヘモグロビンA1cを実施

② 定期健康診断（安衛則第 44 条）平成 20 年 4 月一部改正

労働者に対して、1 年に 1 回必ず実施する健康診断。年齢により健診項目が異なる。

	35 歳未満及び 36 歳～39 歳	35 歳及び 40 歳以上
・ 既往歴及び業務歴の調査	◎	◎
・ 喫煙歴及び服薬歴の聴取	◎	◎
・ 自覚症状及び多覚症状の有無の検査	◎	◎
・ 身長、体重、BMI、視力、聴力検査	◎	◎
・ 胸部 X 線検査	◎	◎
・ 腹囲計測	△	◎
・ 血圧の測定	◎	◎
・ 尿検査（糖、蛋白）	◎	◎
・ 貧血検査（赤血球数、血色素量）		◎
・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GT）		◎
・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、 LDL-コレステロール）		◎
・ 血糖検査（空腹時）		◎
・ 心電図検査		◎
※ 血糖検査の空腹時は、食後 10 時間以上経過したもの、10 時間を経過していない場合は、ヘモグロビン A1c を実施 ※ △の腹囲計測は、40 歳未満（35 歳を除く）の者については、医師の判断に基づき省略可		

③ 海外派遣労働者の健康診断（安衛則第 45 条の 2）平成 20 年 4 月一部改正

本邦外の地域に 6 ヶ月以上派遣しようとする時または、本邦外の地域に 6 ヶ月以上派遣した労働者を本邦の地域内における業種に就かせる時に行う健康診断。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 既往歴及び業務歴の調査 ・ 喫煙歴及び服薬歴の聴取 ・ 自覚症状及び多覚症状の有無の検査 ・ 身長、体重、腹囲、BMI、視力、聴力検査 ・ 胸部 X 線検査 ・ 血圧の測定 ・ 尿検査（糖、蛋白） ・ 貧血検査（赤血球数、血色素量） ・ 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GT） ・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール） ・ 血糖検査（空腹時） ・ 心電図検査 ※ 医師が必要と認めた場合の検査 （胃部 X 線、腹部超音波、尿酸、B 型肝炎ウイルス、血液型、糞便検査）

2) 特殊健康診断（安衛法 66 条第 2 項）

労働衛生上特に有害な業務に従事する労働者に対して行われる健康診断

① 有機溶剤健康診断（有機溶剤中毒予防規則第 29 条）

イ	業の調査
ロ	有機溶剤による健康障害の既往歴の調査 有機溶剤による自覚症状及び他覚症状の既往歴の検査 有機溶剤によるホ～チに揚げる異常所見の既往の有無の調査 二の既往の検査結果の調査
ハ	自覚症状及び他覚症状の有無の検査
ニ	尿中の有機溶剤の代謝物の量の検査
ホ	尿中の蛋白の有無の検査
ヘ	肝機能検査（GOT、GPT、 γ -G T）
ト	貧血検査（赤血球数、血色素量）
チ	眼底検査 このうち、ニ及びヘ～チは、指定の有機溶剤に限る

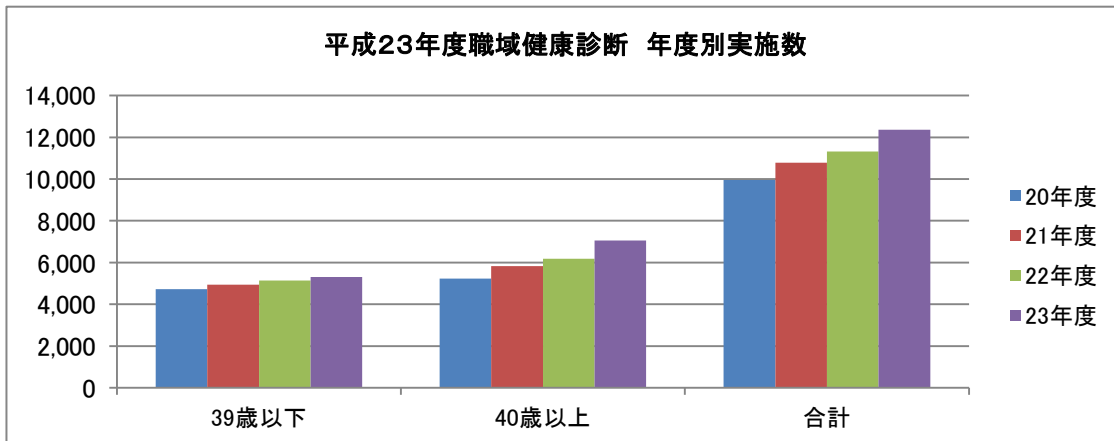
※指定の有機溶剤

有機溶剤の種類	代謝物	肝機能	貧血	眼底
キシレン、スチレン、1・1・1-トリクロロエタン、トルエン、ノルマルヘキサン、N・Nジメチルホルムアミド、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン	◎	◎		
クロルベンゼン、オクトジクロルベンゼン、クロロホルム、四塩化炭素、1・4-ジオキサン、1・2-ジクロロエタン、1・2-ジクロロエチレン、1・1・2・2-テトラクロロエタン、クレゾール		◎		
エチレングリコールモノエチルエーテル エチレングリコールモノエチル、エーテルアセテート エチレングリコールモノブチルエーテル、エチレングリコールモノメチルエーテル			◎	
二酸化炭素				○

4. 職域健康診断実績

	39歳以下	40歳以上	合計
20年度	4,732	5,228	9,960
21年度	4,942	5,837	10,779
22年度	5,137	6,188	11,325
23年度	5,314	7,052	12,366

1. 職域健康診断の実施数は、39歳以下、40歳以上とも年々増加している。

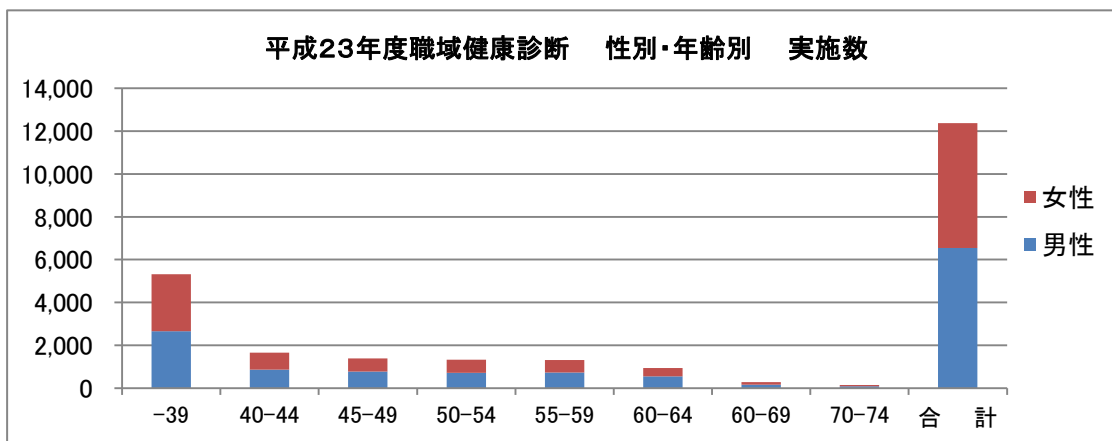


5. 平成23年度 職域健康診断 詳細実績

1) 年齢別・性別 受診者数

	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
男性	2,655 50.0%	869 52.5%	779 56.2%	716 54.2%	727 55.1%	548 58.2%	165 58.5%	90 61.2%	6,549 53.0%
女性	2,659 50.0%	787 47.5%	606 43.8%	606 45.8%	592 44.9%	393 41.8%	117 41.5%	57 38.8%	5,817 47.0%
合計	5,314 43.0%	1,656 13.4%	1,385 11.2%	1,322 10.7%	1,319 10.7%	941 7.6%	282 2.3%	147 1.2%	12,366 100.0%

1. 男女比率は、合計で男性 53.0%、女性 47.0%で、男性は加齢とともに増加、女性は減少傾向であった。

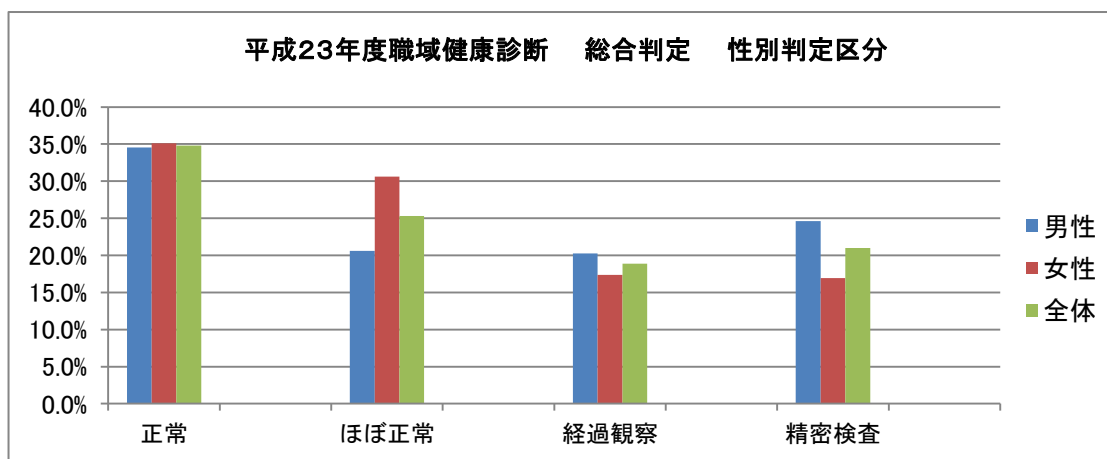


2) 健診項目別 検査結果

① 総合判定

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	34.6%	20.6%	20.2%	24.6%
女性	35.1%	30.6%	17.3%	16.9%
全体	34.8%	25.3%	18.9%	21.0%

1. 総合判定の要精密検査率は、全体が 21.0%、男性が 24.6%、女性が 16.9%と、男性の方が高かった。



男 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,254 47.2%	284 32.7%	236 30.3%	174 24.3%	151 20.8%	107 19.5%	35 21.2%	22 24.4%	2,263 34.6%
ほぼ正常	603 22.7%	168 19.3%	170 21.8%	143 20.0%	127 17.5%	99 18.1%	25 15.2%	13 14.4%	1,348 20.6%
要経過観察	433 16.3%	184 21.2%	161 20.7%	173 24.2%	190 26.1%	126 23.0%	40 24.2%	19 21.1%	1,326 20.2%
要精密検査	365 13.7%	233 26.8%	212 27.2%	226 31.6%	259 35.6%	216 39.4%	65 39.4%	36 40.0%	1,612 24.6%
計	2,655	869	779	716	727	548	165	90	6,549

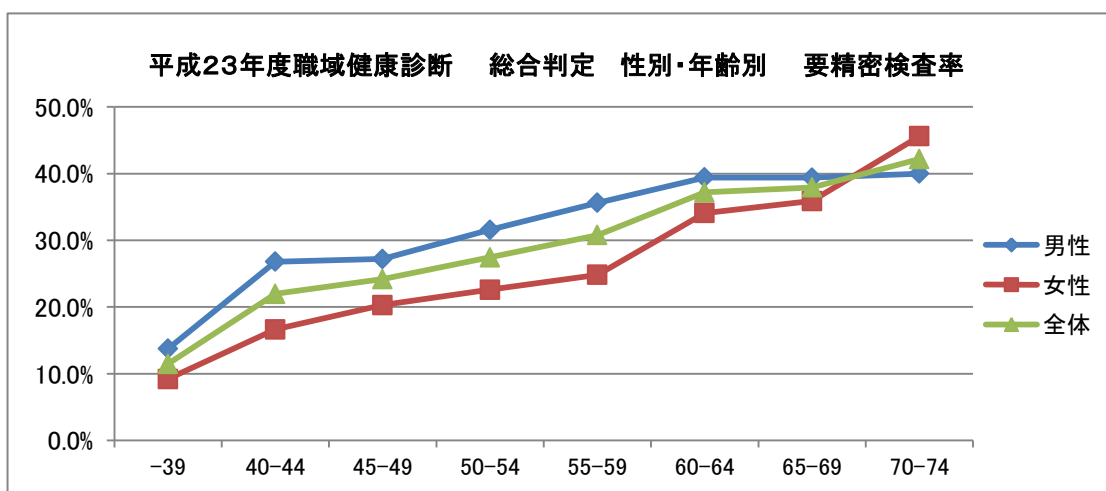
女 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,169 44.0%	270 34.3%	187 30.9%	166 27.4%	164 27.7%	55 14.0%	20 17.1%	10 17.5%	2,041 35.1%
ほぼ正常	912 34.3%	234 29.7%	165 27.2%	156 25.7%	156 26.4%	120 30.5%	31 26.5%	8 14.0%	1,782 30.6%
要経過観察	333 12.5%	152 19.3%	131 21.6%	147 24.3%	125 21.1%	84 21.4%	24 20.5%	13 22.8%	1,009 17.3%
要精密検査	245 9.2%	131 16.6%	123 20.3%	137 22.6%	147 24.8%	134 34.1%	42 35.9%	26 45.6%	985 16.9%
計	2,659	787	606	606	592	393	117	57	5,817

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,423 45.6%	554 33.5%	423 30.5%	340 25.7%	315 23.9%	162 17.2%	55 19.5%	32 21.8%	4,304 34.8%
ほぼ正常	1,515 28.5%	402 24.3%	335 24.2%	299 22.6%	283 21.5%	219 23.3%	56 19.9%	21 14.3%	3,130 25.3%
要経過観察	766 14.4%	336 20.3%	292 21.1%	320 24.2%	315 23.9%	210 22.3%	64 22.7%	32 21.8%	2,335 18.9%
要精密検査	610 11.5%	364 22.0%	335 24.2%	363 27.5%	406 30.8%	350 37.2%	107 37.9%	62 42.2%	2,597 21.0%
計	5,314	1,656	1,385	1,322	1,319	941	282	147	12,366

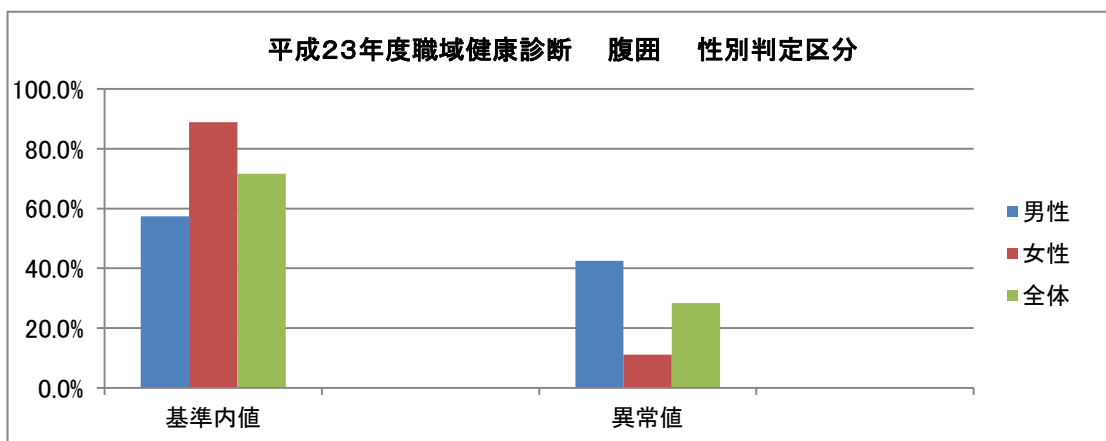
1. 総合判定の要精密検査率は、男女とも、加齢とともに増加を示していた。



② 腹 囲

	基準内	異常値
男性	57.4%	42.6%
女性	88.8%	11.2%
全体	71.6%	28.4%

1. 腹囲の異常値率は、全体が 28.4%、男性 42.6%、女性 11.2%で、男性は女性の 4 倍近く高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	577 63.1%	351 54.7%	332 56.4%	319 57.6%	317 56.1%	237 54.0%	68 55.3%	30 51.7%	2,231 57.4%
異常値	337 36.9%	291 45.3%	257 43.6%	235 42.4%	248 43.9%	202 46.0%	55 44.7%	28 48.3%	1,653 42.6%
計	914	642	589	554	565	439	123	58	3,884

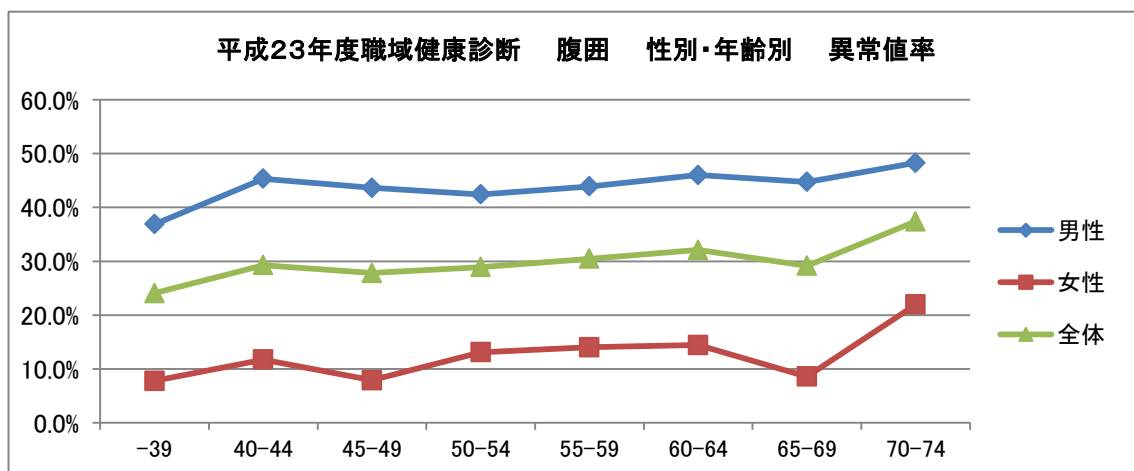
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	663 92.2%	519 88.3%	431 92.1%	411 86.9%	398 86.0%	296 85.5%	85 91.4%	32 78.0%	2,835 88.8%
異常値	56 7.8%	69 11.7%	37 7.9%	62 13.1%	65 14.0%	50 14.5%	8 8.6%	9 22.0%	356 11.2%
計	719	588	468	473	463	346	93	41	3,191

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	1,240 75.9%	870 70.7%	763 72.2%	730 71.1%	715 69.6%	533 67.9%	153 70.8%	62 62.6%	5,066 71.6%
異常値	393 24.1%	360 29.3%	294 27.8%	297 28.9%	313 30.4%	252 32.1%	63 29.2%	37 37.4%	2,009 28.4%
計	1,633	1,230	1,057	1,027	1,028	785	216	99	7,075

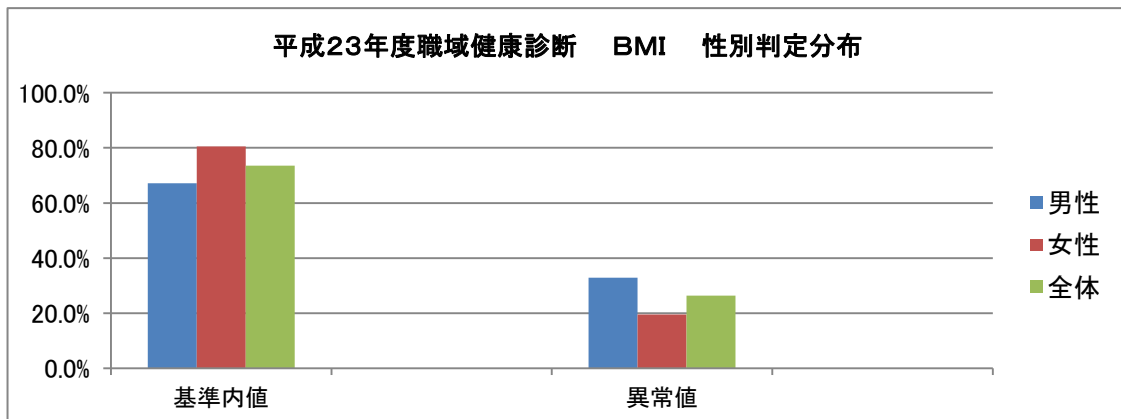
1. 腹囲の異常値率は、男女とも加齢による変化はあまりなかった。65歳以上は実施人数が少なく参考データである。



③ BMI

	基準内	異常値
男性	67.1%	32.9%
女性	80.5%	19.5%
全体	73.6%	26.4%

1. BMIの異常値率は、全体が26.4%、男性が32.9%、女性が19.5%であり、女性に比べて男性の方が10%以上高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	1,562 68.5%	422 61.4%	405 65.9%	391 67.4%	397 66.9%	330 68.0%	100 71.4%	50 73.5%	3,657 67.1%
異常値	719 31.5%	265 38.6%	210 34.1%	189 32.6%	196 33.1%	155 32.0%	40 28.6%	18 26.5%	1,792 32.9%
計	2,281	687	615	580	593	485	140	68	5,449

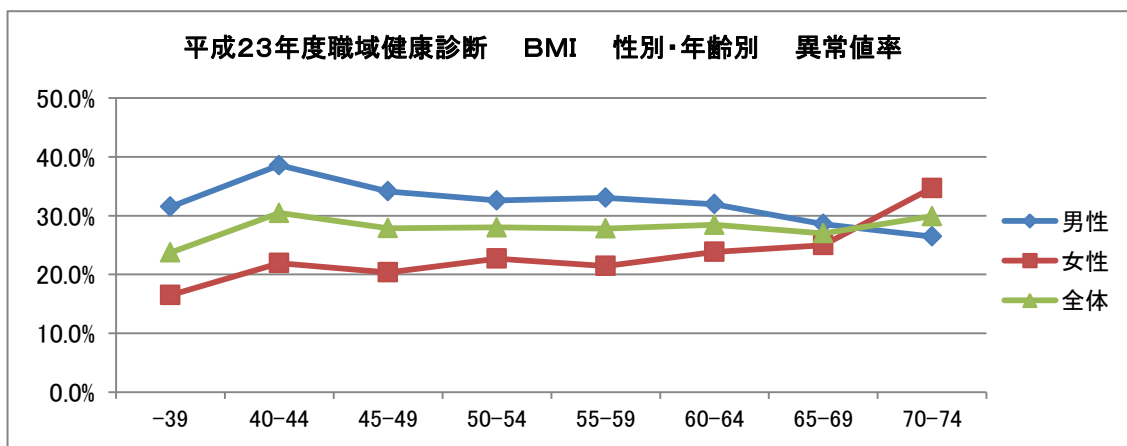
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	2,049 83.5%	512 78.0%	407 79.6%	388 77.3%	381 78.6%	281 76.2%	81 75.0%	32 65.3%	4,131 80.5%
異常値	405 16.5%	144 22.0%	104 20.4%	114 22.7%	104 21.4%	88 23.8%	27 25.0%	17 34.7%	1,003 19.5%
計	2,454	656	511	502	485	369	108	49	5,134

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
基準値内	3,611 76.3%	934 69.5%	812 72.1%	779 72.0%	778 72.2%	611 71.5%	181 73.0%	82 70.1%	7,788 73.6%
異常値	1,124 23.7%	409 30.5%	314 27.9%	303 28.0%	300 27.8%	243 28.5%	67 27.0%	35 29.9%	2,795 26.4%
計	4,735	1,343	1,126	1,082	1,078	854	248	117	10,583

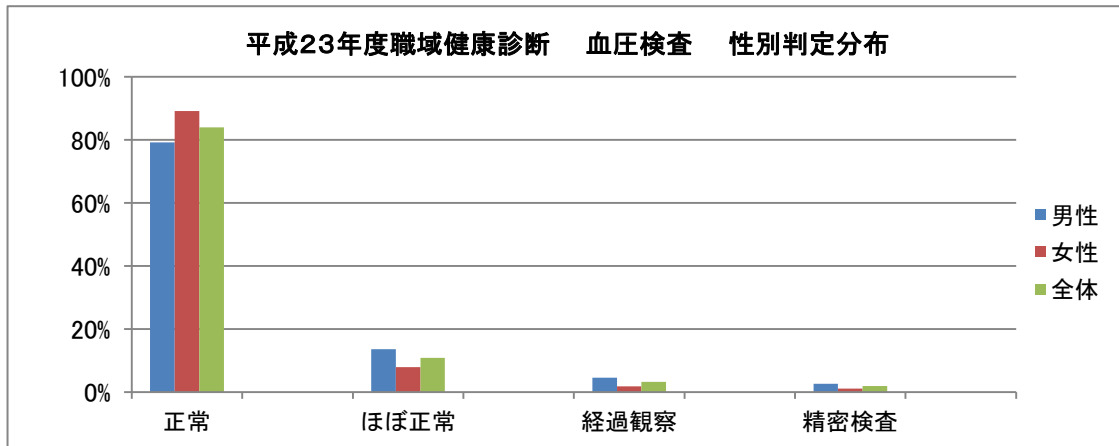
1. BMIの異常値率は、男性は加齢とともに減少傾向であったが、逆に女性は微増を示した。65歳以上は、実施人数が少なく参考データである。



④ 血圧検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	79.2%	13.6%	4.5%	2.7%
女性	89.2%	7.9%	1.8%	1.1%
合計	84.0%	10.9%	3.2%	1.9%

1. 血圧検査の要精密検査率は、全体が 1.9%、男性 2.7%、女性 1.1%で、女性に比べて男性が 3 倍近く高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,034 89.0%	572 82.1%	492 78.5%	440 73.9%	396 63.8%	320 63.7%	92 64.8%	42 62.7%	4,388 79.2%
ほぼ正常	195 8.5%	79 11.3%	91 14.5%	94 15.8%	125 20.1%	116 23.1%	34 23.9%	17 25.4%	751 13.6%
要経過観察	37 1.6%	25 3.6%	27 4.3%	35 5.9%	65 10.5%	44 8.8%	13 9.2%	5 7.5%	251 4.5%
要精密検査	20 0.9%	21 3.0%	17 2.7%	26 4.4%	35 5.6%	22 4.4%	3 2.1%	3 4.5%	147 2.7%
計	2,286	697	627	595	621	502	142	67	5,537

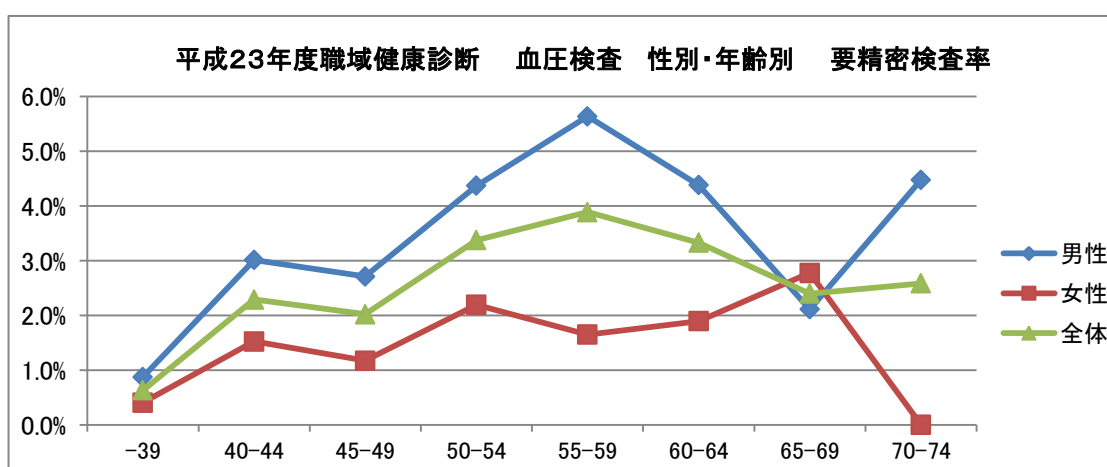
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,364 96.4%	574 87.5%	447 87.5%	416 83.0%	384 79.2%	274 74.3%	77 71.3%	39 79.6%	4,575 89.2%
ほぼ正常	71 2.9%	57 8.7%	44 8.6%	53 10.6%	75 15.5%	76 20.6%	24 22.2%	7 14.3%	407 7.9%
要経過観察	7 0.3%	15 2.3%	14 2.7%	21 4.2%	18 3.7%	12 3.3%	4 3.7%	3 6.1%	94 1.8%
要精密検査	10 0.4%	10 1.5%	6 1.2%	11 2.2%	8 1.6%	7 1.9%	3 2.8%	0 0.0%	55 1.1%
計	2,452	656	511	501	485	369	108	49	5,131

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	4,398 92.8%	1146 84.7%	939 82.5%	856 78.1%	780 70.5%	594 68.2%	169 67.6%	81 69.8%	8,963 84.0%
ほぼ正常	266 5.6%	136 10.1%	135 11.9%	147 13.4%	200 18.1%	192 22.0%	58 23.2%	24 20.7%	1,158 10.9%
要経過観察	44 0.9%	40 3.0%	41 3.6%	56 5.1%	83 7.5%	56 6.4%	17 6.8%	8 6.9%	345 3.2%
要精密検査	30 0.6%	31 2.3%	23 2.0%	37 3.4%	43 3.9%	29 3.3%	6 2.4%	3 2.6%	202 1.9%
計	4,738	1,353	1,138	1,096	1,106	871	250	116	10,668

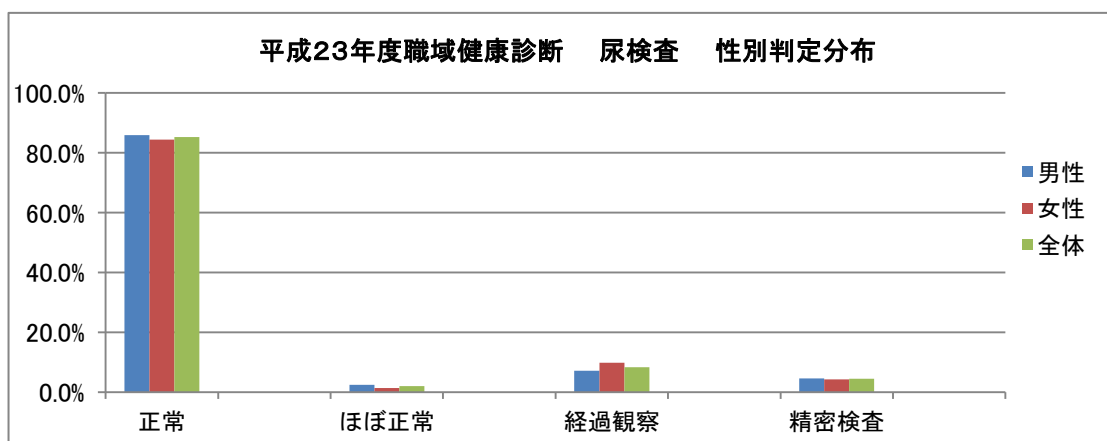
1. 血圧検査の要精密検査率は、男性は加齢とともに増加して55～59歳でピークを示した。女性も増減はあるが、加齢とともに増加傾向を示した。なお65歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑤ 尿検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	85.9%	2.4%	7.1%	4.6%
女性	84.5%	1.4%	9.8%	4.3%
合計	85.2%	2.0%	8.4%	4.4%

1. 尿検査の要精密検査率は、全体で4.4%、男性4.6%、女性4.3%であり、性差は認められなかった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,100 91.5%	598 85.6%	541 86.6%	494 82.9%	485 78.4%	374 76.2%	106 77.4%	44 73.3%	4,742 85.9%
ほぼ正常	54 2.4%	12 1.7%	14 2.2%	7 1.2%	16 2.6%	24 4.9%	4 2.9%	3 5.0%	134 2.4%
要経過観察	96 4.2%	48 6.9%	45 7.2%	55 9.2%	75 12.1%	52 10.6%	15 10.9%	7 11.7%	393 7.1%
要精密検査	44 1.9%	41 5.9%	25 4.0%	40 6.7%	43 6.9%	41 8.4%	12 8.8%	6 10.0%	252 4.6%
計	2,294	699	625	596	619	491	137	60	5,521

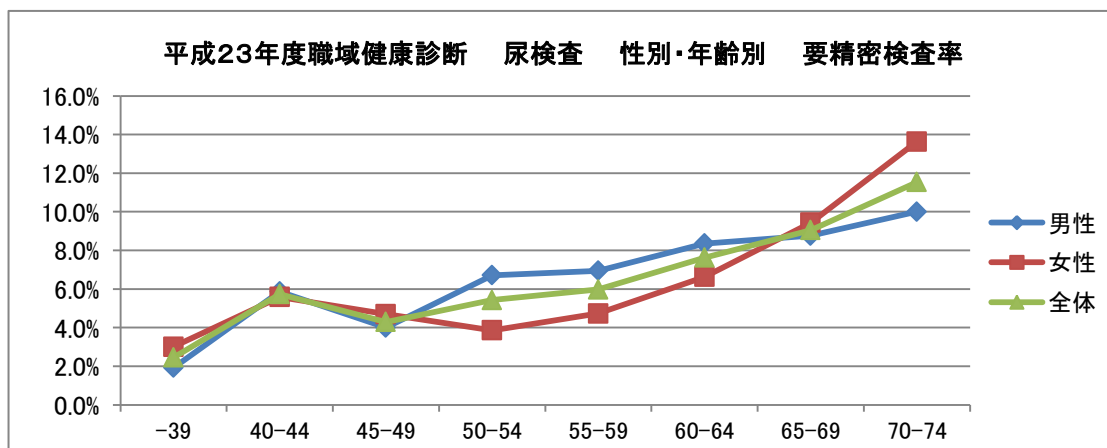
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,952 88.9%	496 83.9%	376 84.1%	387 78.7%	392 80.7%	283 78.2%	73 68.9%	31 70.5%	3,990 84.5%
ほぼ正常	37 1.7%	5 0.8%	4 0.9%	5 1.0%	7 1.4%	7 1.9%	2 1.9%	0 0.0%	67 1.4%
要経過観察	141 6.4%	57 9.6%	46 10.3%	81 16.5%	64 13.2%	48 13.3%	21 19.8%	7 15.9%	465 9.8%
要精密検査	66 3.0%	33 5.6%	21 4.7%	19 3.9%	23 4.7%	24 6.6%	10 9.4%	6 13.6%	202 4.3%
計	2,196	591	447	492	486	362	106	44	4,724

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	4,052 90.2%	1,094 84.8%	917 85.5%	881 81.0%	877 79.4%	657 77.0%	179 73.7%	75 72.1%	8,732 85.2%
ほぼ正常	91 2.0%	17 1.3%	18 1.7%	12 1.1%	23 2.1%	31 3.6%	6 2.5%	3 2.9%	201 2.0%
要経過観察	237 5.3%	105 8.1%	91 8.5%	136 12.5%	139 12.6%	100 11.7%	36 14.8%	14 13.5%	858 8.4%
要精密検査	110 2.4%	74 5.7%	46 4.3%	59 5.4%	66 6.0%	65 7.6%	22 9.1%	12 11.5%	454 4.4%
計	4,490	1,290	1,072	1,088	1,105	853	243	104	10,245

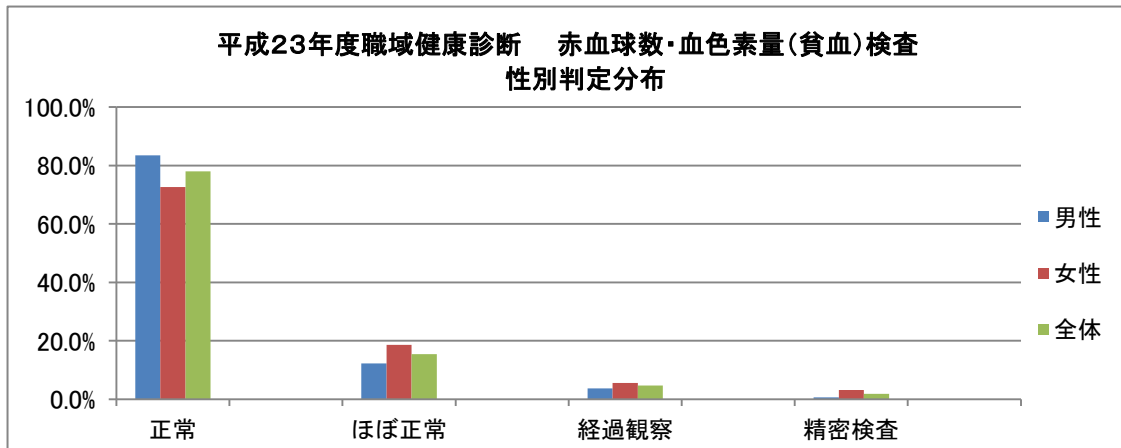
1. 尿検査の要精密検査率は、性差はあまりなく、男女とも加齢に伴い増加傾向であった。



⑥ 赤血球数・血色素量(貧血)検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	83.5%	12.2%	3.7%	0.6%
女性	72.6%	18.6%	5.6%	3.1%
合計	78.1%	15.4%	4.7%	1.9%

1. 血球数・血色素量検査の要精密検査率は、全体が1.9%、男性が0.6%、女性が3.1%となっており、男性に比べて女性が5倍程高かった。要因は、要精密検査の9割以上を貧血が占めており、閉経前の貧血が多いためと考えられた。



男 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,388 86.4%	582 87.3%	510 85.3%	478 84.2%	458 79.1%	341 75.8%	90 71.4%	37 61.7%	3,884 83.5%
ほぼ正常	195 12.1%	63 9.4%	67 11.2%	70 12.3%	79 13.6%	59 13.1%	23 18.3%	13 21.7%	569 12.2%
要経過観察	17 1.1%	22 3.3%	15 2.5%	16 2.8%	40 6.9%	43 9.6%	11 8.7%	9 15.0%	173 3.7%
要精密検査	6 0.4%	0 0.0%	6 1.0%	4 0.7%	2 0.3%	7 1.6%	2 1.6%	1 1.7%	28 0.6%
計	1,606	667	598	568	579	450	126	60	4,654

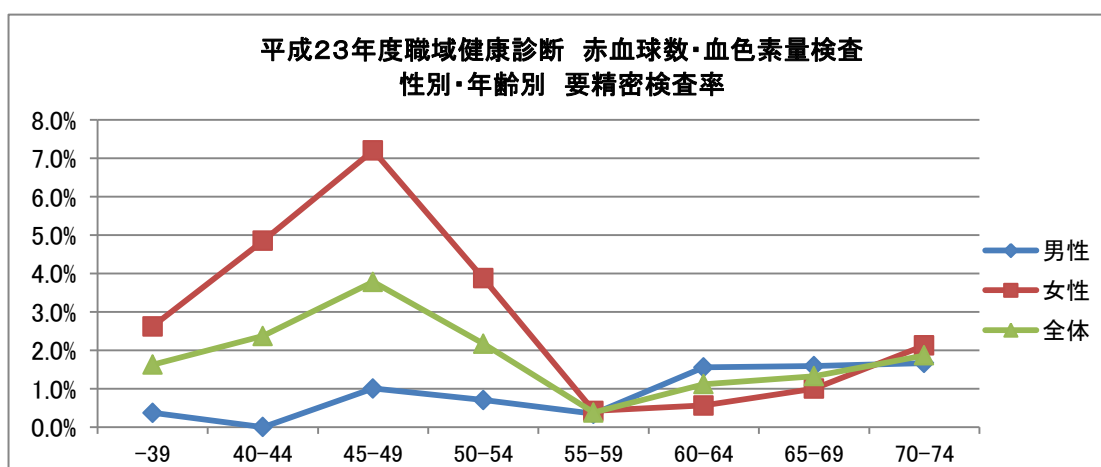
女 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,499 74.2%	445 69.6%	325 66.9%	339 69.2%	370 78.1%	276 77.5%	73 73.0%	22 46.8%	3,349 72.6%
ほぼ正常	372 18.4%	107 16.7%	91 18.7%	106 21.6%	85 17.9%	63 17.7%	21 21.0%	15 31.9%	860 18.6%
要経過観察	96 4.8%	56 8.8%	35 7.2%	26 5.3%	17 3.6%	15 4.2%	5 5.0%	9 19.1%	259 5.6%
要精密検査	53 2.6%	31 4.9%	35 7.2%	19 3.9%	2 0.4%	2 0.6%	1 1.0%	1 2.1%	144 3.1%
計	2,020	639	486	490	474	356	100	47	4,612

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,887 79.6%	1,027 78.6%	835 77.0%	817 77.2%	828 78.6%	617 76.6%	163 72.1%	59 55.1%	7,233 78.1%
ほぼ正常	567 15.6%	170 13.0%	158 14.6%	176 16.6%	164 15.6%	122 15.1%	44 19.5%	28 26.2%	1,429 15.4%
要経過観察	113 3.1%	78 6.0%	50 4.6%	42 4.0%	57 5.4%	58 7.2%	16 7.1%	18 16.8%	432 4.7%
要精密検査	59 1.6%	31 2.4%	41 3.8%	23 2.2%	4 0.4%	9 1.1%	3 1.3%	2 1.9%	172 1.9%
計	3,626	1,306	1,084	1,058	1,053	806	226	107	9,266

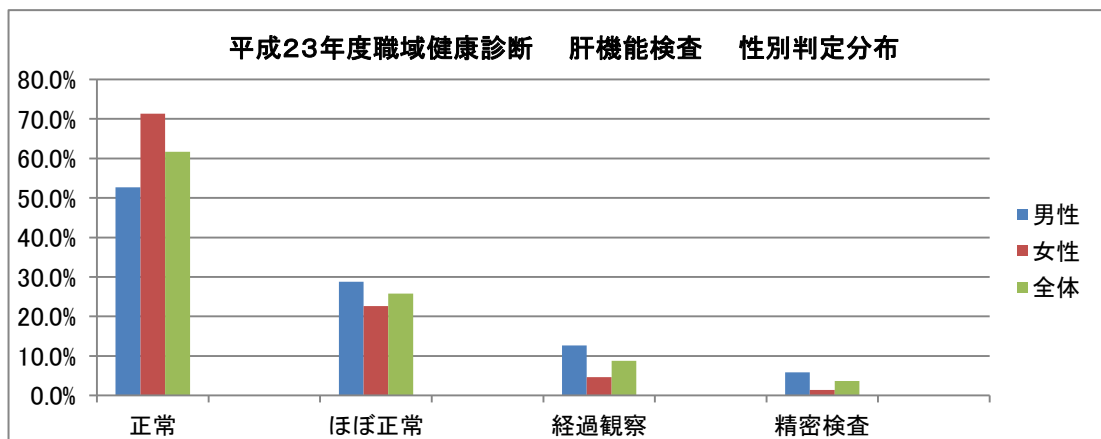
1. 赤血球数・血色素量検査の要精密検査率は、男性では加齢による変化はあまりなかったが、女性は45～49歳でピークを示し、50～54歳、55～59歳と半減をして男性と同じ1%以下に低下した。これは、貧血が異常値の9割以上を占め、50歳以上では閉経により貧血が減少するためと考えられた。



⑦ 肝機能検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	52.7%	28.8%	12.6%	5.8%
女性	71.3%	22.6%	4.7%	1.4%
合計	61.7%	25.8%	8.8%	3.7%

1. 肝機能検査の要精密検査率は、男性 5.8%、女性 1.4%と、女性に比べ男性が3倍以上高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	844 53.2%	339 50.7%	280 46.7%	286 50.4%	313 54.2%	259 57.7%	85 67.5%	36 59.0%	2,442 52.7%
ほぼ正常	419 26.4%	196 29.3%	193 32.2%	177 31.2%	177 30.7%	129 28.7%	24 19.0%	19 31.1%	1,334 28.8%
要経過観察	222 14.0%	84 12.6%	90 15.0%	72 12.7%	61 10.6%	39 8.7%	13 10.3%	5 8.2%	586 12.6%
要精密検査	100 6.3%	49 7.3%	36 6.0%	33 5.8%	26 4.5%	22 4.9%	4 3.2%	1 1.6%	271 5.8%
計	1,585	668	599	568	577	449	126	61	4,633

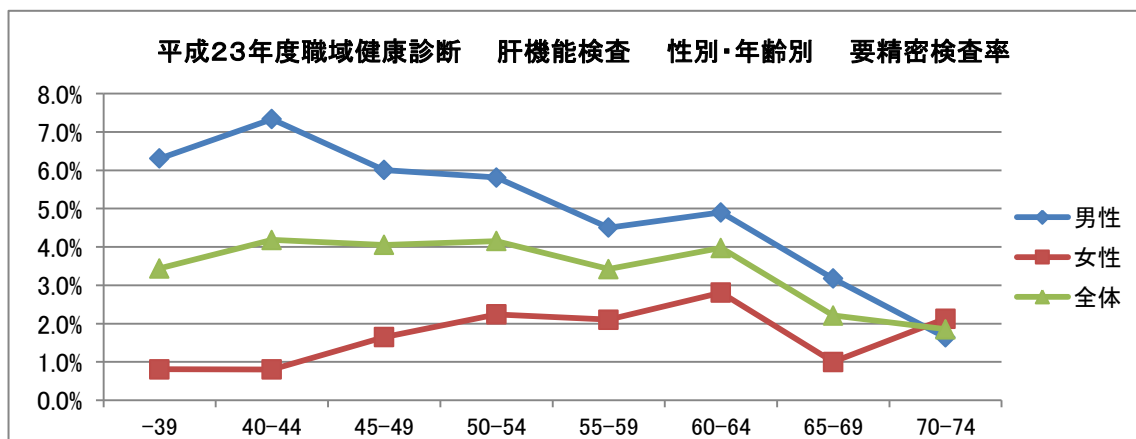
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,345 77.8%	455 73.0%	351 72.2%	311 63.3%	302 63.6%	218 61.2%	65 65.0%	25 53.2%	3,072 71.3%
ほぼ正常	312 18.0%	128 20.5%	108 22.2%	139 28.3%	137 28.8%	108 30.3%	30 30.0%	12 25.5%	974 22.6%
要経過観察	58 3.4%	35 5.6%	19 3.9%	30 6.1%	26 5.5%	20 5.6%	4 4.0%	9 19.1%	201 4.7%
要精密検査	14 0.8%	5 0.8%	8 1.6%	11 2.2%	10 2.1%	10 2.8%	1 1.0%	1 2.1%	60 1.4%
計	1,729	623	486	491	475	356	100	47	4,307

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,189 66.1%	794 61.5%	631 58.2%	597 56.4%	615 58.5%	477 59.3%	150 66.4%	61 56.5%	5,514 61.7%
ほぼ正常	731 22.1%	324 25.1%	301 27.7%	316 29.8%	314 29.8%	237 29.4%	54 23.9%	31 28.7%	2,308 25.8%
要経過観察	280 8.4%	119 9.2%	109 10.0%	102 9.6%	87 8.3%	59 7.3%	17 7.5%	14 13.0%	787 8.8%
要精密検査	114 3.4%	54 4.2%	44 4.1%	44 4.2%	36 3.4%	32 4.0%	5 2.2%	2 1.9%	331 3.7%
計	3,314	1,291	1,085	1,059	1,052	805	226	108	8,940

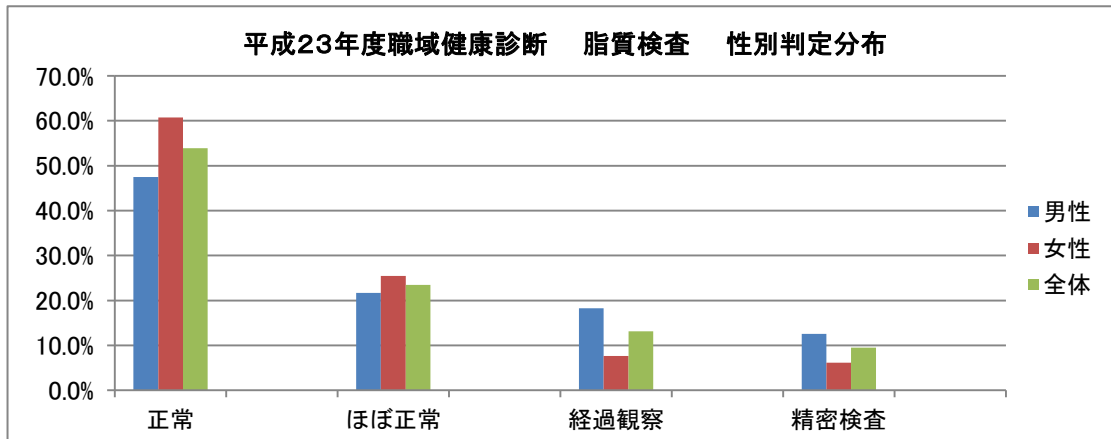
1. 機能検査の要精密検査率は、男性は54歳まで5.0%以上を示した後、加齢とともに減少傾向を示した。女性は加齢とともに緩やかに増加した。なお65歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑧ 脂質検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	47.5%	21.7%	18.2%	12.6%
女性	60.8%	25.5%	7.6%	6.1%
合計	53.9%	23.5%	13.1%	9.5%

1. 脂質検査の要精密検査率は、全体が9.5%、男性が12.6%、女性が6.1%で、男性は女性に比べ2倍程高かった。



男 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	802 51.7%	278 41.9%	253 42.4%	253 44.4%	277 48.3%	221 49.4%	63 50.4%	32 52.5%	2,179 47.5%
ほぼ正常	346 22.3%	134 20.2%	141 23.6%	121 21.2%	118 20.6%	97 21.7%	24 19.2%	14 23.0%	995 21.7%
要経過観察	235 15.1%	140 21.1%	115 19.3%	117 20.5%	108 18.8%	90 20.1%	22 17.6%	10 16.4%	837 18.2%
要精密検査	169 10.9%	112 16.9%	88 14.7%	79 13.9%	70 12.2%	39 8.7%	16 12.8%	5 8.2%	578 12.6%
計	1,552	664	597	570	573	447	125	61	4,589

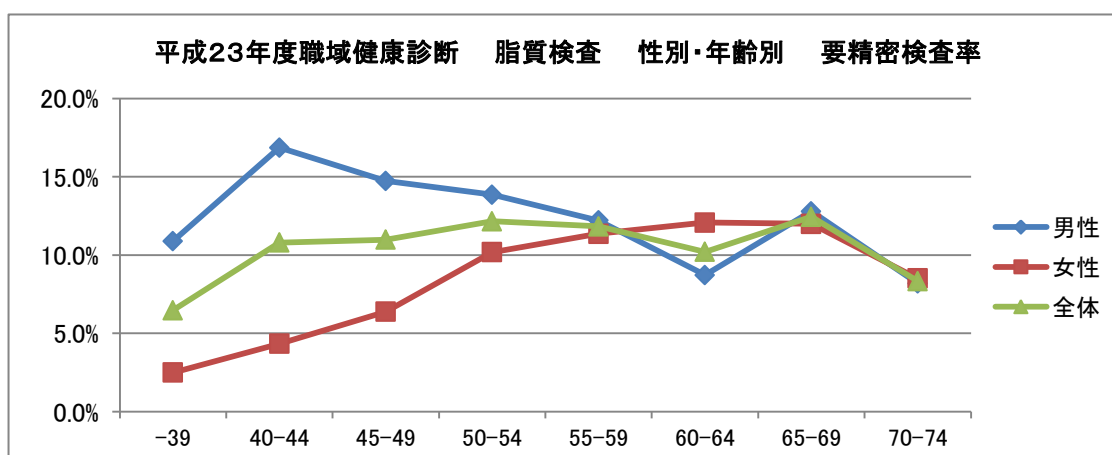
女 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,148 66.7%	401 64.4%	282 58.0%	279 56.8%	256 53.9%	166 46.6%	51 51.0%	29 61.7%	2,612 60.8%
ほぼ正常	462 26.9%	152 24.4%	127 26.1%	112 22.8%	99 20.8%	101 28.4%	32 32.0%	9 19.1%	1,094 25.5%
要経過観察	67 3.9%	43 6.9%	46 9.5%	50 10.2%	66 13.9%	46 12.9%	5 5.0%	5 10.6%	328 7.6%
要精密検査	43 2.5%	27 4.3%	31 6.4%	50 10.2%	54 11.4%	43 12.1%	12 12.0%	4 8.5%	264 6.1%
計	1,720	623	486	491	475	356	100	47	4,298

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,950 59.6%	679 52.8%	535 49.4%	532 50.1%	533 50.9%	387 48.2%	114 50.7%	61 56.5%	4,791 53.9%
ほぼ正常	808 24.7%	286 22.2%	268 24.7%	233 22.0%	217 20.7%	198 24.7%	56 24.9%	23 21.3%	2,089 23.5%
要経過観察	302 9.2%	183 14.2%	161 14.9%	167 15.7%	174 16.6%	136 16.9%	27 12.0%	15 13.9%	1,165 13.1%
要精密検査	212 6.5%	139 10.8%	119 11.0%	129 12.2%	124 11.8%	82 10.2%	28 12.4%	9 8.3%	842 9.5%
計	3,272	1,287	1,083	1,061	1,048	803	225	108	8,887

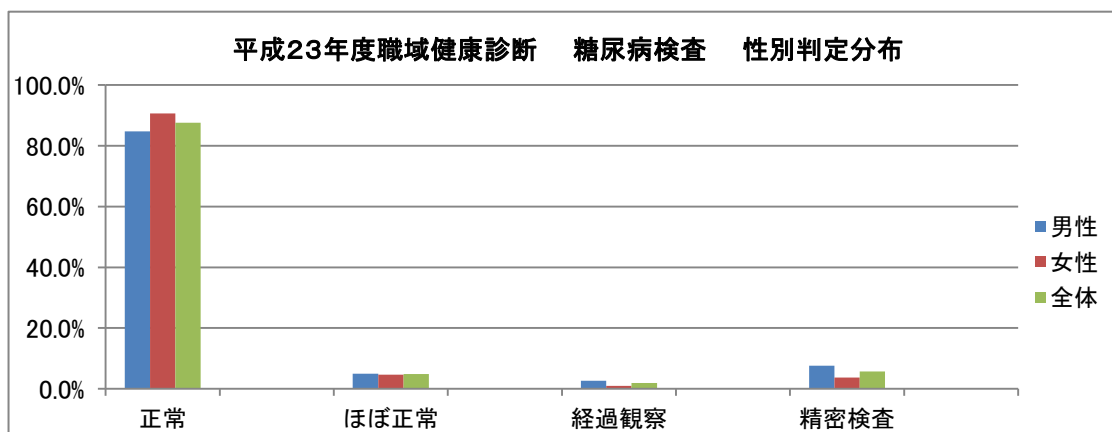
1. 脂質検査の要精密検査率は、男性は40～44歳でピークを示し、その後加齢とともに減少した。女性は加齢と共に増加し、60歳代でピークを示した。なお70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑨ 糖尿病検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	84.7%	5.0%	2.7%	7.6%
女性	90.6%	4.7%	1.0%	3.7%
合計	87.5%	4.9%	1.9%	5.7%

1. 糖尿病検査の要精密検査率は、全体が5.7%、男性7.9%、女性3.7%で、男性が女性の2倍となった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,406 91.3%	573 86.4%	497 83.1%	489 86.5%	450 78.7%	327 73.5%	91 72.8%	35 58.3%	3,868 84.7%
ほぼ正常	78 5.1%	36 5.4%	30 5.0%	18 3.2%	32 5.6%	24 5.4%	5 4.0%	6 10.0%	229 5.0%
要経過観察	16 1.0%	9 1.4%	22 3.7%	15 2.7%	30 5.2%	20 4.5%	5 4.0%	6 10.0%	123 2.7%
要精密検査	40 2.6%	45 6.8%	49 8.2%	43 7.6%	60 10.5%	74 16.6%	24 19.2%	13 21.7%	348 7.6%
計	1,540	663	598	565	572	445	125	60	4,568

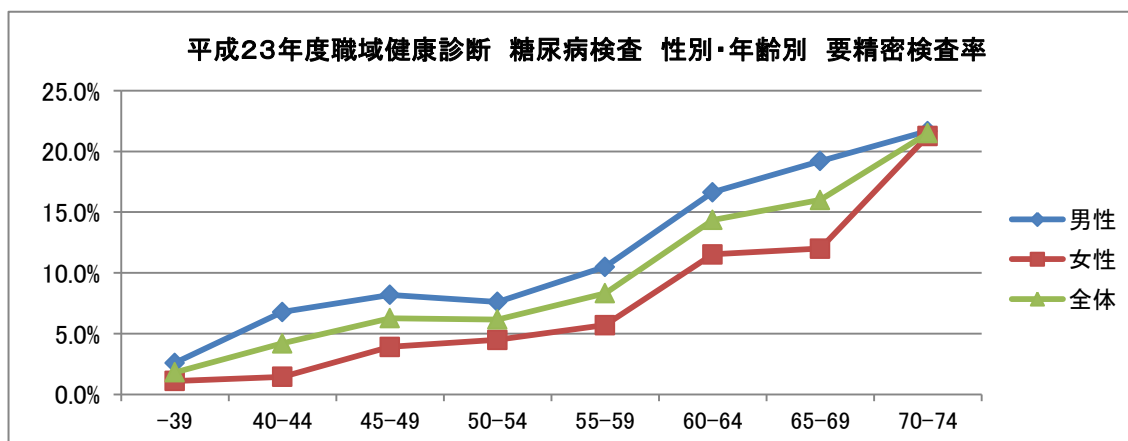
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,594 92.7%	583 93.7%	445 91.6%	440 89.8%	426 89.9%	288 80.9%	82 82.0%	32 68.1%	3,890 90.6%
ほぼ正常	100 5.8%	26 4.2%	18 3.7%	22 4.5%	13 2.7%	15 4.2%	4 4.0%	3 6.4%	201 4.7%
要経過観察	6 0.3%	4 0.6%	4 0.8%	6 1.2%	8 1.7%	12 3.4%	2 2.0%	2 4.3%	44 1.0%
要精密検査	19 1.1%	9 1.4%	19 3.9%	22 4.5%	27 5.7%	41 11.5%	12 12.0%	10 21.3%	159 3.7%
計	1,719	622	486	490	474	356	100	47	4,294

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	3,000 92.1%	1,156 90.0%	942 86.9%	929 88.1%	876 83.7%	615 76.8%	173 76.9%	67 62.6%	7,758 87.5%
ほぼ正常	178 5.5%	62 4.8%	48 4.4%	40 3.8%	45 4.3%	39 4.9%	9 4.0%	9 8.4%	430 4.9%
要経過観察	22 0.7%	13 1.0%	26 2.4%	21 2.0%	38 3.6%	32 4.0%	7 3.1%	8 7.5%	167 1.9%
要精密検査	59 1.8%	54 4.2%	68 6.3%	65 6.2%	87 8.3%	115 14.4%	36 16.0%	23 21.5%	507 5.7%
計	3,259	1,285	1,084	1,055	1,046	801	225	107	8,862

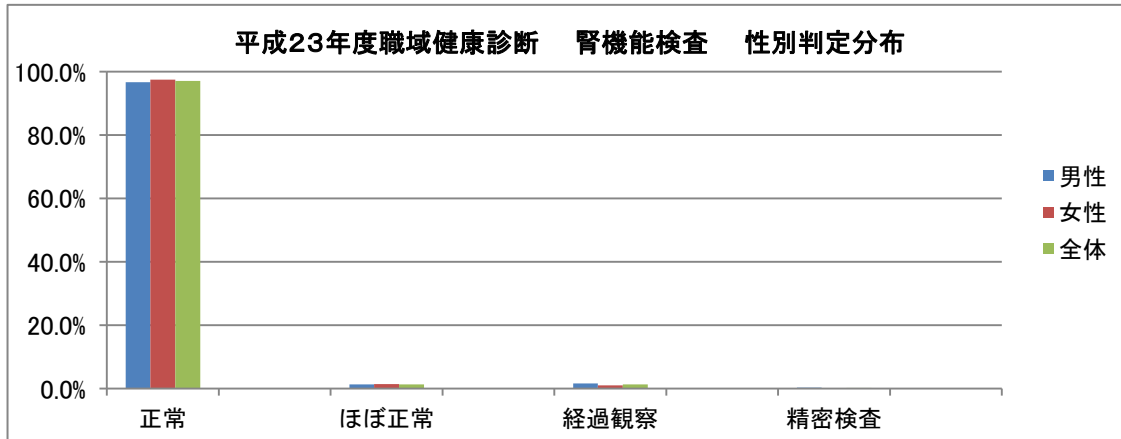
1. 糖尿病検査の要精密検査率は、男女とも、加齢とともに増加した。なお70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑩ 腎機能検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	96.7%	1.3%	1.7%	0.3%
女性	97.5%	1.4%	1.0%	0.0%
合計	97.1%	1.4%	1.4%	0.2%

1. 腎機能検査の要精密検査率は全体で0.2%と少なく、女性に比べ男性が3倍程高かった。



男 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	886 98.4%	330 97.1%	316 97.8%	309 95.1%	306 95.0%	195 94.2%	48 94.1%	31 86.1%	2,421 96.7%
ほぼ正常	8 0.9%	5 1.5%	2 0.6%	7 2.2%	7 2.2%	2 1.0%	0 0.0%	2 5.6%	33 1.3%
要経過観察	6 0.7%	4 1.2%	3 0.9%	7 2.2%	7 2.2%	10 4.8%	3 5.9%	2 5.6%	42 1.7%
要精密検査	0 0.0%	1 0.3%	2 0.6%	2 0.6%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	8 0.3%
計	900	340	323	325	322	207	51	36	2,504

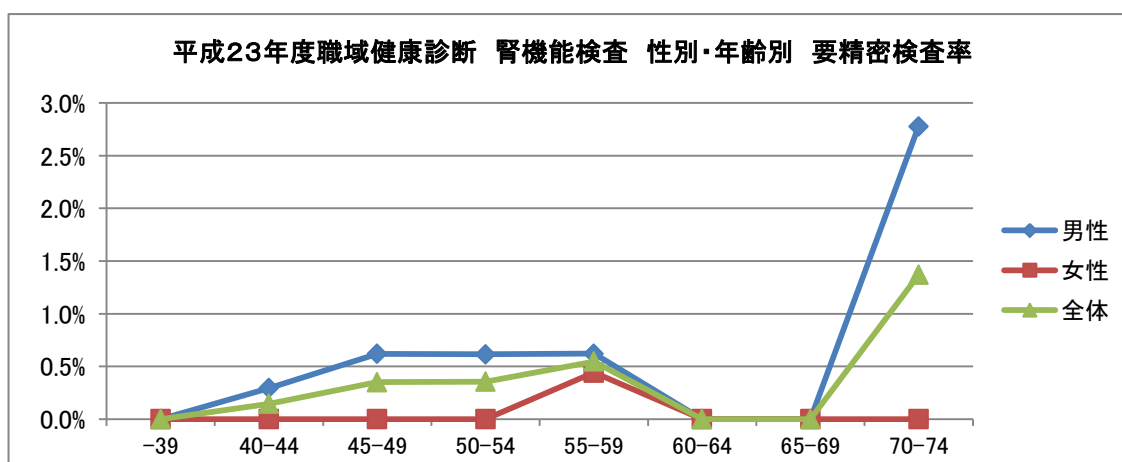
女 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,061 98.8%	338 98.5%	240 97.6%	225 94.9%	217 96.0%	126 93.3%	38 95.0%	35 94.6%	2,280 97.5%
ほぼ正常	6 0.6%	4 1.2%	1 0.4%	9 3.8%	5 2.2%	4 3.0%	2 5.0%	2 5.4%	33 1.4%
要経過観察	7 0.7%	1 0.3%	5 2.0%	3 1.3%	3 1.3%	5 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	24 1.0%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
計	1,074	343	246	237	226	135	40	37	2,338

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,947 98.6%	668 97.8%	556 97.7%	534 95.0%	523 95.4%	321 93.9%	86 94.5%	66 90.4%	4,701 97.1%
ほぼ正常	14 0.7%	9 1.3%	3 0.5%	16 2.8%	12 2.2%	6 1.8%	2 2.2%	4 5.5%	66 1.4%
要経過観察	13 0.7%	5 0.7%	8 1.4%	10 1.8%	10 1.8%	15 4.4%	3 3.3%	2 2.7%	66 1.4%
要精密検査	0 0.0%	1 0.1%	2 0.4%	2 0.4%	3 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	9 0.2%
計	1,974	683	569	562	548	342	91	73	4,842

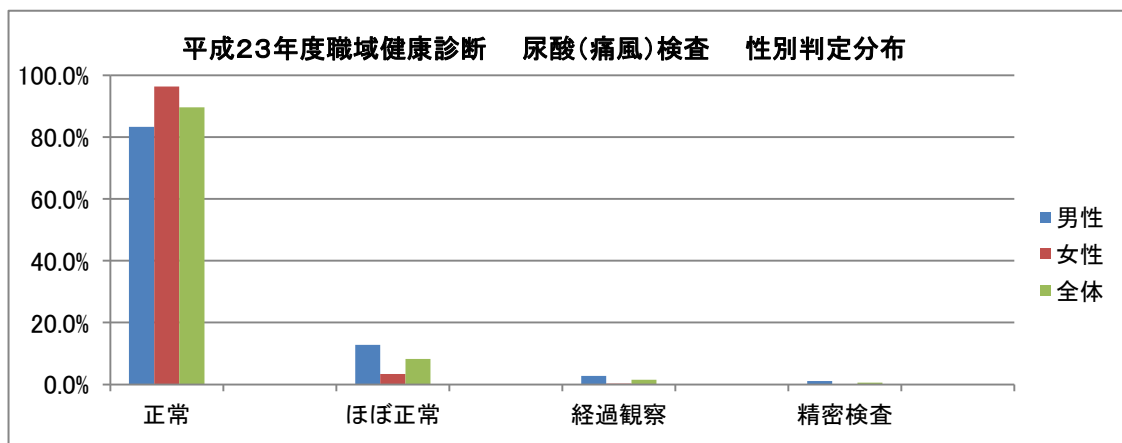
1. 腎機能検査の要精密検査率は、女性に比べ男性の方が高かった。なお65歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑪ 尿酸（痛風）検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	83.4%	12.8%	2.7%	1.1%
女性	96.3%	3.4%	0.3%	0.0%
合計	89.6%	8.3%	1.6%	0.6%

1. 尿酸の要精密検査率は、全体が0.6%、男性1.1%、女性0.0%で、男性が女性の10倍程高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	834 82.2%	335 82.5%	316 84.0%	333 87.4%	312 84.8%	205 80.7%	46 79.3%	33 84.6%	2,414 83.4%
ほぼ正常	125 12.3%	48 11.8%	48 12.8%	41 10.8%	50 13.6%	44 17.3%	10 17.2%	5 12.8%	371 12.8%
要経過観察	36 3.6%	20 4.9%	9 2.4%	5 1.3%	2 0.5%	4 1.6%	2 3.4%	1 2.6%	79 2.7%
要精密検査	19 1.9%	3 0.7%	3 0.8%	2 0.5%	4 1.1%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	32 1.1%
計	1,014	406	376	381	368	254	58	39	2,896

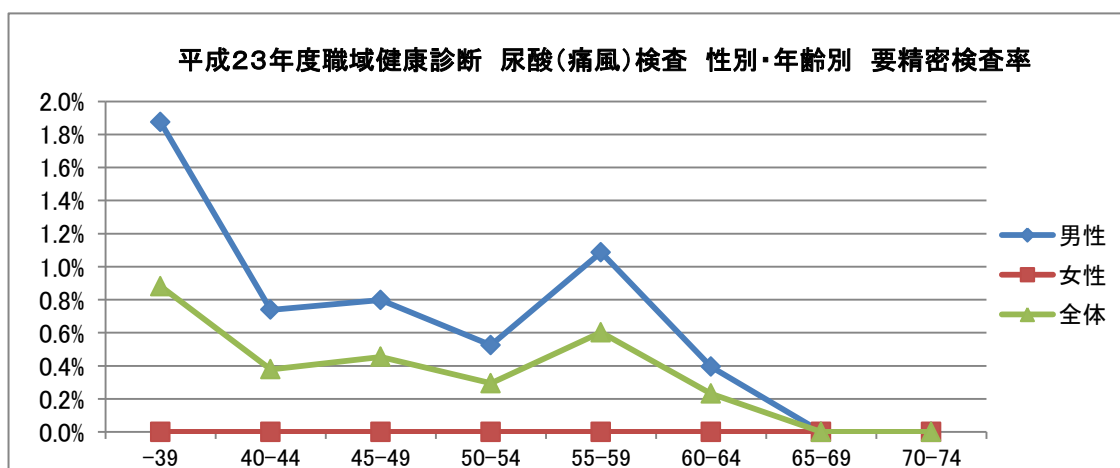
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,108 96.9%	363 93.8%	273 95.8%	285 95.6%	288 97.3%	173 97.2%	45 97.8%	36 100.0%	2,571 96.3%
ほぼ正常	33 2.9%	21 5.4%	12 4.2%	10 3.4%	8 2.7%	5 2.8%	1 2.2%	0 0.0%	90 3.4%
要経過観察	2 0.2%	3 0.8%	0 0.0%	3 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 0.3%
要精密検査	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
計	1,143	387	285	298	296	178	46	36	2,669

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,942 90.0%	698 88.0%	589 89.1%	618 91.0%	600 90.4%	378 87.5%	91 87.5%	69 92.0%	4,985 89.6%
ほぼ正常	158 7.3%	69 8.7%	60 9.1%	51 7.5%	58 8.7%	49 11.3%	11 10.6%	5 6.7%	461 8.3%
要経過観察	38 1.8%	23 2.9%	9 1.4%	8 1.2%	2 0.3%	4 0.9%	2 1.9%	1 1.3%	87 1.6%
要精密検査	19 0.9%	3 0.4%	3 0.5%	2 0.3%	4 0.6%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	32 0.6%
計	2,157	793	661	679	664	432	104	75	5,565

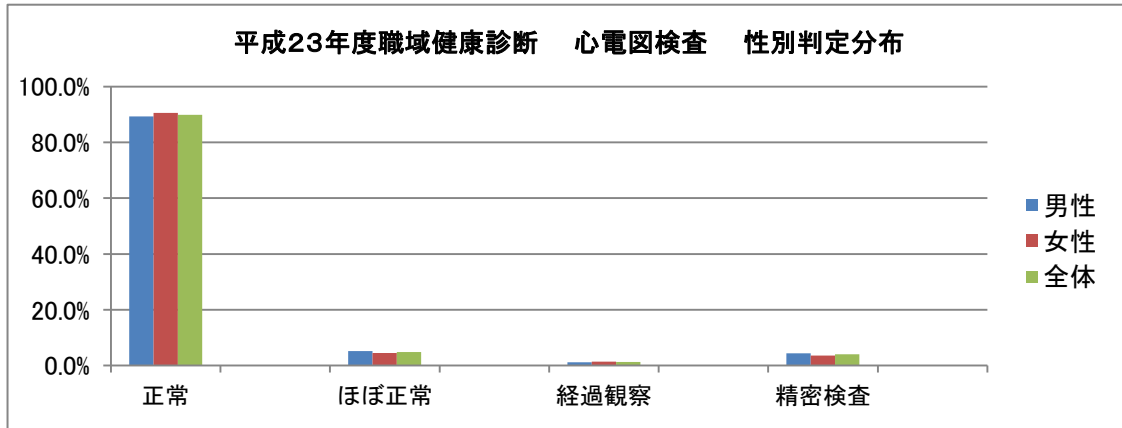
1. 尿酸の要精密検査率は、男性は加齢とともに減少傾向であったが、女性は全ての年齢で、精密検査の該当者はいなかった。なお70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑫ 心電図検査

	正常	ほぼ正常	経過観察	精密検査
男性	89.2%	5.2%	1.2%	4.4%
女性	90.5%	4.5%	1.4%	3.6%
合計	89.8%	4.9%	1.3%	4.0%

1. 心電図検査の要精密検査率は、全体が4.0%、男性が4.4%、女性が3.6%で、男性が高かった。



男 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,077 94.6%	564 92.6%	525 93.3%	463 84.6%	474 86.3%	337 79.9%	91 79.1%	34 65.4%	3,565 89.2%
ほぼ正常	37 3.3%	23 3.8%	21 3.7%	36 6.6%	35 6.4%	35 8.3%	12 10.4%	9 17.3%	208 5.2%
要経過観察	1 0.1%	7 1.1%	4 0.7%	16 2.9%	9 1.6%	6 1.4%	2 1.7%	2 3.8%	47 1.2%
要精密検査	23 2.0%	15 2.5%	13 2.3%	32 5.9%	31 5.6%	44 10.4%	10 8.7%	7 13.5%	175 4.4%
計	1,138	609	563	547	549	422	115	52	3,995

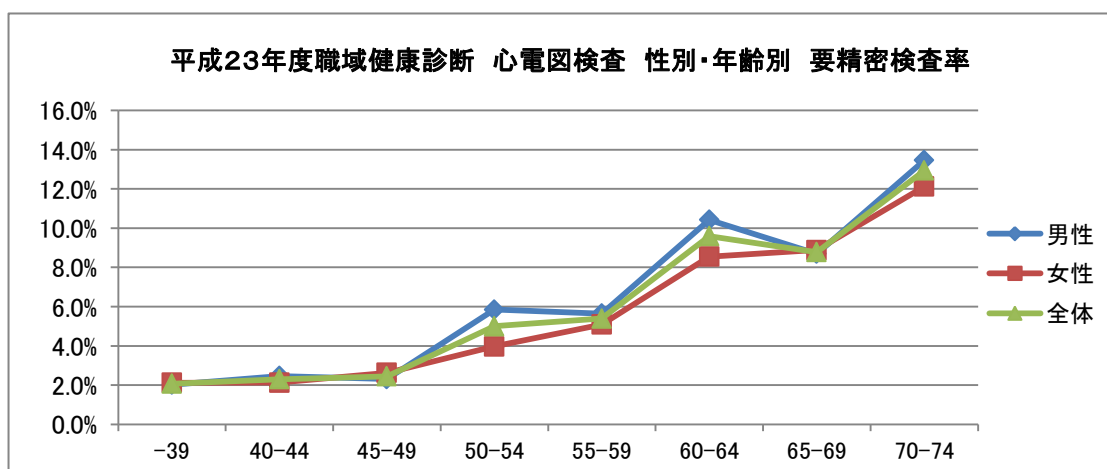
女 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,181 92.8%	523 92.7%	426 93.2%	405 89.4%	403 89.2%	280 82.6%	69 76.7%	26 78.8%	3,313 90.5%
ほぼ正常	50 3.9%	24 4.3%	15 3.3%	22 4.9%	20 4.4%	21 6.2%	10 11.1%	2 6.1%	164 4.5%
要経過観察	15 1.2%	5 0.9%	4 0.9%	8 1.8%	6 1.3%	9 2.7%	3 3.3%	1 3.0%	51 1.4%
要精密検査	27 2.1%	12 2.1%	12 2.6%	18 4.0%	23 5.1%	29 8.6%	8 8.9%	4 12.1%	133 3.6%
計	1,273	564	457	453	452	339	90	33	3,661

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	2,258 93.7%	1,087 92.7%	951 93.2%	868 86.8%	877 87.6%	617 81.1%	160 78.0%	60 70.6%	6,878 89.8%
ほぼ正常	87 3.6%	47 4.0%	36 3.5%	58 5.8%	55 5.5%	56 7.4%	22 10.7%	11 12.9%	372 4.9%
要経過観察	16 0.7%	12 1.0%	8 0.8%	24 2.4%	15 1.5%	15 2.0%	5 2.4%	3 3.5%	98 1.3%
要精密検査	50 2.1%	27 2.3%	25 2.5%	50 5.0%	54 5.4%	73 9.6%	18 8.8%	11 12.9%	308 4.0%
計	2,411	1,173	1,020	1,000	1,001	761	205	85	7,656

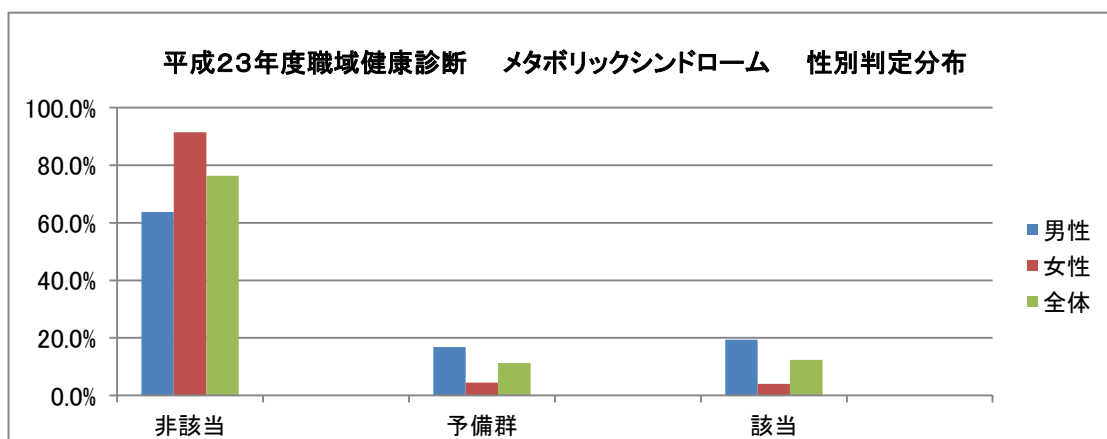
1. 図検査の要精密検査率は、男女とも加齢とともに増加傾向を示した。なお70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑬ メタボリックシンドローム

	非該当	予備群	該当
男性	63.8%	16.8%	19.4%
女性	91.4%	4.5%	4.0%
合計	76.4%	11.3%	12.4%

1. メタボリックシンドロームの該当率は、全体が12.4%、男性が19.4%、女性が4.0%で、女性に比べて男性が5倍高かった。



男性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
非該当	612 71.6%	384 61.4%	370 64.2%	348 64.1%	335 60.3%	245 57.6%	73 59.8%	31 54.4%	2,398 63.8%
予備群	132 15.4%	117 18.7%	111 19.3%	96 17.7%	87 15.6%	58 13.6%	22 18.0%	10 17.5%	633 16.8%
該当	111 13.0%	124 19.8%	95 16.5%	99 18.2%	134 24.1%	122 28.7%	27 22.1%	16 28.1%	728 19.4%
計	855	625	576	543	556	425	122	57	3,759

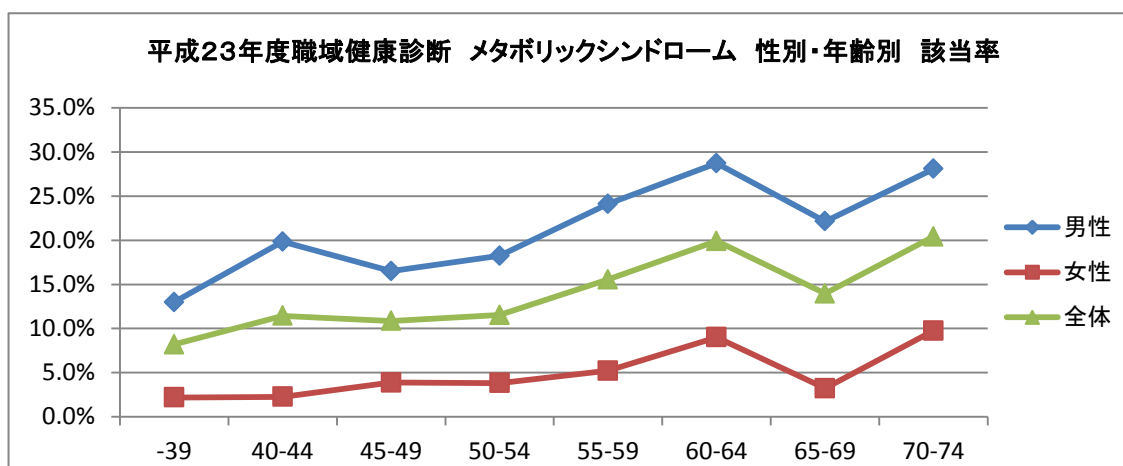
女性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	643 94.1%	532 92.8%	434 93.5%	420 89.2%	411 89.3%	302 87.8%	85 91.4%	34 82.9%	2,861 91.4%
ほぼ正常	25 3.7%	28 4.9%	12 2.6%	33 7.0%	25 5.4%	11 3.2%	5 5.4%	3 7.3%	142 4.5%
要経過観察	15 2.2%	13 2.3%	18 3.9%	18 3.8%	24 5.2%	31 9.0%	3 3.2%	4 9.8%	126 4.0%
計	683	573	464	471	460	344	93	41	3,129

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
正常	1,255 81.6%	916 76.5%	804 77.3%	768 75.7%	746 73.4%	547 71.1%	158 73.5%	65 66.3%	5,259 76.4%
ほぼ正常	157 10.2%	145 12.1%	123 11.8%	129 12.7%	112 11.0%	69 9.0%	27 12.6%	13 13.3%	775 11.3%
要経過観察	126 8.2%	137 11.4%	113 10.9%	117 11.5%	158 15.6%	153 19.9%	30 14.0%	20 20.4%	854 12.4%
計	1,538	1,198	1,040	1,014	1,016	769	215	98	6,888

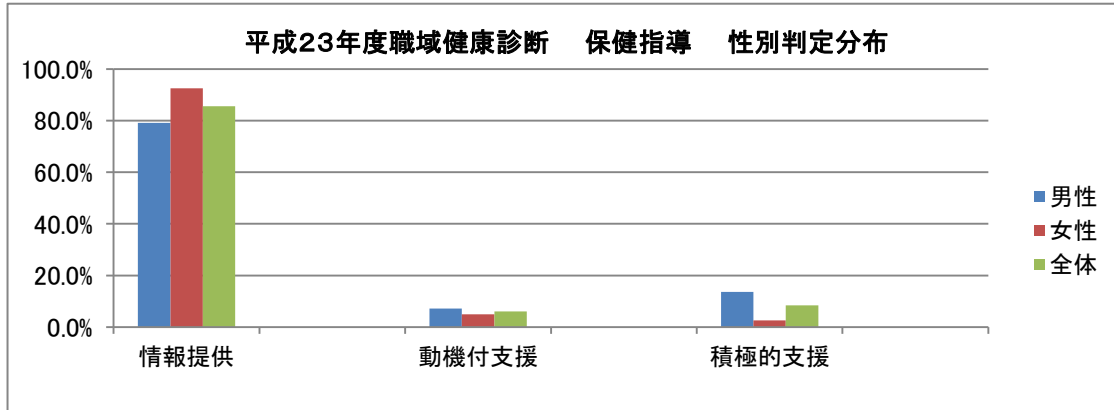
1. メタボリックシンドロームの該当率は、男女とも加齢と共に増加傾向にあり、60～64歳でピークを示した。なお70歳以上は実施人数が少なく参考データである。



⑭ 保健指導

	情報提供	動機付	積極的
男性	79.2%	7.2%	13.7%
女性	92.5%	4.9%	2.6%
合計	85.5%	6.1%	8.4%

1. 保健指導判定の積極的支援率は、全体では 8.4%、男性 13.7%、女性 2.6%で、男性は女性の 5 倍以上となっていた。



男 性

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
情報提供	1,783 87.3%	455 66.8%	425 69.6%	422 73.1%	467 77.4%	391 81.1%	119 84.4%	60 85.7%	4,122 79.2%
動機付支援	83 4.1%	67 9.8%	68 11.1%	47 8.1%	43 7.1%	36 7.5%	22 15.6%	8 11.4%	374 7.2%
積極的支援	176 8.6%	159 23.3%	118 19.3%	108 18.7%	93 15.4%	55 11.4%	0 0.0%	2 2.9%	711 13.7%
計	2,042	681	611	577	603	482	141	70	5,207

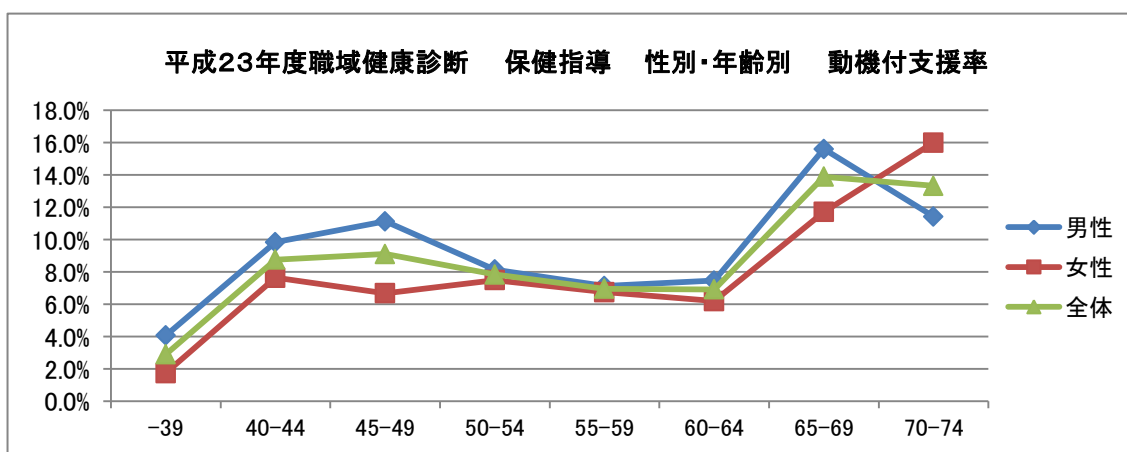
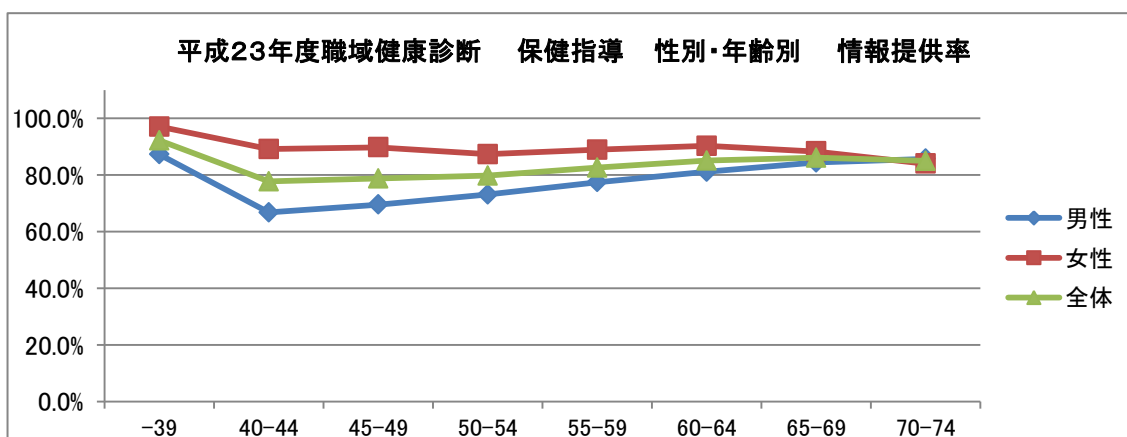
女 性

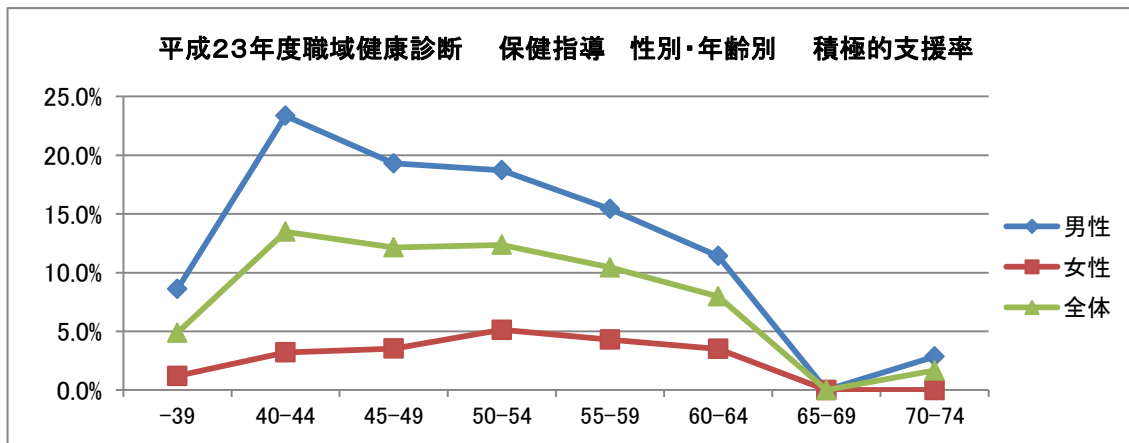
年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
情報提供	2,007 97.1%	583 89.1%	457 89.8%	443 87.4%	435 89.0%	335 90.3%	98 88.3%	42 84.0%	4,400 92.5%
動機付支援	36 1.7%	50 7.6%	34 6.7%	38 7.5%	33 6.7%	23 6.2%	13 11.7%	8 16.0%	235 4.9%
積極的支援	25 1.2%	21 3.2%	18 3.5%	26 5.1%	21 4.3%	13 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	124 2.6%
計	2,068	654	509	507	489	371	111	50	4,759

合計

年齢	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	合計
情報提供	3,790 92.2%	1,038 77.8%	882 78.8%	865 79.8%	902 82.6%	726 85.1%	217 86.1%	102 85.0%	8,522 85.5%
動機付支援	119 2.9%	117 8.8%	102 9.1%	85 7.8%	76 7.0%	59 6.9%	35 13.9%	16 13.3%	609 6.1%
積極的支援	201 4.9%	180 13.5%	136 12.1%	134 12.4%	114 10.4%	68 8.0%	0 0.0%	2 1.7%	835 8.4%
計	4,110	1,335	1,120	1,084	1,092	853	252	120	9,966

1. 保健指導判定の各項目は、男女とも同じような傾向を示していた。
2. 情報提供率、動機付け支援率とも大きな男女差は認められなかったが、積極的支援率では、49歳以下で、女性に比べ男性が5.5～7倍、その後も3倍前後と高い率を示した。
3. 積極的支援率の最高値は、男性は40～44歳の23.3%、女性は50～54歳の5.1%で、ともに以後は減少を示した。





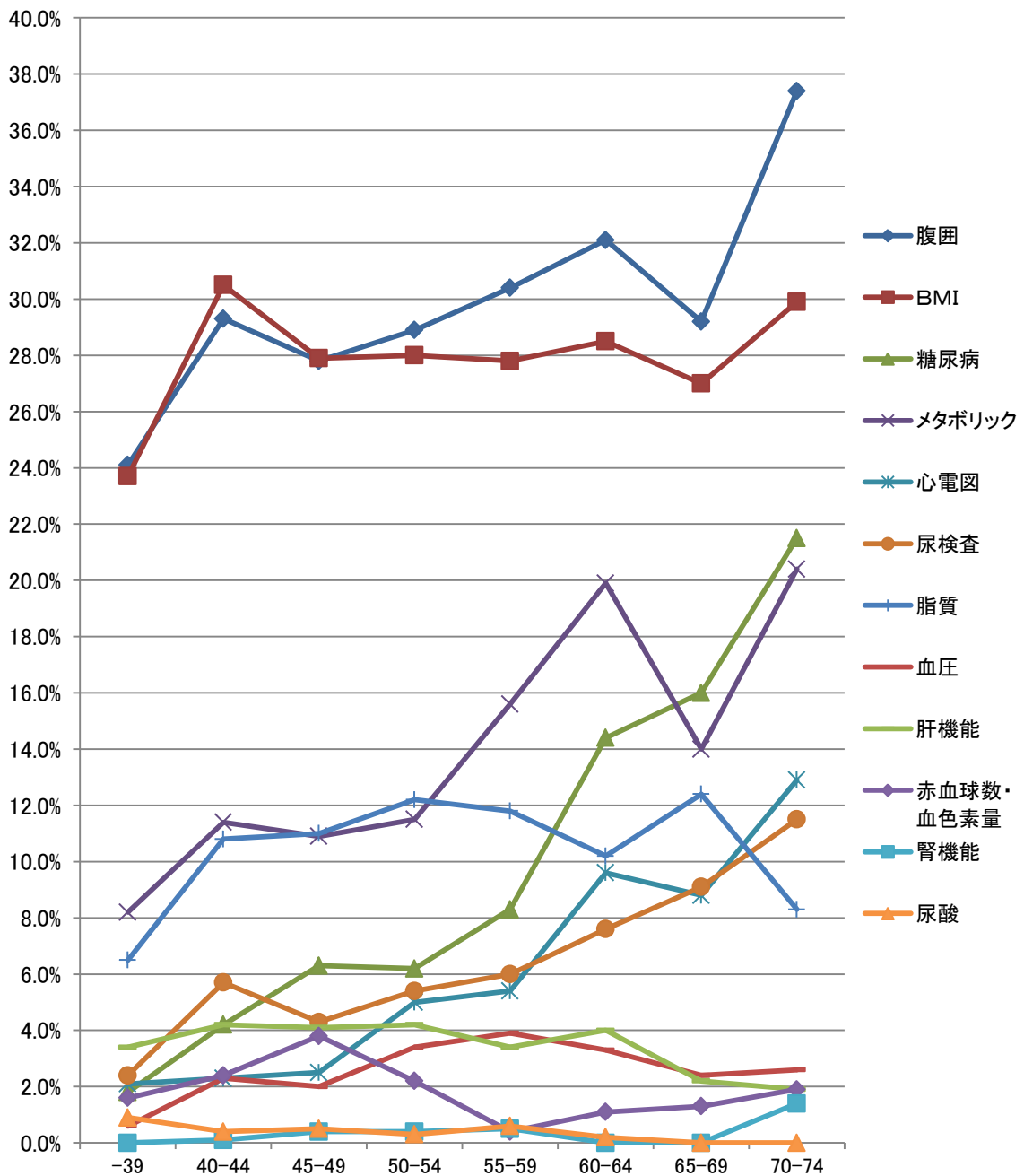
⑮ 職域健康診断 検査項目・年齢別 異常値(要精密検査)率一覧

	~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74
腹 困	24.1%	29.3%	27.8%	28.9%	30.4%	32.1%	29.2%	37.4%
BMI	23.7%	30.5%	27.9%	28.0%	27.8%	28.5%	27.0%	29.9%
糖尿病	1.8%	4.2%	6.3%	6.2%	8.3%	14.4%	16.0%	21.5%
メタボリック	8.2%	11.4%	10.9%	11.5%	15.6%	19.9%	14.0%	20.4%
心電図	2.1%	2.3%	2.5%	5.0%	5.4%	9.6%	8.8%	12.9%
尿検査	2.4%	5.7%	4.3%	5.4%	6.0%	7.6%	9.1%	11.5%
脂 質	6.5%	10.8%	11.0%	12.2%	11.8%	10.2%	12.4%	8.3%
血 圧	0.6%	2.3%	2.0%	3.4%	3.9%	3.3%	2.4%	2.6%
肝機能	3.4%	4.2%	4.1%	4.2%	3.4%	4.0%	2.2%	1.9%
赤血球数・血色素量	1.6%	2.4%	3.8%	2.2%	0.4%	1.1%	1.3%	1.9%
腎機能	0.0%	0.1%	0.4%	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%	1.4%
尿 酸	0.9%	0.4%	0.5%	0.3%	0.6%	0.2%	0.0%	0.0%

《異常値(要精密検査)率一覧》について

1. 腹困及びメタボリック検査の異常値率は、加齢とともに増加し、65~69歳で減少傾向であった。
2. BMIでは、45歳以後年齢による差異はあまりなかった。
3. 糖尿、心電図及び尿検査では、加齢とともに増加し、糖尿病検査の60歳以上は39歳以下の7倍以上の高率であった。
4. 脂質、血圧及び肝機能検査では、年齢による差異はあまりなかった。
5. 赤血球数・血色素量検査では、45~49歳をピークに減少した。女性の受診者数が影響しているものと考えられる。
6. 腎機能及び尿酸値検査は、異常値率が1%以下と低く、年齢による変化はみられなかった。
7. 職域健康診断の性格上、60歳以上、特に65歳以上の受診者数が少なく、高齢者の結果は参考データであることに留意する必要がある。

平成23年度職域健康診断 検査項目・年齢別 異常値(要精密検査)率 一覧



1. 及びメタボリック検査の異常値率は、加齢とともに増加し、65～69歳で減少傾向であった。
2. 腹囲BMIでは、45歳以後年齢による差異はあまりなかった。
3. 糖尿、心電図及び尿検査では、加齢とともに増加し、糖尿病検査の60歳以上は39歳以下の7倍以上の高率であった。
4. 脂質、血圧及び肝機能検査では、年齢による差異はあまりなかった。
5. 赤血球数・血色素量検査では、45～49歳をピークに減少した。女性の受診者数が影響しているものとする。
6. 腎機能及び尿酸値検査は、異常値率が1%以下と低く、年齢による変化はみられなかった。
7. 職域健康診断の性格上、60歳以上、特に65歳以上の受診者数が少なく、高齢者の結果は参考データであることに留意する必要がある。

V. 特定健康診査及び職域健康診断の全受診者における

検査項目・年齢別異常値(要精密検査)率一覧

一 検査項目・年齢別の異常値(要精密検査)率に見る地域住民の健康状況 一

函館市国保・後期高齢者保険に加入者している函館市民のうち、特定健康診査を受診した市民の各検査項目及び年齢別の異常値率については、前述のⅠ-11-2) - ⑭で一覧にまとめ簡単な分析を付した。

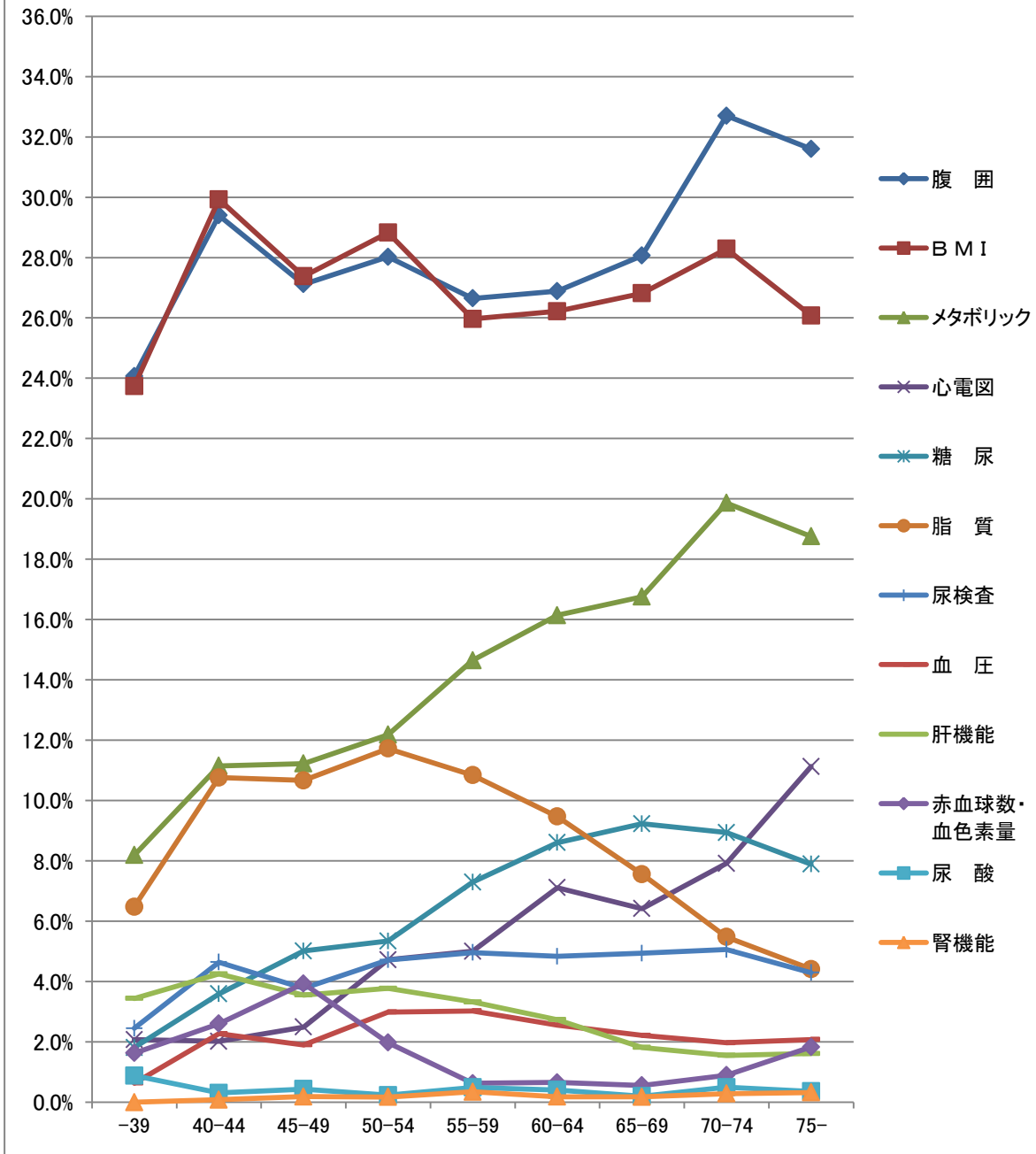
また、職域健康診断を受診した函館市民の各検査項目及び年齢別の異常値率については、Ⅳ-5-2) - ⑮で一覧にまとめ、同じように簡単な分析を付した。

ここでは、それらを参考に、平成23年度の特定健康診査及び職域健康診断の全受診者における各検査項目及び年齢別の異常値(要精密検査)率を合わせて一覧とし、全受診者の傾向から、函館市民の健康状況の一部をかいまみることにした。

一覧からみた傾向は次のとおりであった。

1. 腹囲及びBMIの異常値率は、増減の後 55～59 歳で減少し、その後は加齢とともに増加の傾向を示し、ともに 75 歳で再度減少した。
2. メタボ及び心電図検査では、加齢とともに増加傾向を示し、メタボ検査での 70 歳以上の率は、39 歳以下の約2倍となった。
3. 糖尿病検査では、加齢とともに穏やかに増加し、70 歳以後は減少を示した。
4. 脂質検査では、50～54 歳をピークに減少を示し、70 歳以上ではピーク値の 1/2 となった。
5. 尿、血圧及び肝機能検査では、年齢による変化は少なかった。
6. 赤血球数・血色素量検査では、45～49 歳の 3.9%をピークに減少、55 歳以上では 1.0%以下となった。
7. 尿酸及び腎機能検査では、0.5%以下で、年齢による変化は少なかった。

平成23年度 全受診者における
検査項目・年齢別 異常値(要精密検査)率一覧



1. 腹 困及びBMIの異常値率は、増減の後 55～59 歳で減少し、その後は加齢とともに増加の傾向を示し、ともに 75 歳で再度減少した。
2. メタボ及び心電図検査では、加齢とともに増加傾向を示し、メタボ検査での 70 歳以上の率は、39 歳以下の約2倍となった。
3. 糖尿病検査では、加齢とともに穏やかに増加し、70 歳以後は減少を示した。
4. 脂質検査では、50～54 歳をピークに減少を示し、70 歳以上ではピーク値の 1/2 となった。
5. 尿、血圧及び肝機能検査では、年齢による変化は少なかった。
6. 赤血球数・血色素量検査では、45～49 歳の 3.9%をピークに減少、55 歳以上では 1.0%以下となった。
7. 尿酸及び腎機能検査では、0.5%以下で、年齢による変化は少なかった。

VI. 診断書発行健診

市立函館保健所より委託を受け、就職・進学・定期健康診断・雇入時健康診断を対象とした診断書発行健診を実施。

1. 受付方法： 予約不要 毎週木曜日 午後1時～4時まで受付

2. 診断内容：

- ・ 医師診察
- ・ 身体計測（身長、体重、視力、色覚、胸囲）
- ・ 腹囲計測
- ・ 血圧測定
- ・ 聴力検査
- ・ 胸部X線検査
- ・ 心電図検査
- ・ 尿一般検査（糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン）
- ・ 貧血検査（赤血球数、白血球数、血色素量、ヘマトクリット値）
- ・ 肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GT）
- ・ 脂質検査（中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール）
- ・ 血糖検査（空腹時）

※ 検査の内容は、就職・進学・定期健康診断など目的により内容が異なります。

3. 実績：

年度	日数	受診者数
13年度	33	136
14年度	51	1,525
15年度	51	1,370
16年度	49	1,271
17年度	50	1,256
18年度	51	1,208
19年度	49	1,120
20年度	51	1,202
21年度	51	1,215
22年度	49	1,308
23年度	49	1,318

あ と が き

この度、函館市医師会健診検査センター「平成 23 年度健康診断事業報告書」をお届けする運びとなりました。

昨年度より始まった本報告書ではありますが、昨年度（平成 22 年度）と比較し、函館市における特定健康診査実績として 2,099 名の増加がありました。その中でも函館市国保においては、前年比 1,645 名増、13,762 名の受診、後期高齢者においては、669 名増、2,899 名の受診となりました。

少しでも受診者の増加を図り、函館市と協議を重ね、受診勧奨のはがきを送付したり、より有意義な検査とするためにオプション検査を追加したりと試行錯誤しながら進めてきた結果と思います。しかし、年初の目標である数字には及んでおらず、更なる方策が必要であると感じております。

その一つとして、この事業報告書からも読み取れることですが、40 歳から 59 歳までの受診率が低くなっているため、その年代をターゲットにした受診勧奨や普段、通院されている患者さんへの受診勧奨が有効であると思われまますので、今後とも会員皆様の更なるご協力の程、よろしく願いいたします。

また、今年度特徴的だったのは、C 型・B 型肝炎ウイルス検診の受診数の増加でありました。C 型肝炎においては、函館市で前年比 1,744 人の増加をはじめ計 1,807 人の増加でありました。（ちなみに陽性率は函館市 1.5%でした。）B 型肝炎においては、函館市で前年比 1,744 人の増加、計 1,842 人の増加でありました。（陽性率は函館市 1.9%でした。）

これは、いずれも国の肝炎対策による個別勧奨による効果と思われまます。

今年度より、函館市医師会や函館消化器病懇談会、各病院の主導で函館 B 型慢性肝疾患病診連携パスが作成され、運用されることとなりました。まだまだ、潜在的な肝炎患者さんが存在しておりますので、受診数の増加を図る事で、このパスによる患者さんの恩恵が増大するものと思われまます。

以上のように、この事業報告書から、まだまだ読み取る事が出来る事が沢山あります。

少しでも、会員の皆さんのお役に立てる事業報告書であるよう、今後とも努力して行く所存でございます。どうぞ、今後とも当健診検査センターの活動にご理解頂き、ご協力の程よろしく願いいたします。

最後に、今回もこの莫大なデータをまとめて頂いた、函館市医師会健診検査センターのスタッフと、評価、コメントを付してくださいました、当運営委員会学術部長久保田達也先生にお礼を申し上げ、あ と が き と さ せ て 頂 き ま す。

平成 25 年 3 月

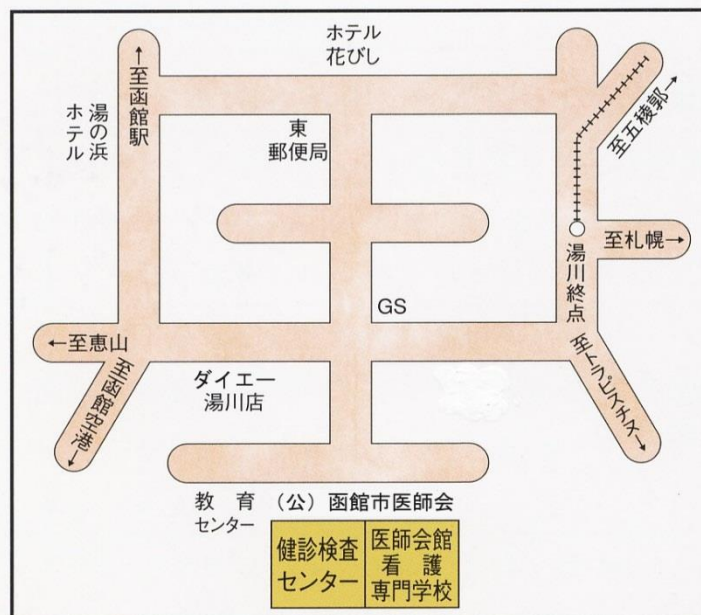
公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
広報部長 平 山 繁 樹

函館市医師会健診検査センター
健康診断事業報告書

平成 23 年度

《No.2》

発行日 : 平成 25 年 3 月 15 日
発行者 : 公益社団法人函館市医師会
函館市医師会健診検査センター
〒042-0932 函館市湯川町 3 丁目 38 番 41 号
TEL 0138-57-6571 FAX 0138-57-6580
HP:<http://www5.ncv.ne.jp/~nanpo/index.html>
E-mail:hako-ken@sea.ncv.ne.jp



公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会健診検査センター

〒042-0932 函館市湯川町3丁目38番41号

TEL 0138-57-6571 FAX 0138-57-6580

HP : [http : //www5.ncv.ne.jp/~nanpo/index.html](http://www5.ncv.ne.jp/~nanpo/index.html)

E-mail : hako-ken@sea.ncv.ne.jp